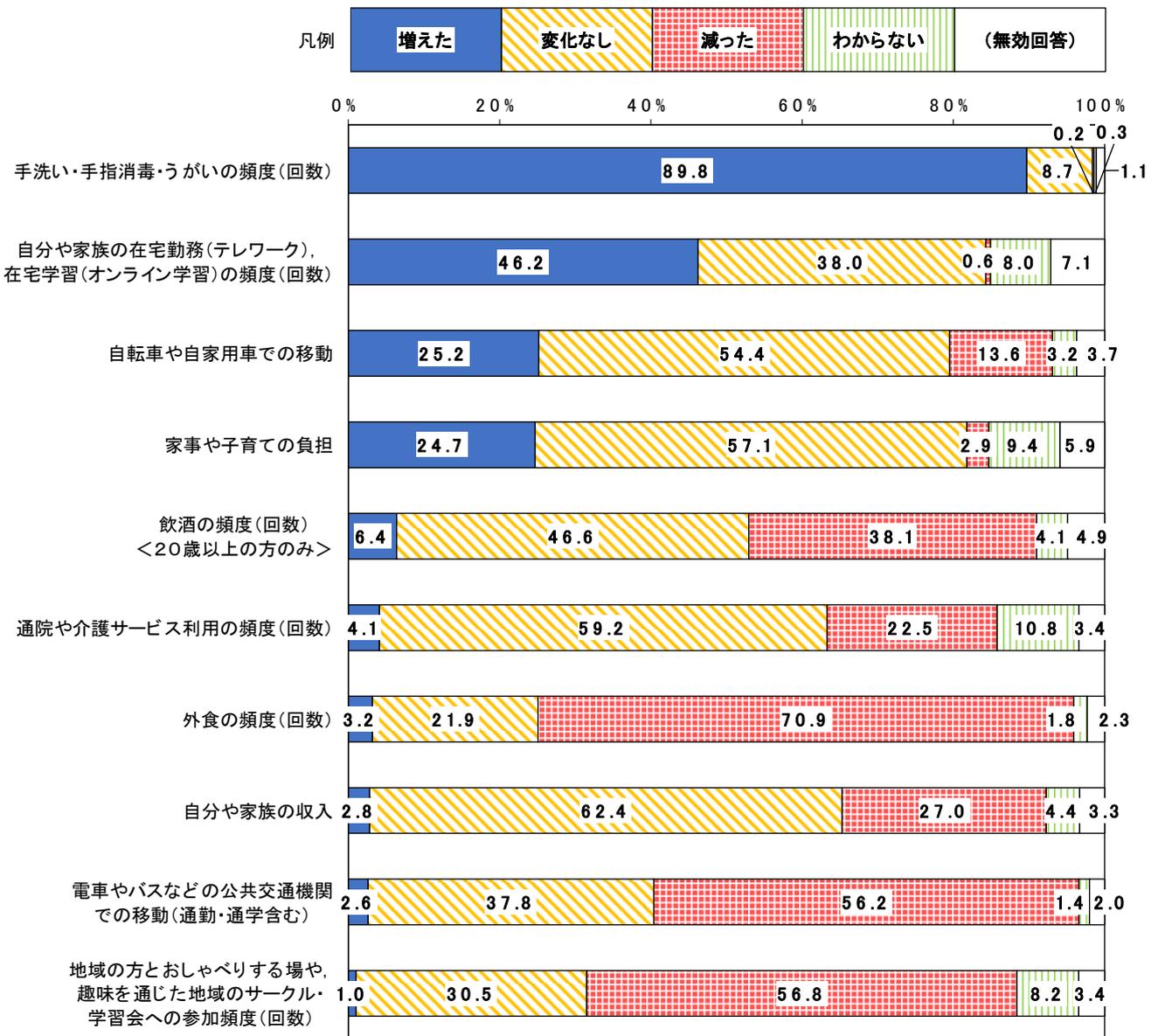


(2) 新型コロナウイルス感染症の影響

問13) 新型コロナウイルス感染症の流行前（令和2年1月頃）と現在を比べて、あなたの生活にどのような影響や変化がありましたか。

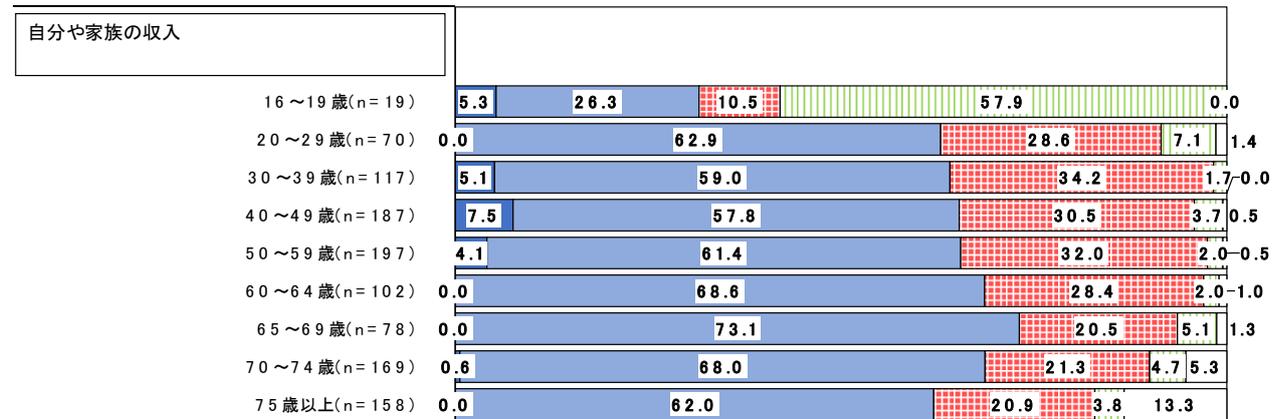
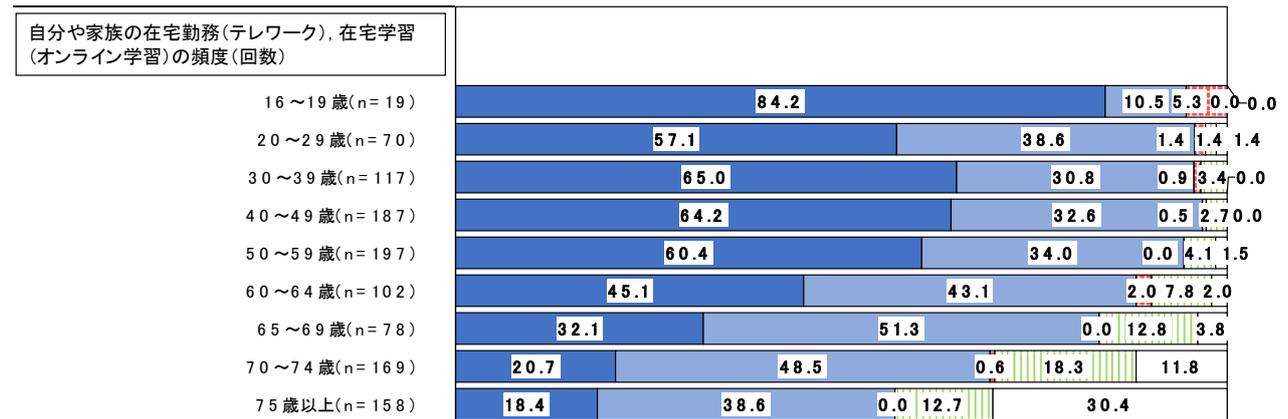
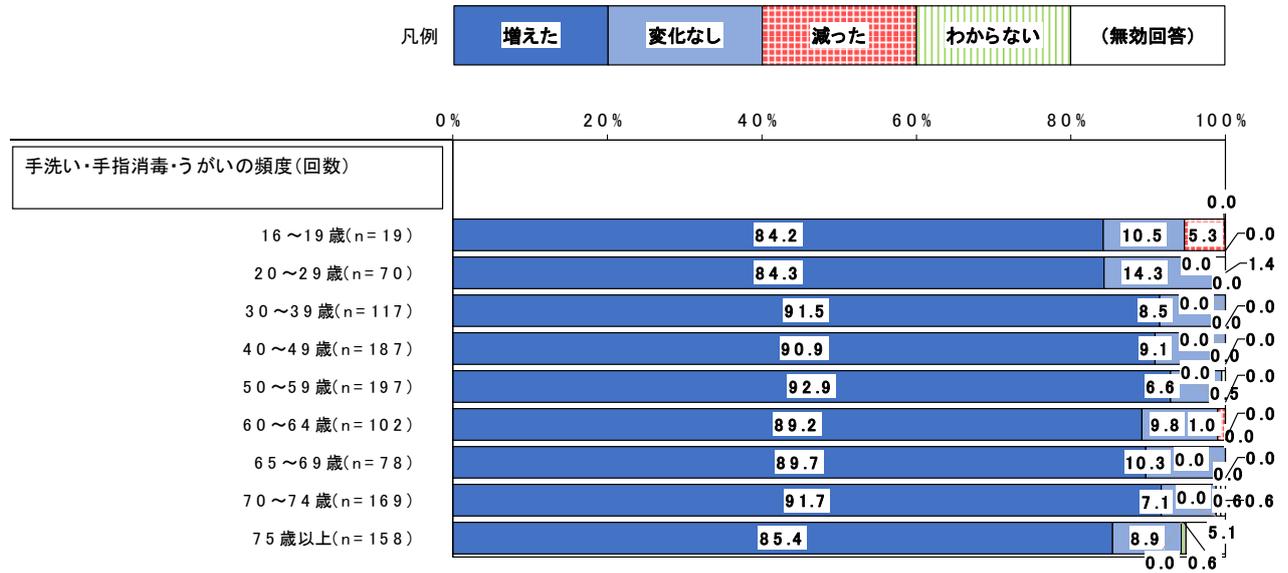
<全体（n=1105）>

- 「増えた」は、「手洗い・手指消毒・うがいの頻度（回数）」が最も高く 89.8%，次いで「自分や家族の在宅勤務（テレワーク），在宅学習（オンライン学習）の頻度（回数）」の 46.2%，「自転車や自家用車での移動」の 25.2%の順となっています。
- 「減った」は、「外食の頻度（回数）」が最も高く 70.9%，次いで「地域の方とおしゃべりする場や、趣味を通じた地域のサークル・学習会への参加頻度（回数）」の 56.8%，「電車やバスなどの公共交通機関での移動（通勤・通学含む）」の 56.2%の順となっています。

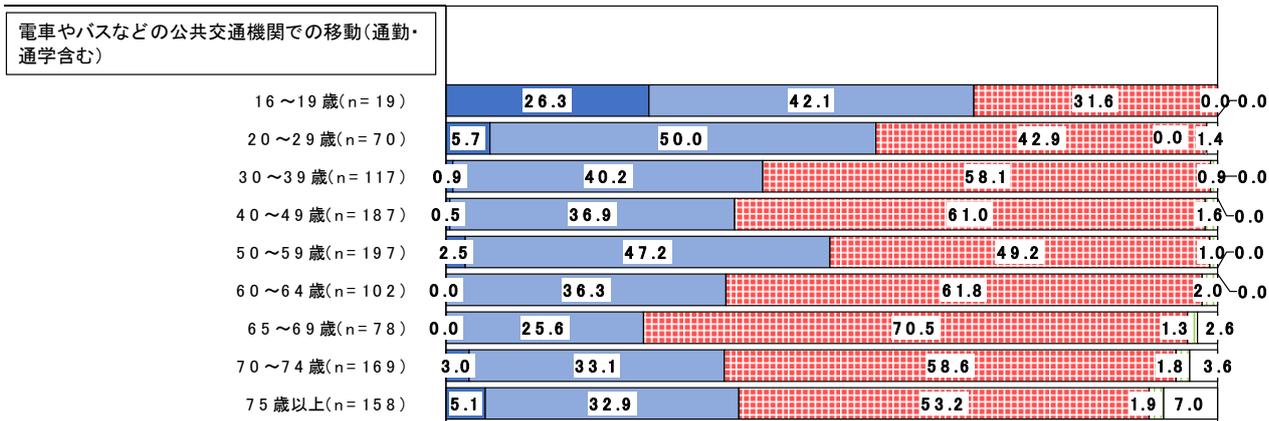
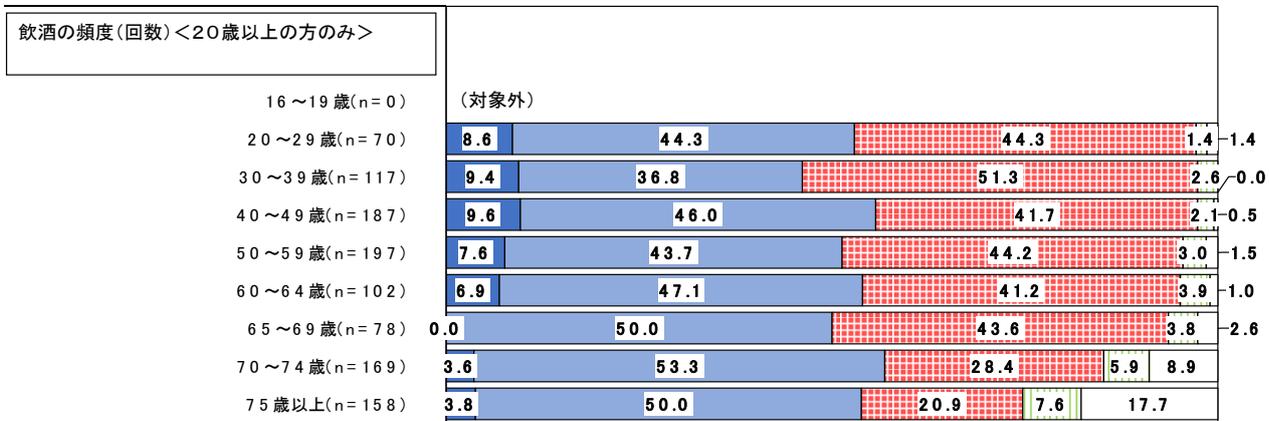
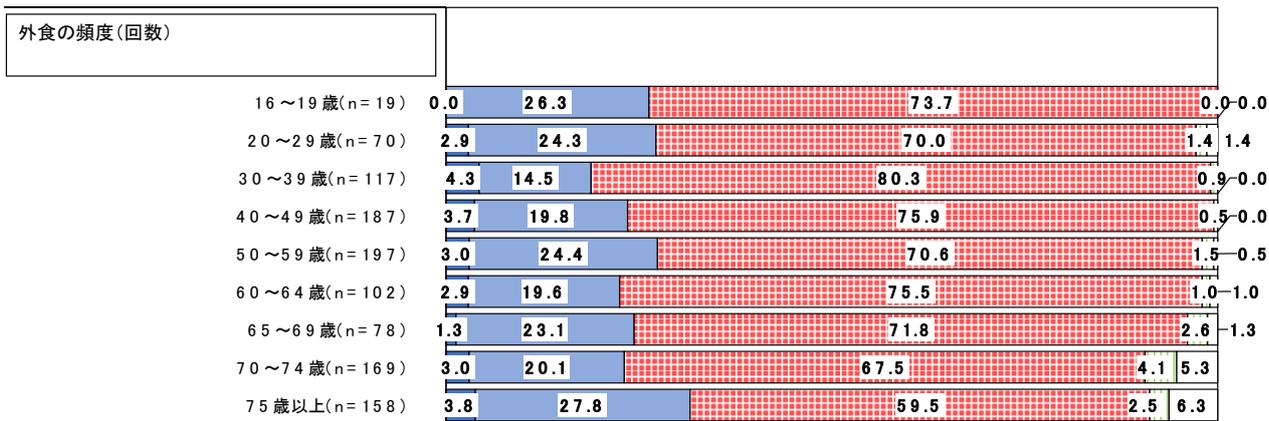
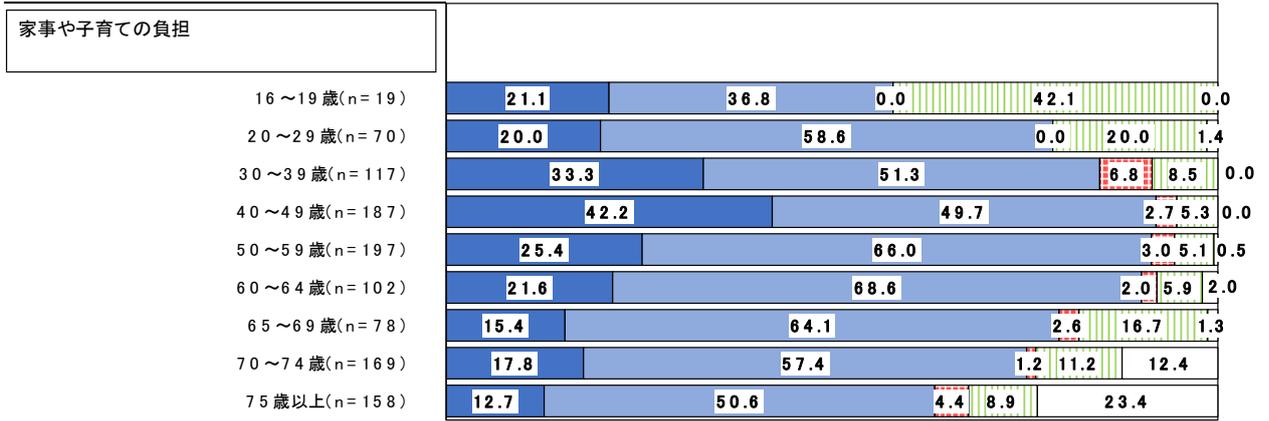


<年齢層別>

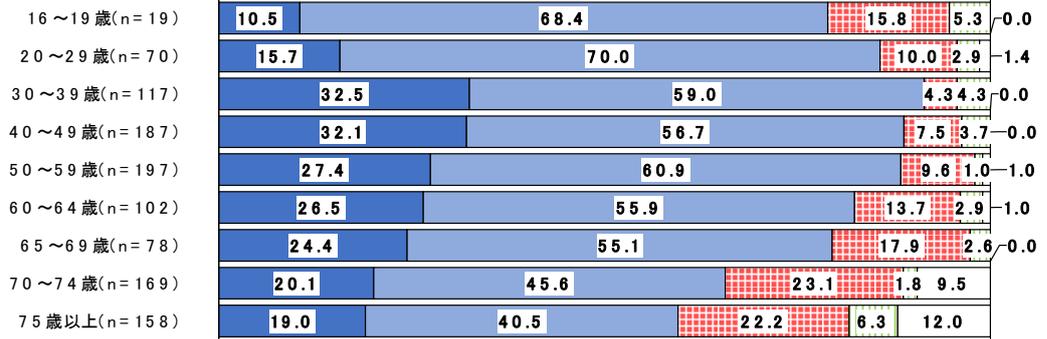
- 「自分や家族の在宅勤務（テレワーク）、在宅学習（オンライン学習）の頻度（回数）」では、16～19歳で「増えた」が84.2%と高くなっています。
- 「外食の頻度（回数）」では、30～39歳で「減った」が80.3%と高くなっています。



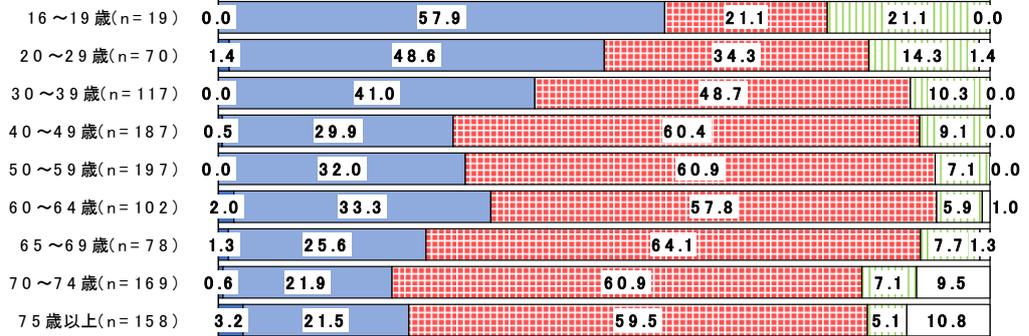
第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>



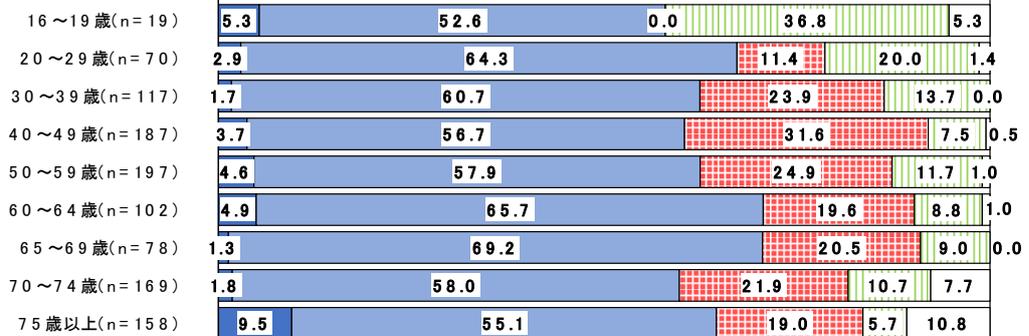
自転車や自家用車での移動



地域の方とおしゃべりする場や、趣味を通じた地域のサークル・学習会への参加頻度(回数)



通院や介護サービス利用の頻度(回数)

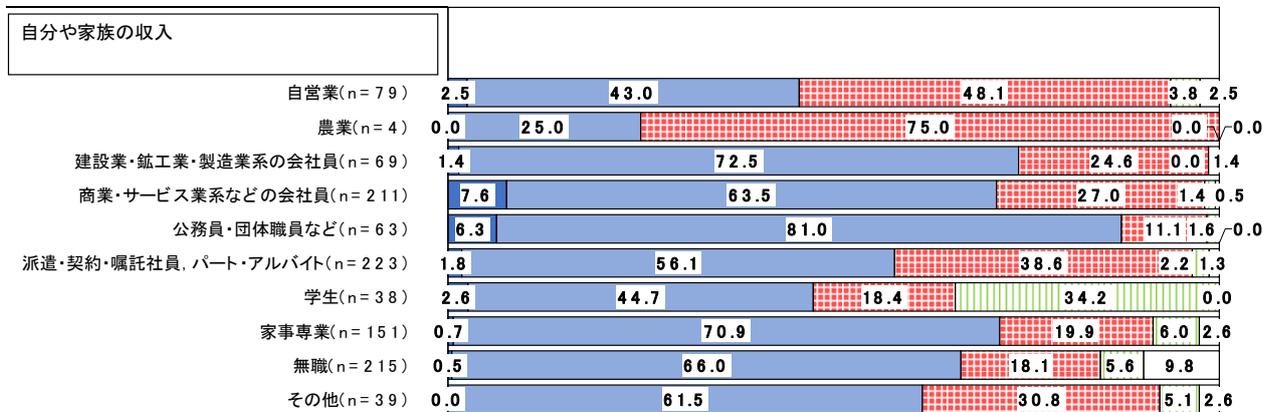
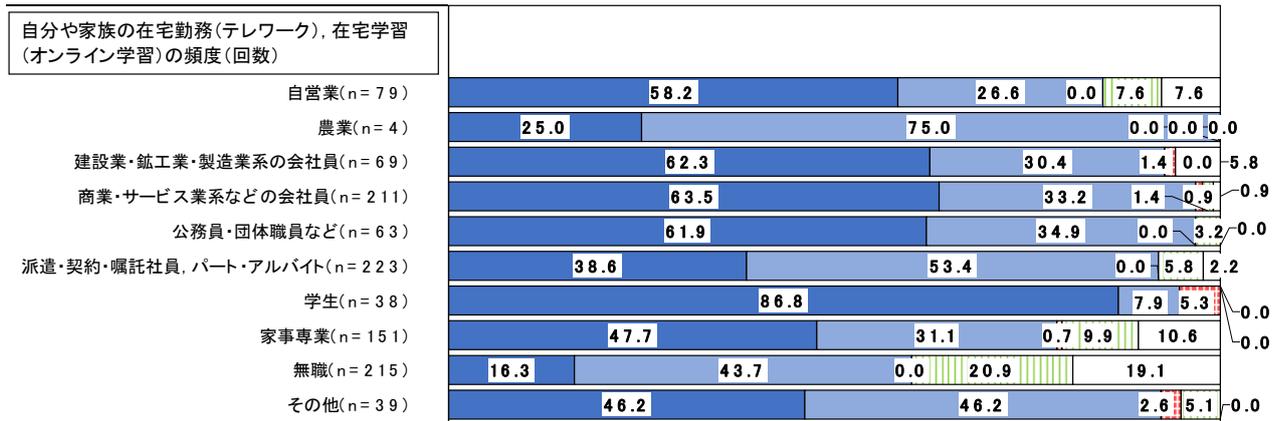
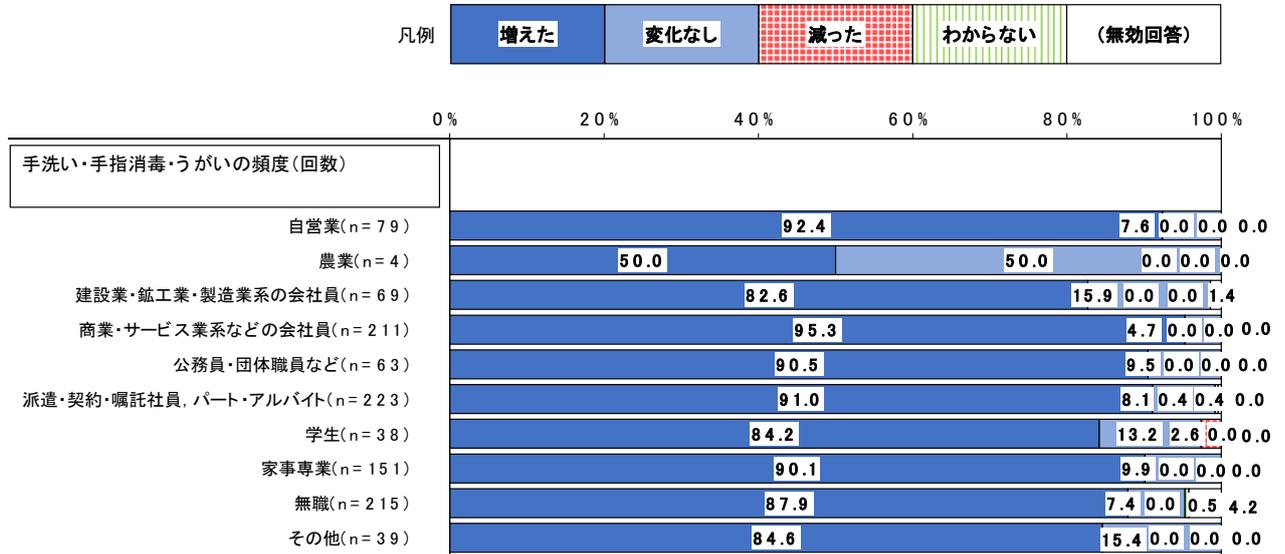


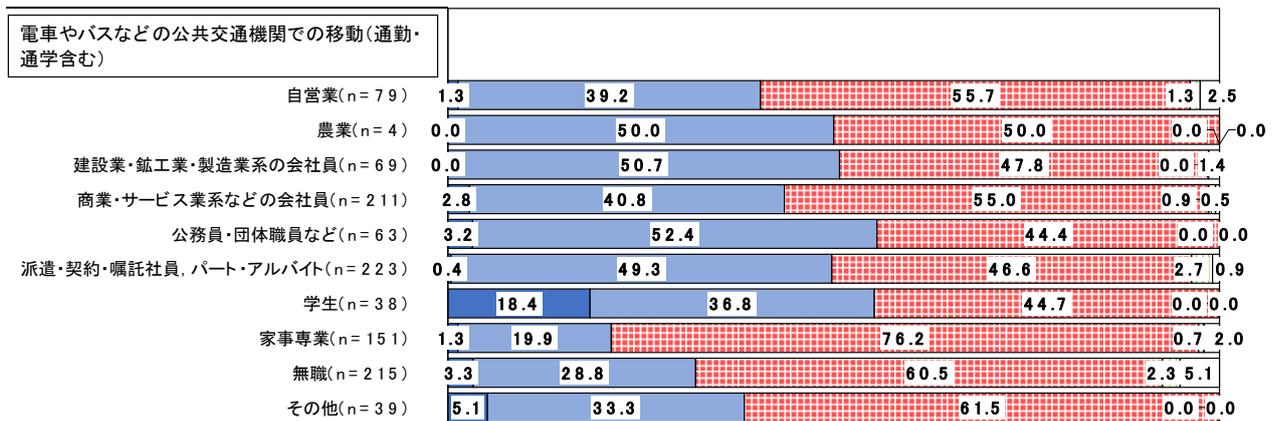
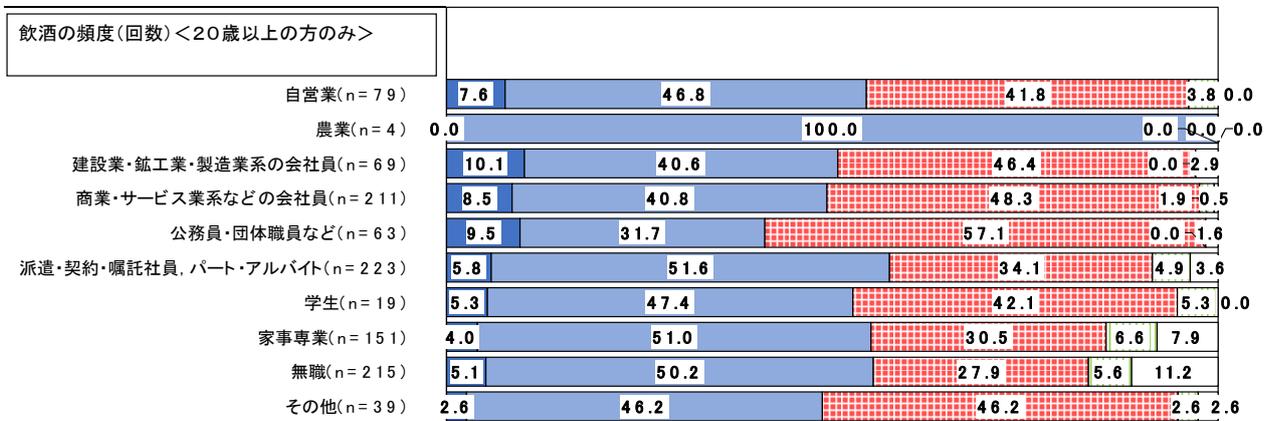
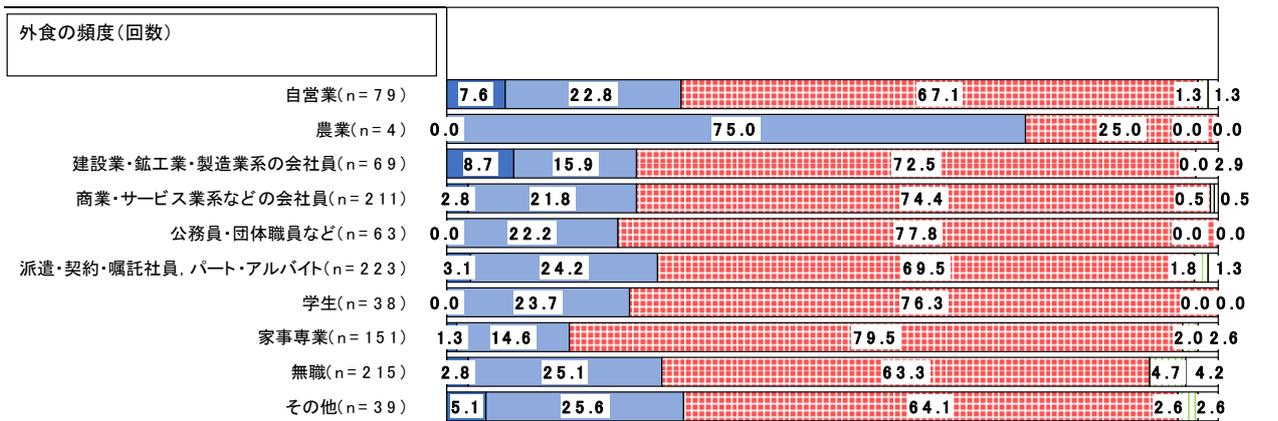
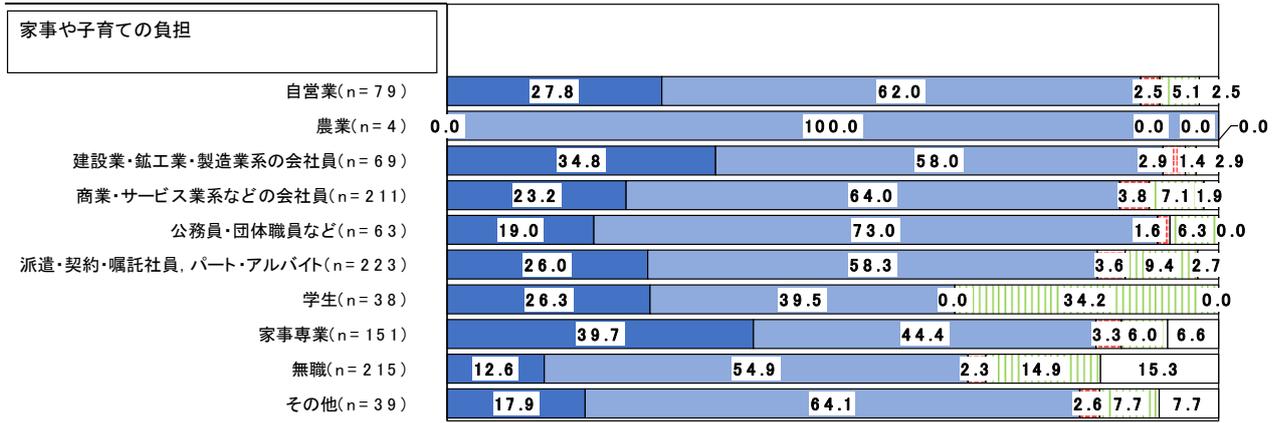
第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

<職業別>

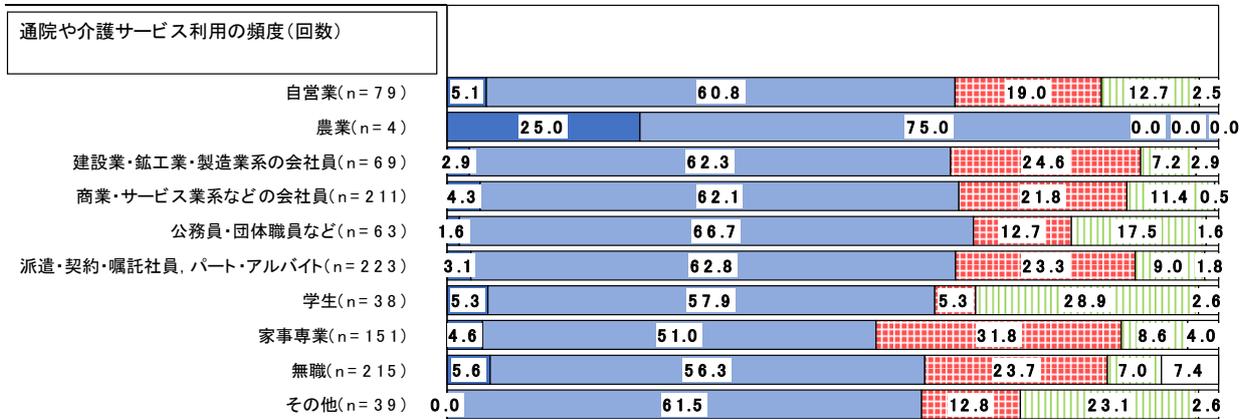
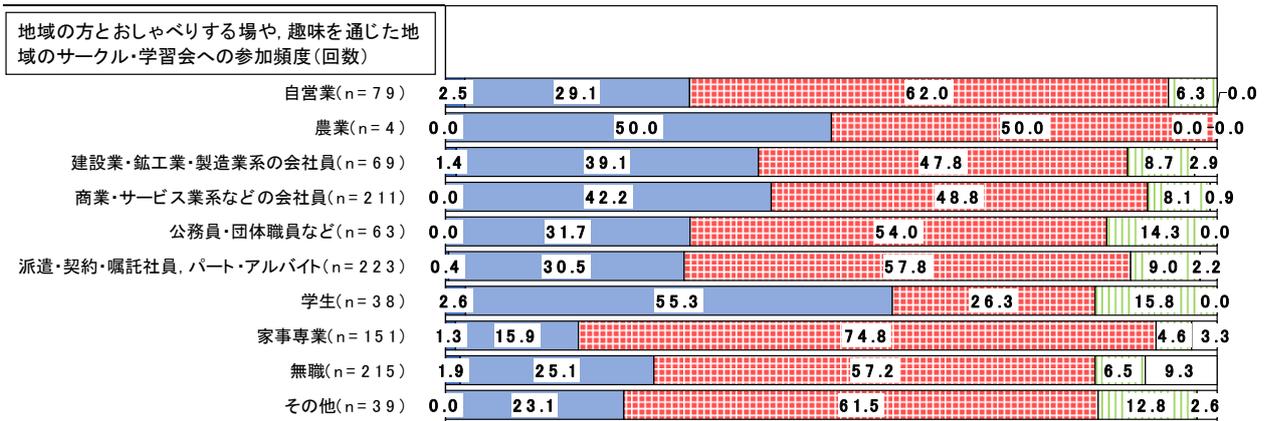
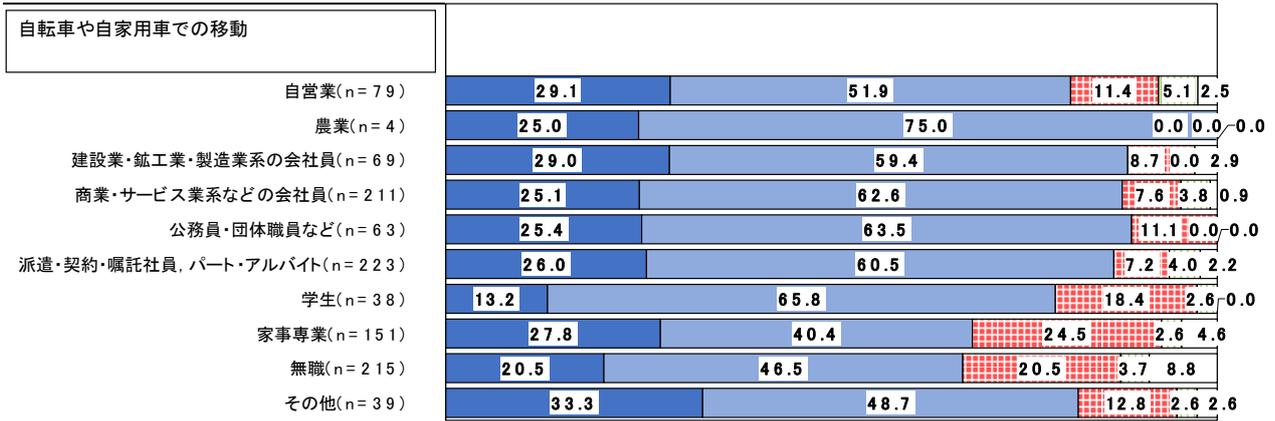
○「自分や家族の在宅勤務（テレワーク）、在宅学習（オンライン学習）の頻度（回数）」では、「学生」や「自営業」、「建設業・鉱工業・製造業系の会社員」、「商業・サービス業系などの会社員」、「公務員・団体職員など」で「増えた」が半数を超え、高くなっています。

また、「自分や家族の収入」では、「農業」で「減った」が特に高くなっています。



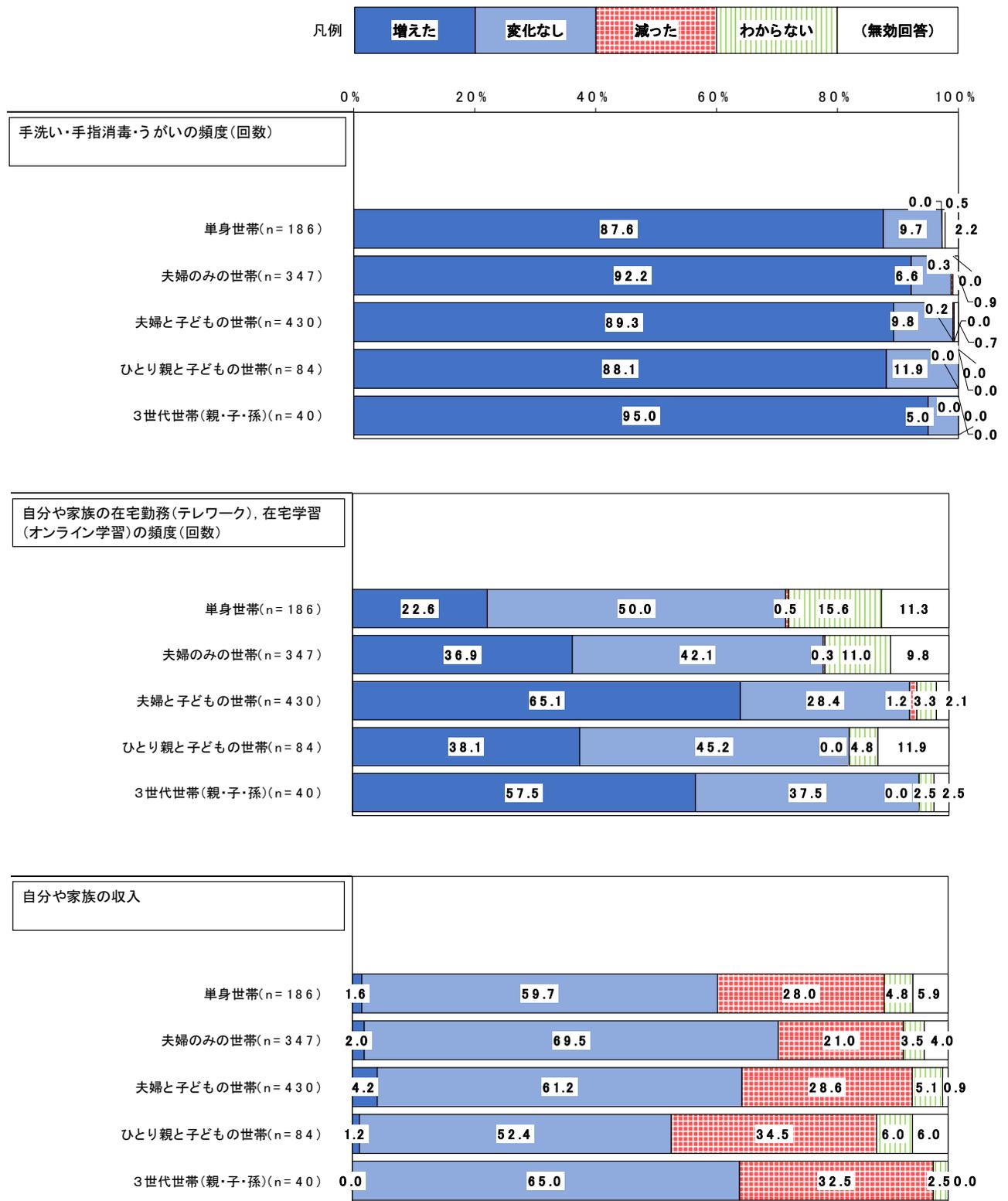


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

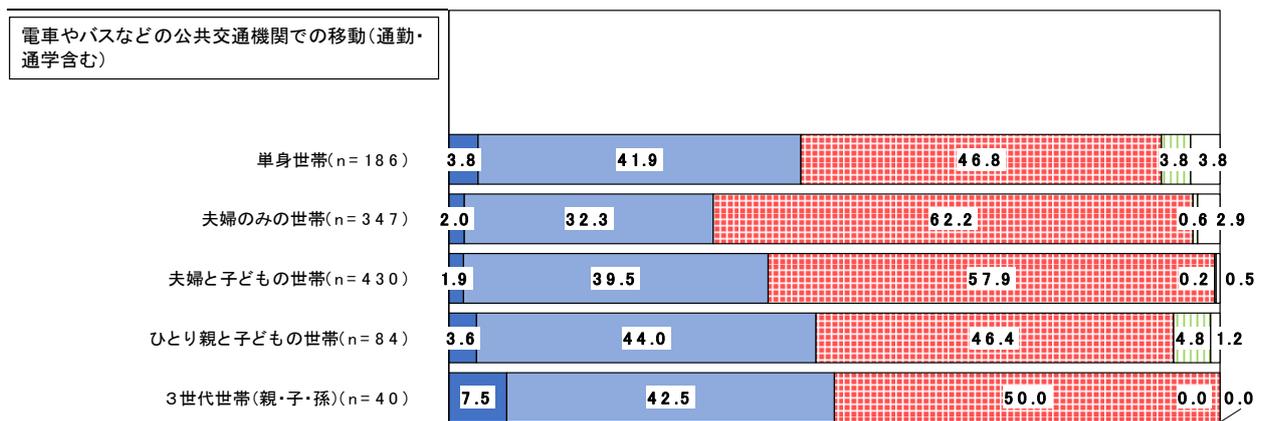
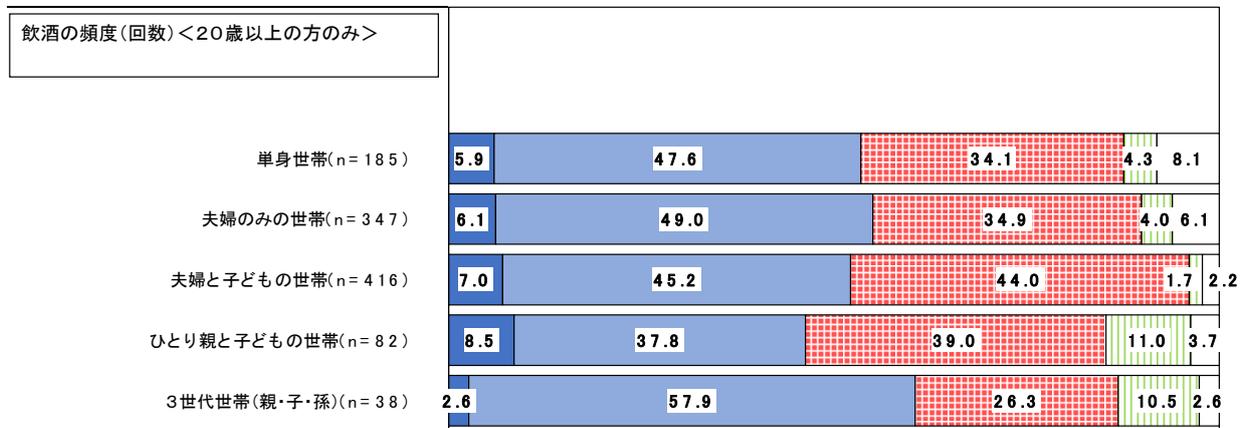
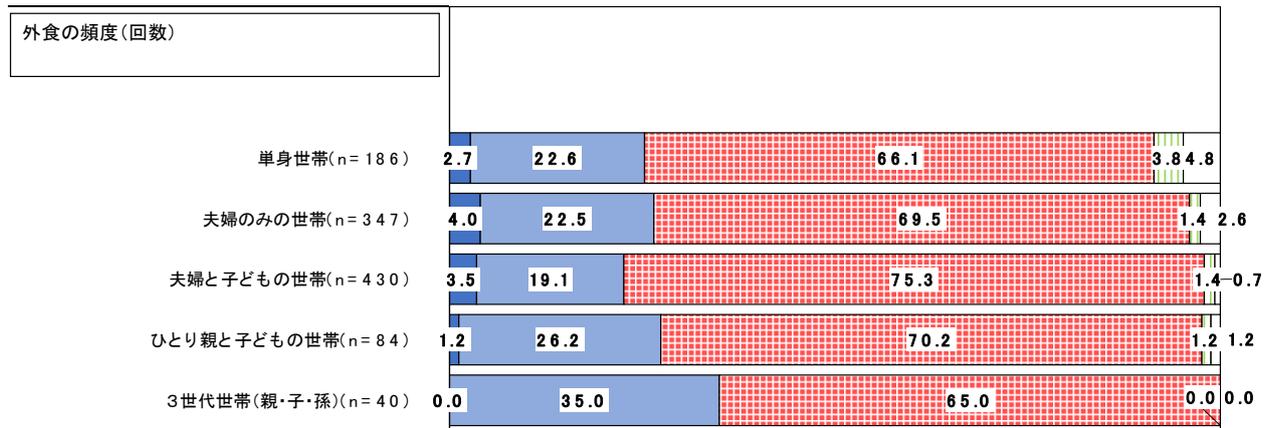
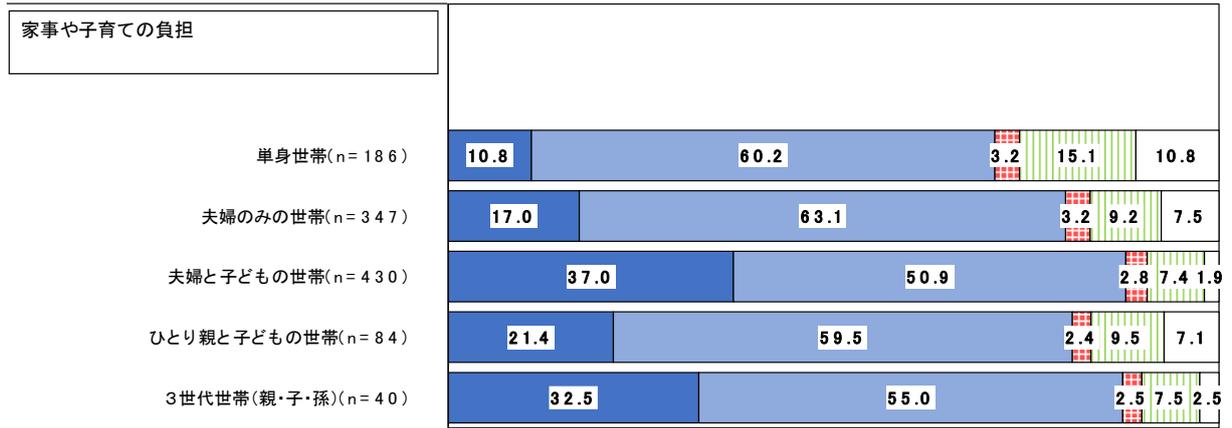


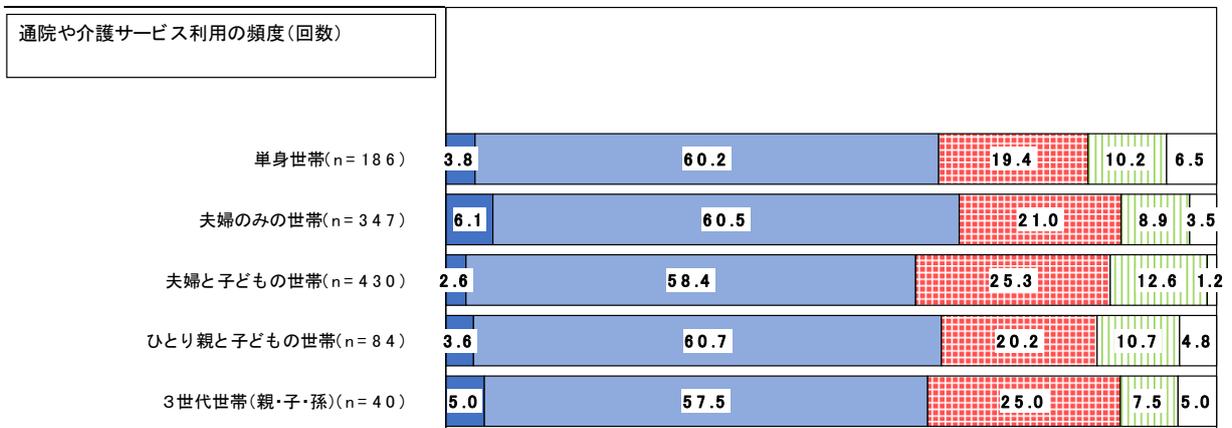
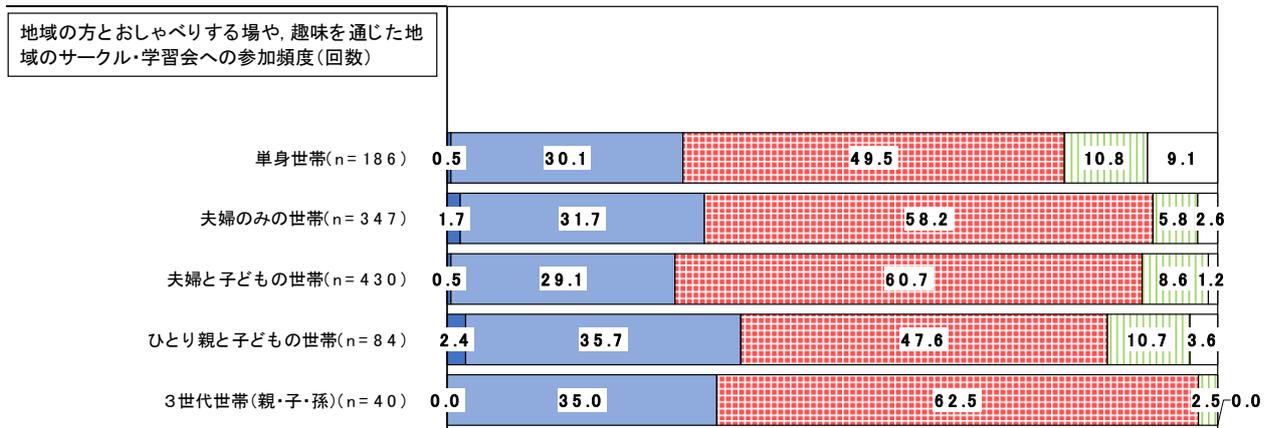
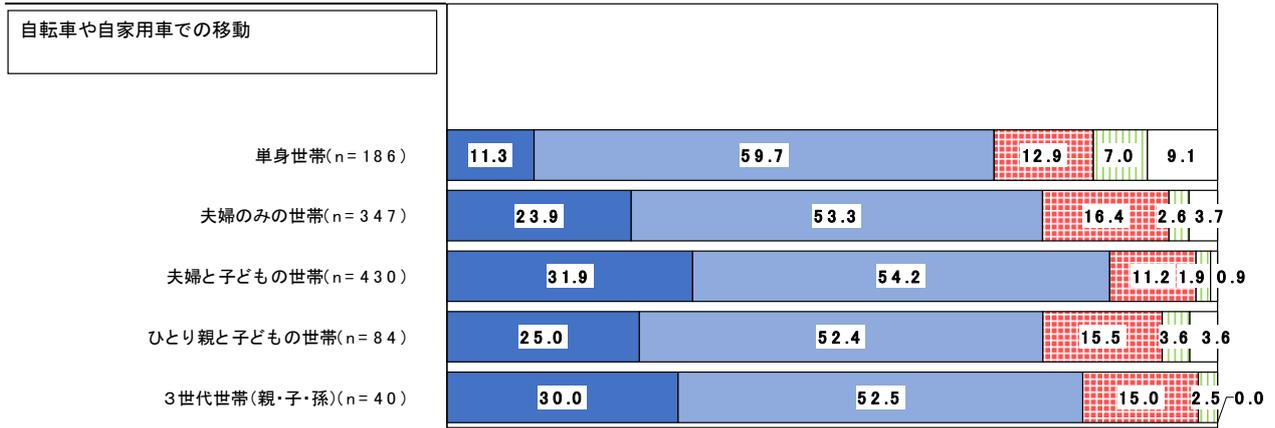
<家族構成別>

○「自分や家族の在宅勤務（テレワーク）、在宅学習（オンライン学習）の頻度（回数）」では、「夫婦と子どもの世帯」で「増えた」が高くなっています。また、「自分や家族の収入」では、「ひとり親と子どもの世帯」「3世代世帯（親・子・孫）」で「減った」が高くなっています。



第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

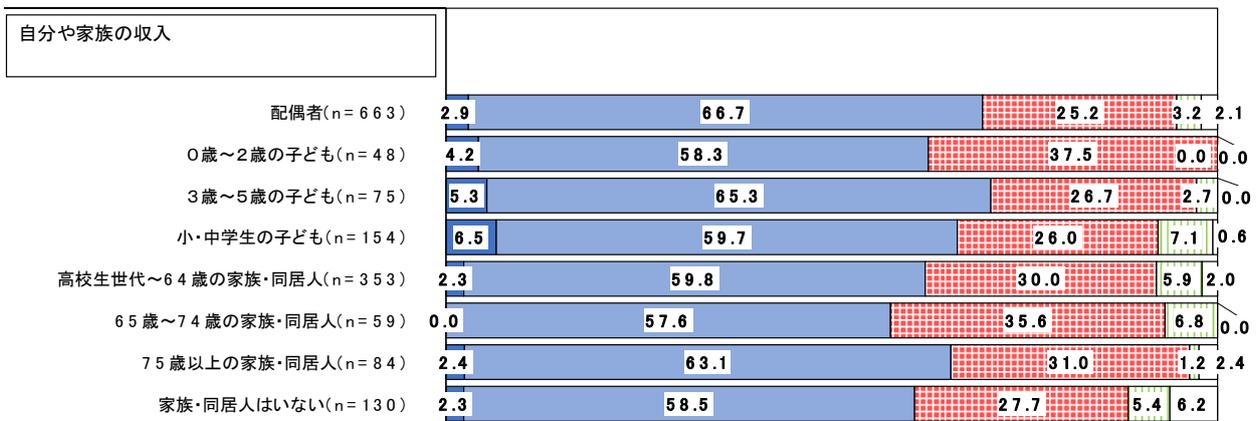
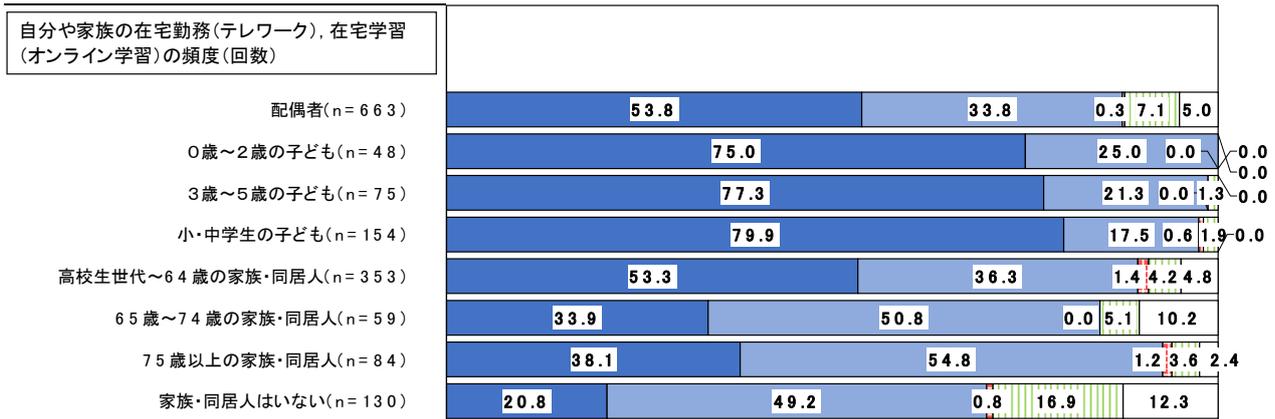
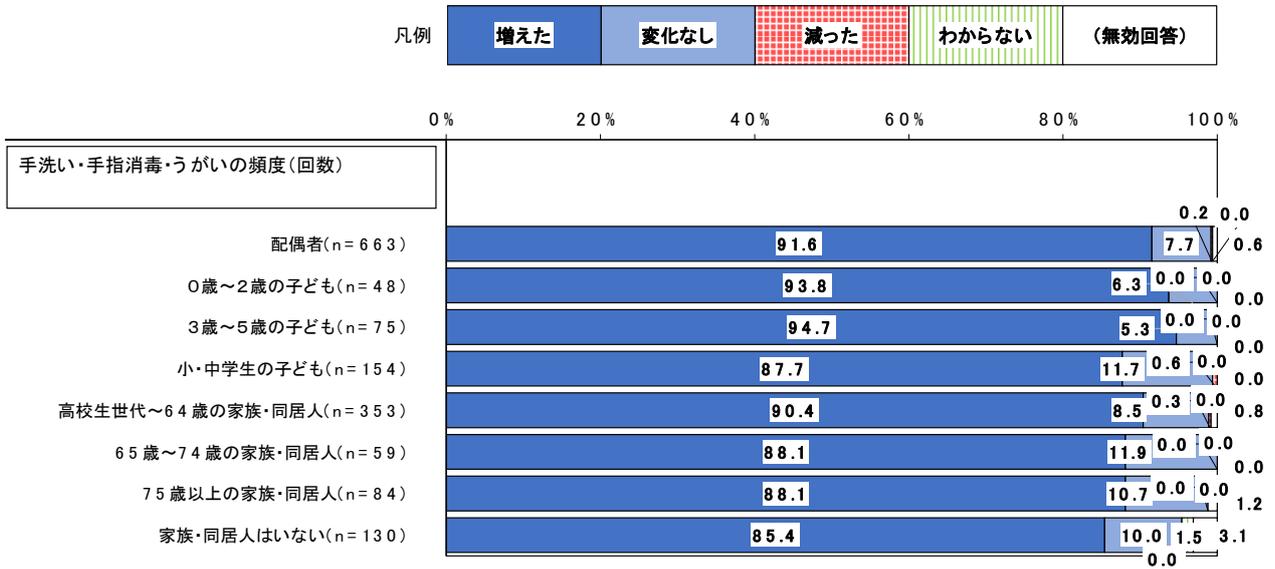




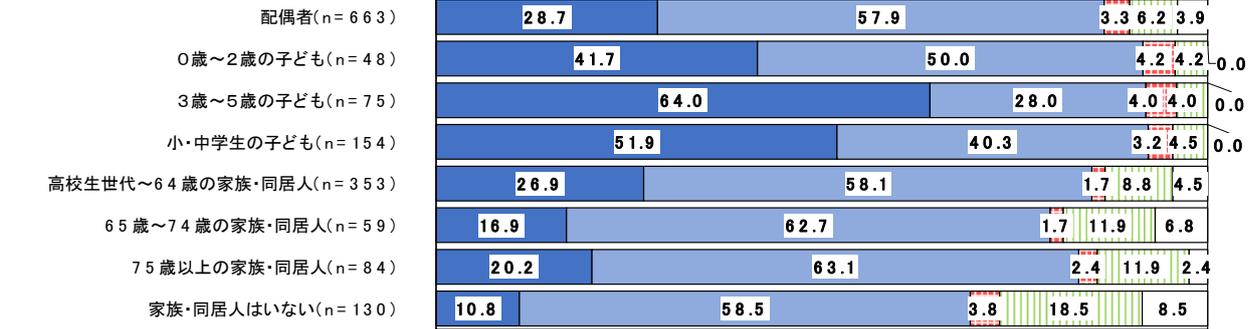
第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

<同居人別>

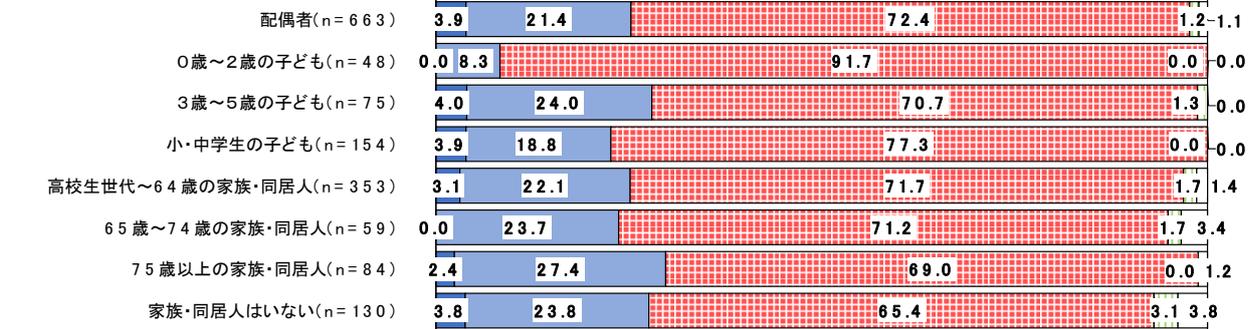
○「家事や子育ての負担」では、「0歳～小・中学生の子ども」で「増えた」が高くなっています。また、「外食の頻度（回数）」では、「0歳～2歳の子ども」で「減った」が特に高く、「自転車や自家用車での移動」では、「0歳～5歳の子ども」で「増えた」が高くなっています。



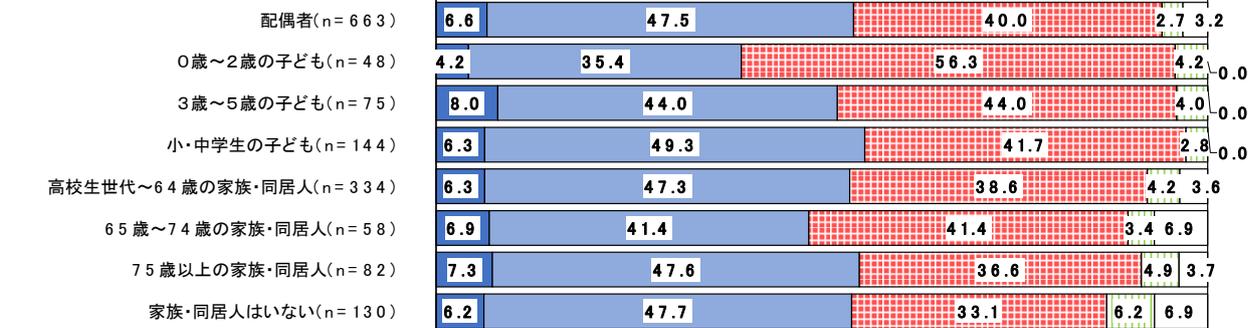
家事や子育ての負担



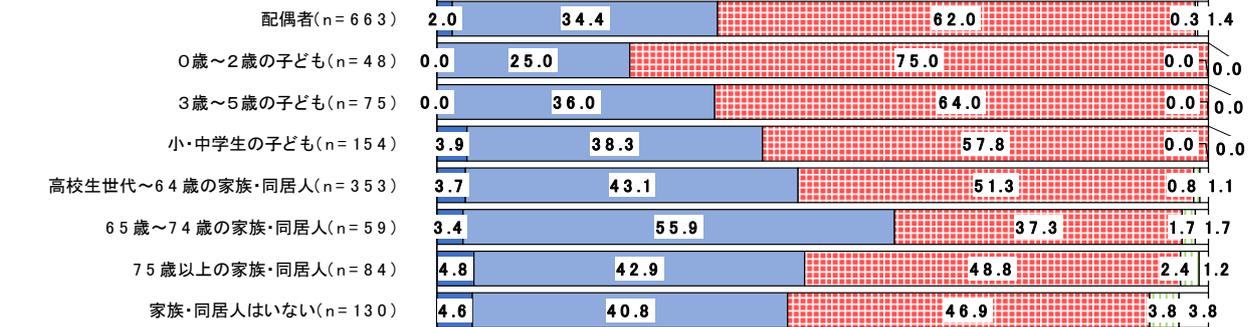
外食の頻度(回数)



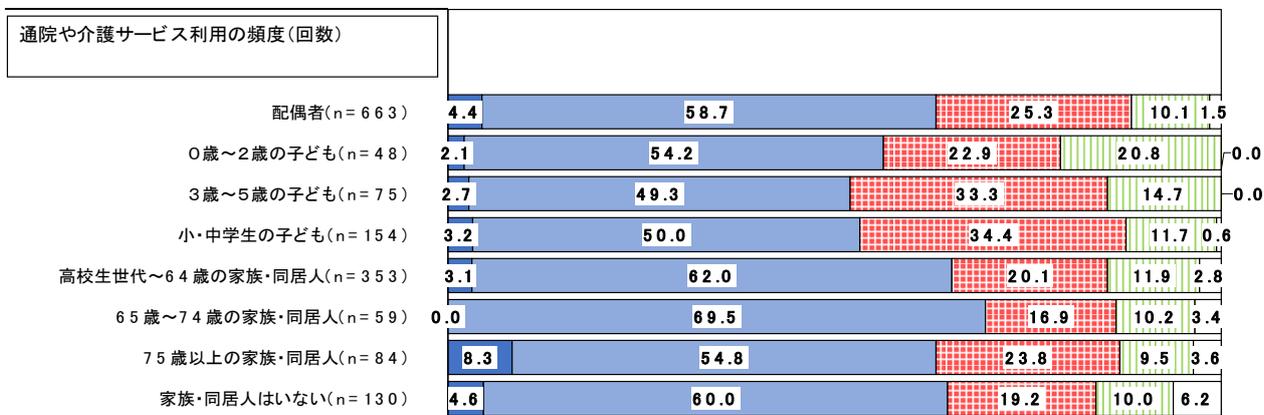
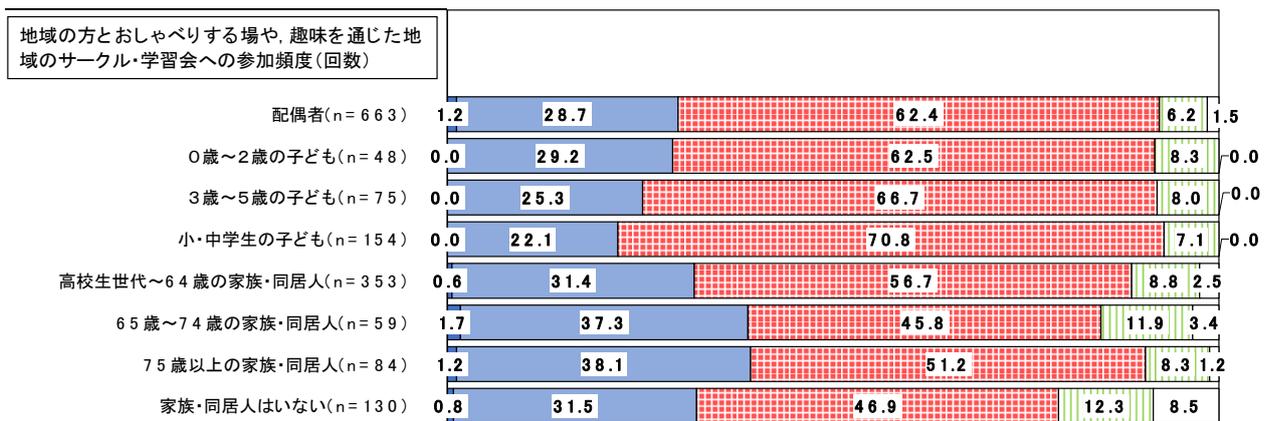
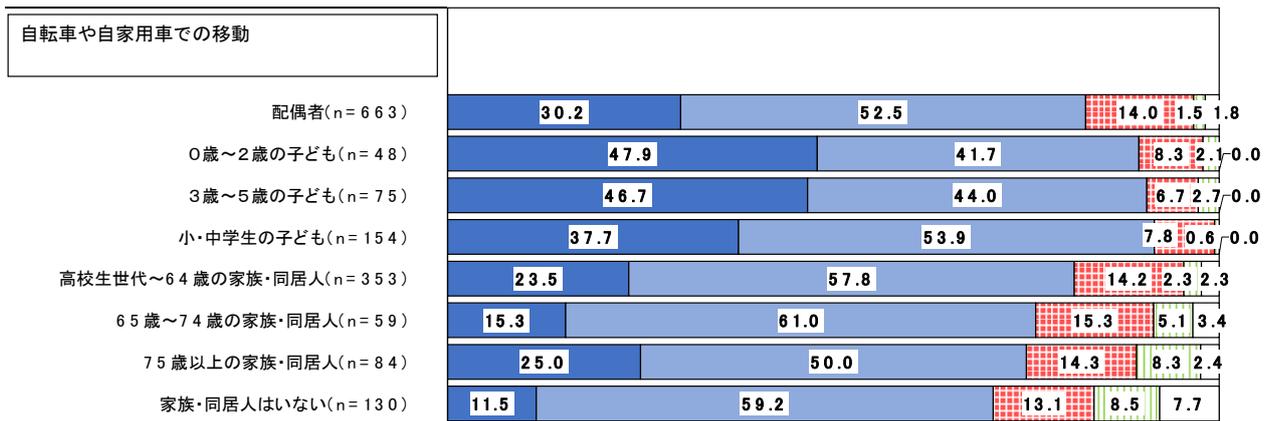
飲酒の頻度(回数)<20歳以上の方のみ>



電車やバスなどの公共交通機関での移動(通勤・通学含む)



第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

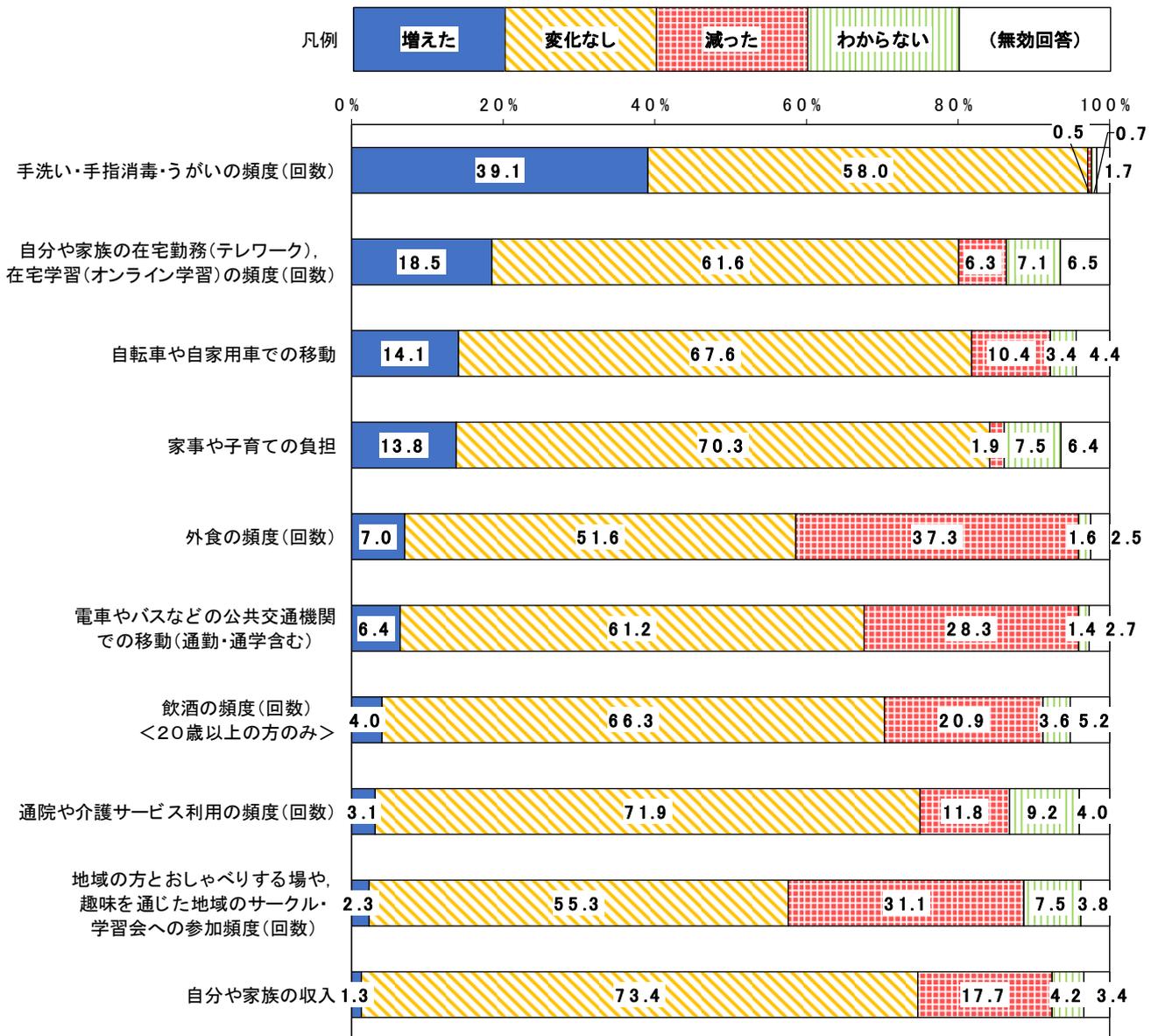


問14) 緊急事態宣言期間中（令和3年7月12日～9月30日）と現在を比べて、あなたの生活にどのような影響や変化がありましたか。

<全体（n=1105）>

○「増えた」は、「手洗い・手指消毒・うがいの頻度（回数）」が最も高く39.1%、次いで「自分や家族の在宅勤務（テレワーク）、在宅学習（オンライン学習）の頻度（回数）」の18.5%、「自転車や自家用車での移動」の14.1%の順となっています。

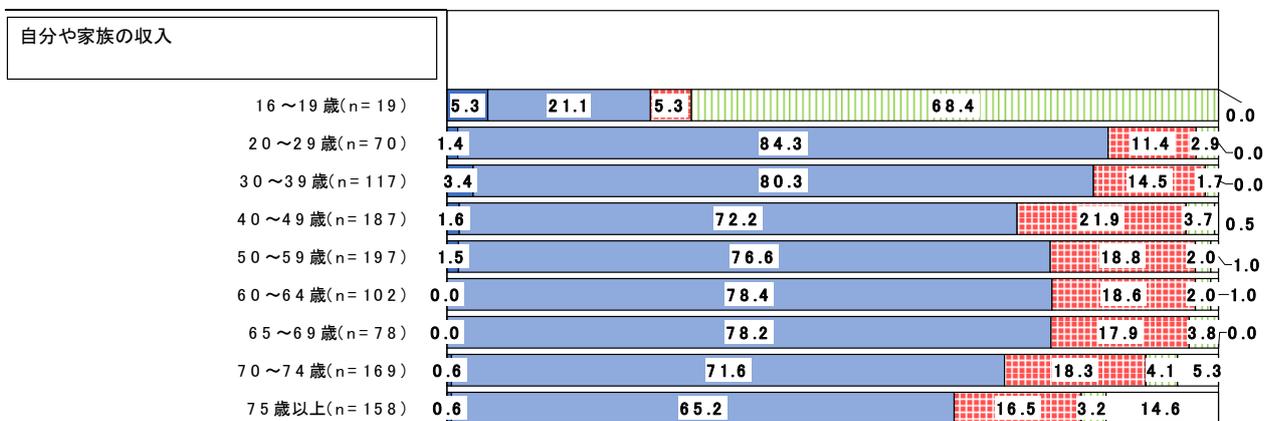
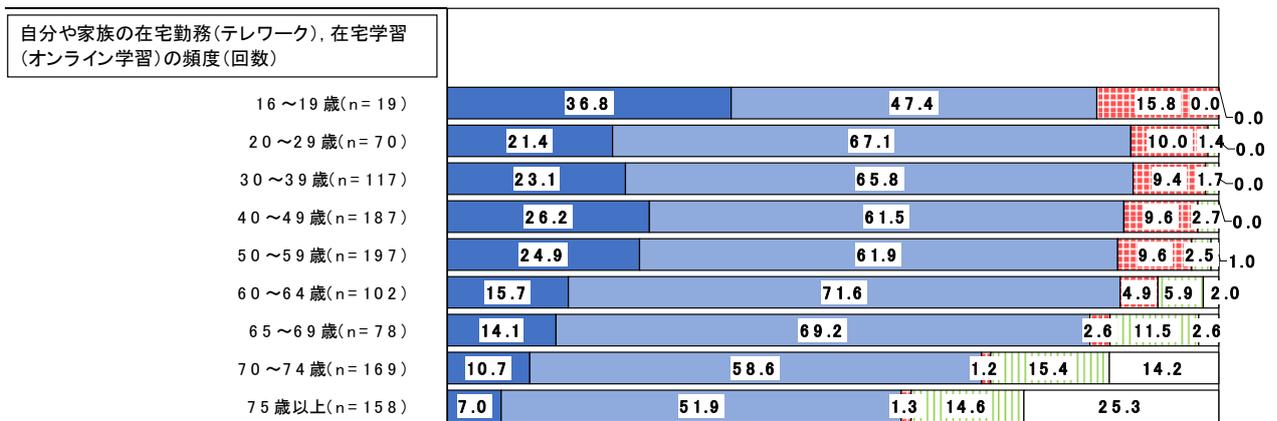
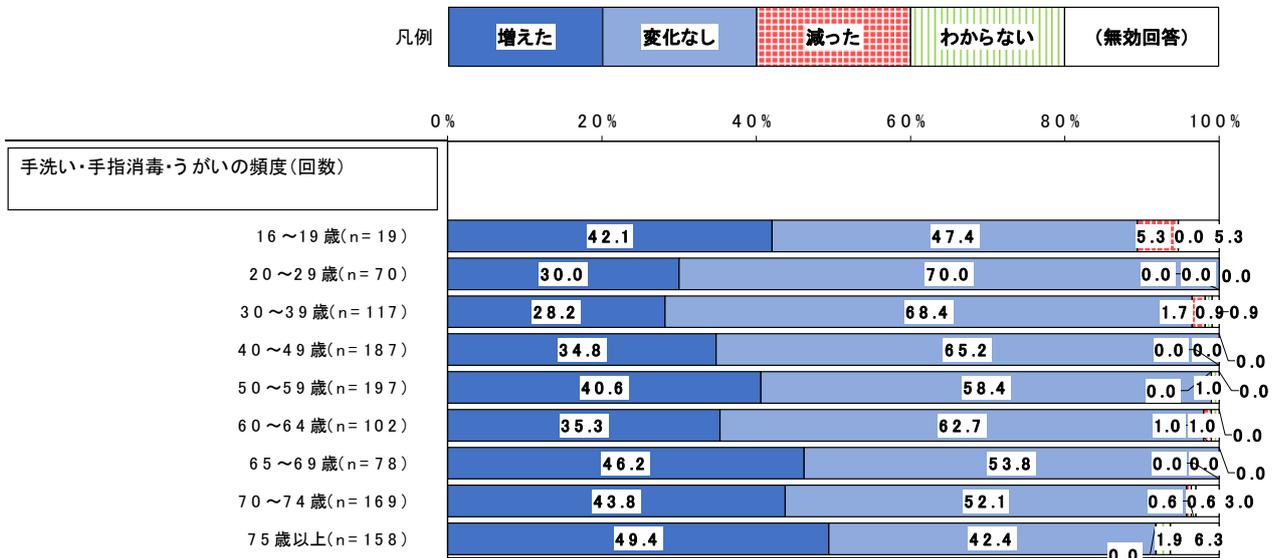
○「減った」は、「外食の頻度（回数）」が最も高く37.3%、次いで「地域の方とおしゃべりする場や、趣味を通じた地域のサークル・学習会への参加頻度（回数）」の31.1%、「電車やバスなどの公共交通機関での移動（通勤・通学含む）」の28.3%の順となっています。



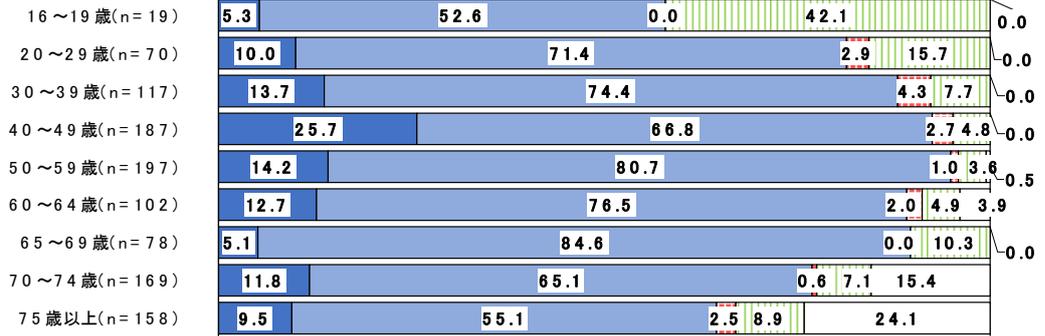
第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

<年齢層別>

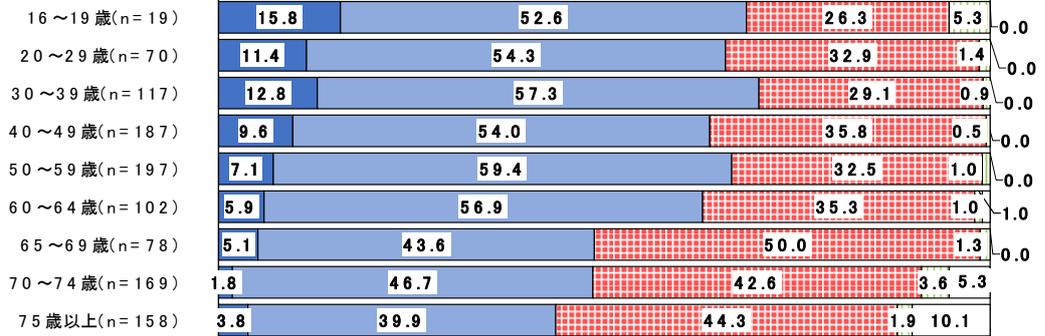
- 「自分や家族の在宅勤務（テレワーク）、在宅学習（オンライン学習）の頻度（回数）」では、16～19歳で「増えた」が36.8%と高くなっています。
- 「外食の頻度（回数）」、「電車やバスなどの公共交通機関での移動（通勤・通学含む）」、「地域の方としゃべりする場や、趣味を通じた地域のサークル・学習会への参加頻度（回数）」など、人との接触が心配される場面では、65歳以上で「減った」が高くなっています。



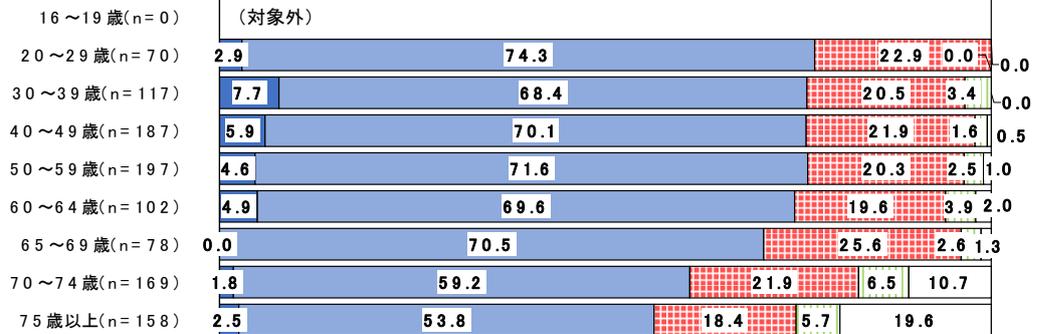
家事や子育ての負担



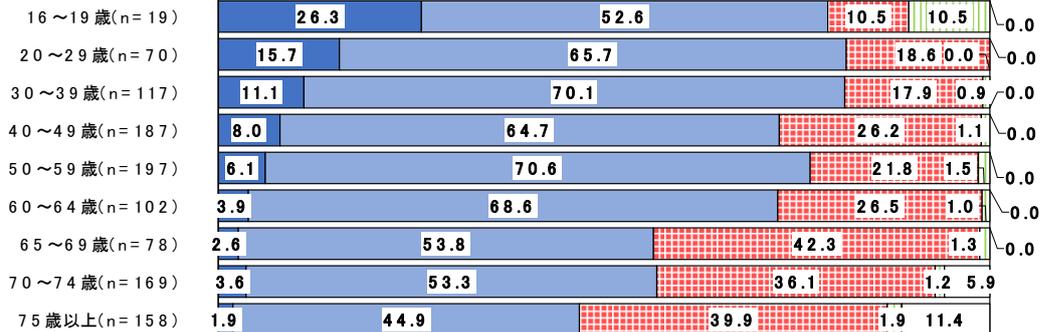
外食の頻度(回数)



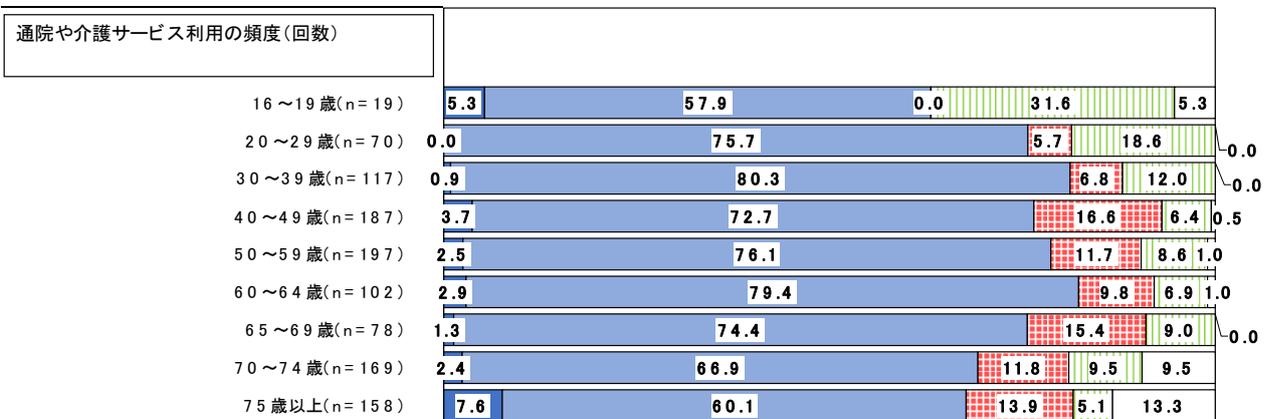
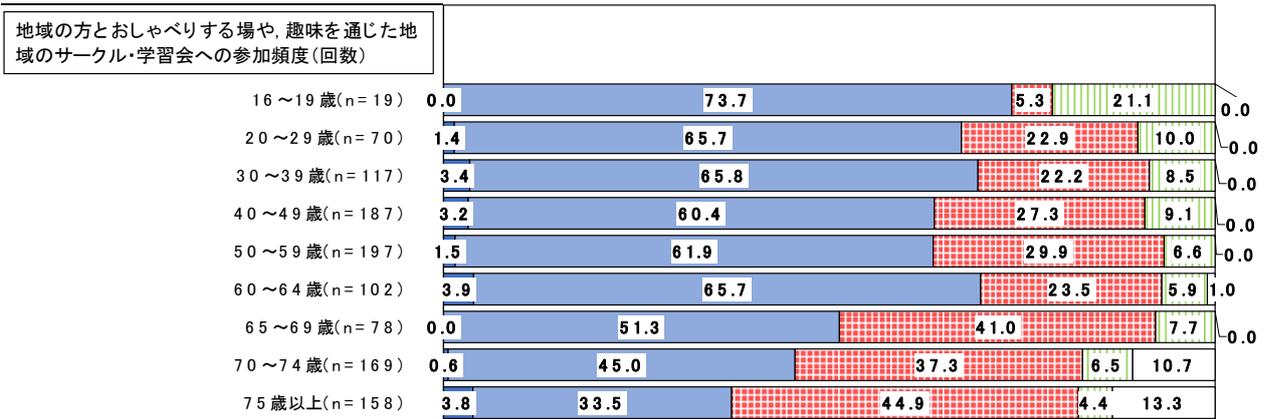
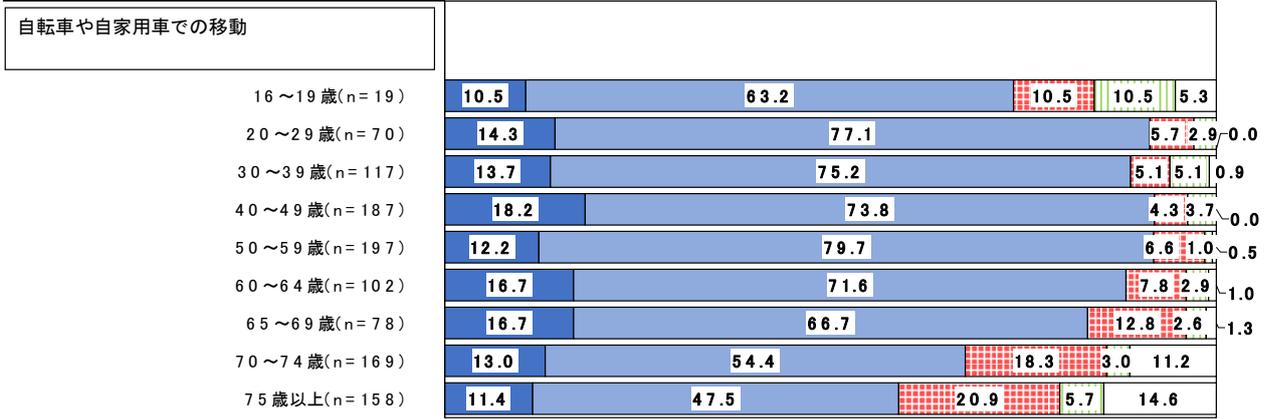
飲酒の頻度(回数)<20歳以上の方のみ>



電車やバスなどの公共交通機関での移動(通勤・通学含む)

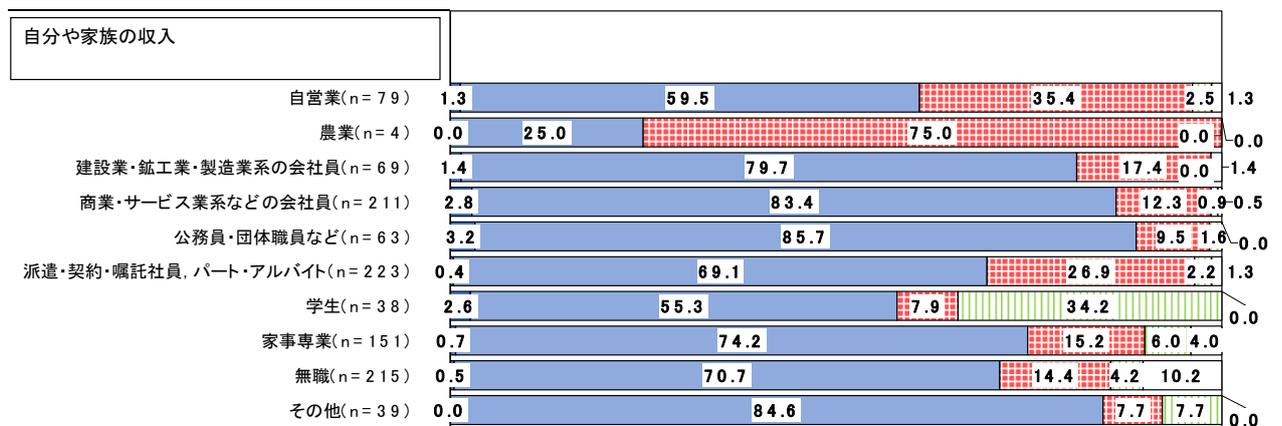
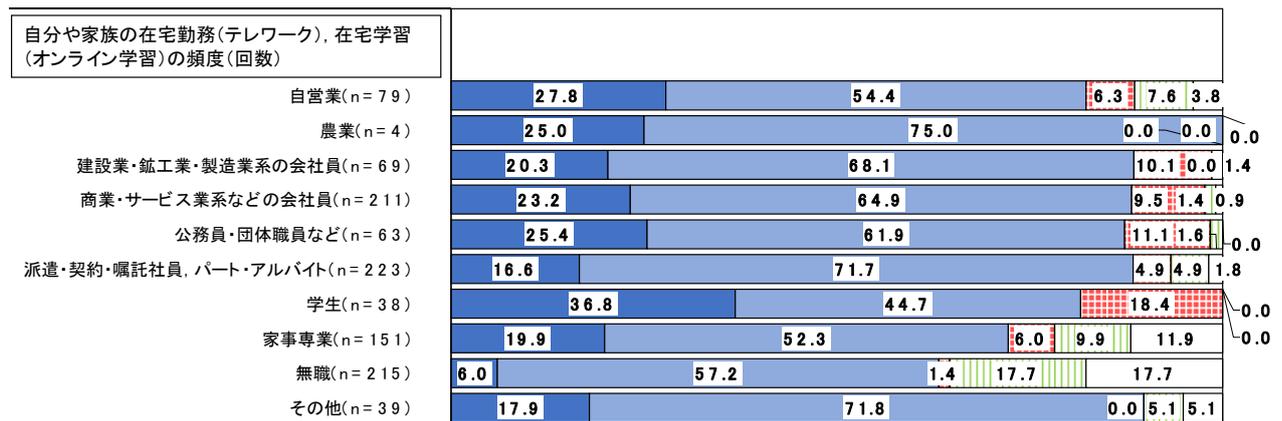
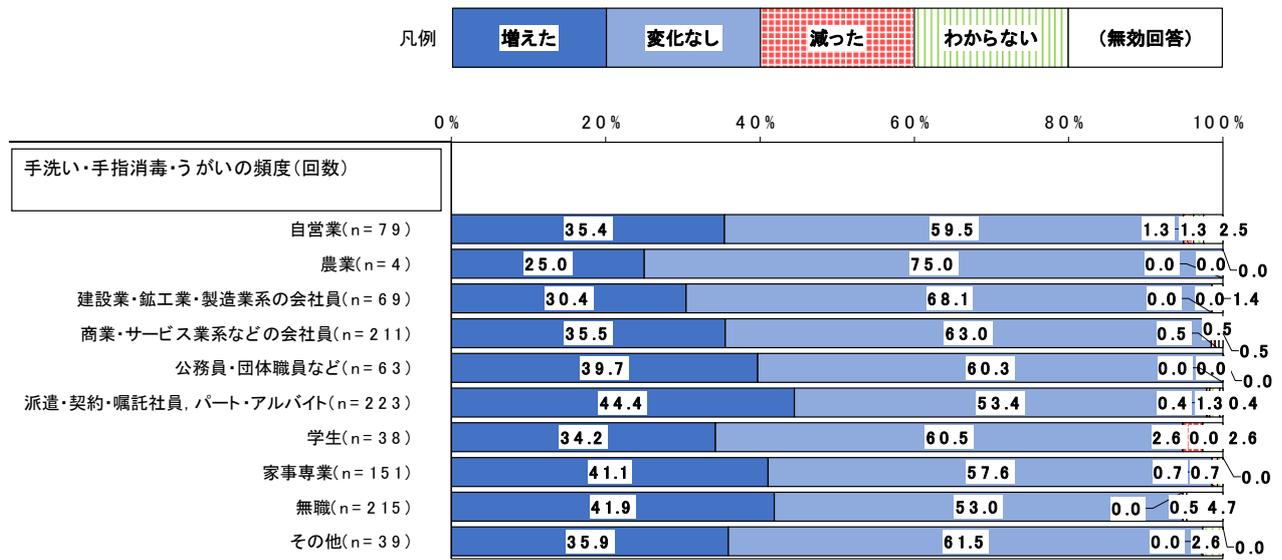


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

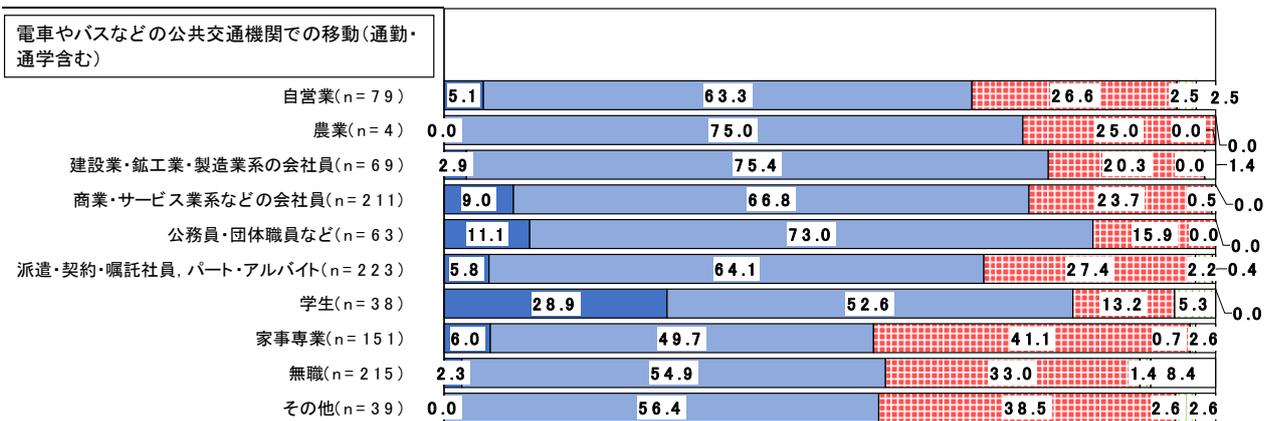
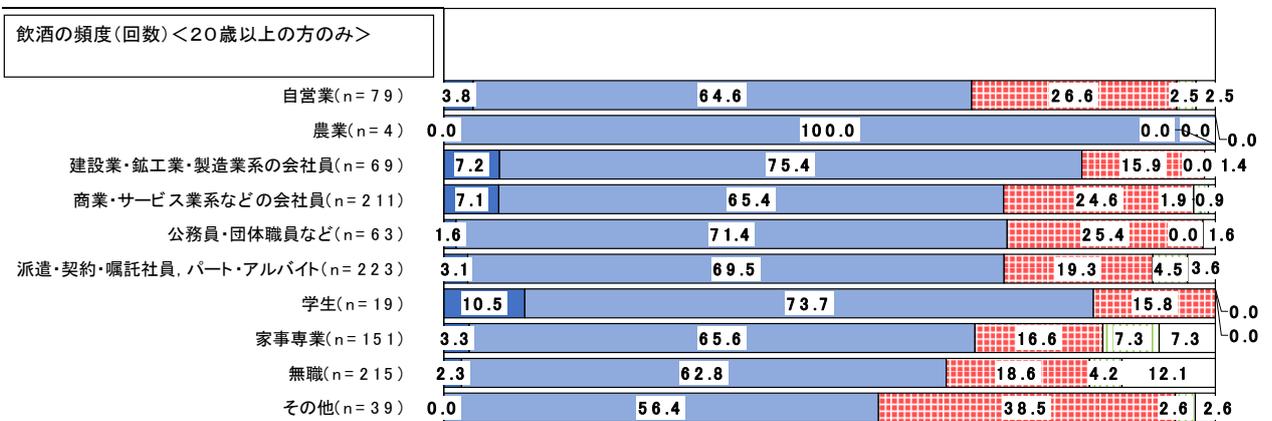
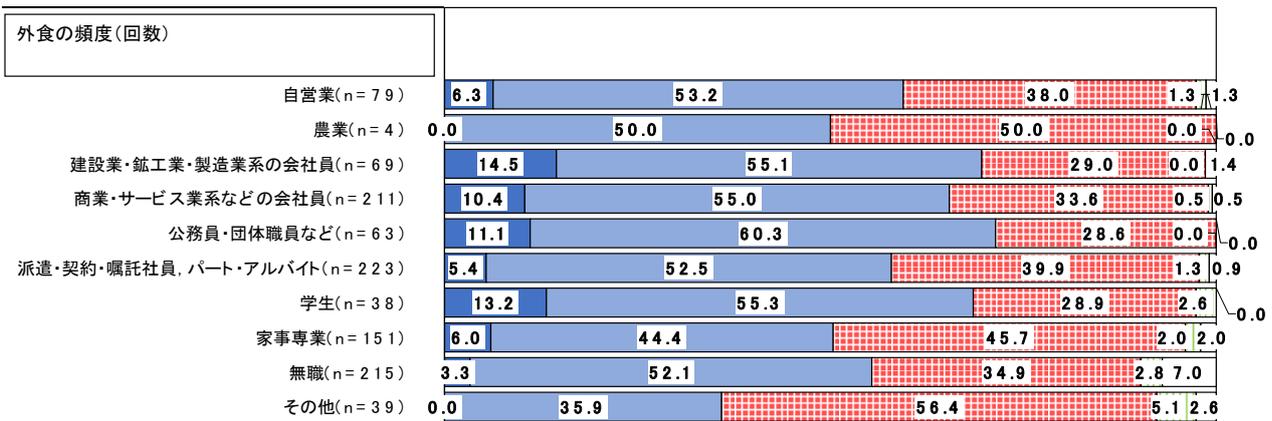
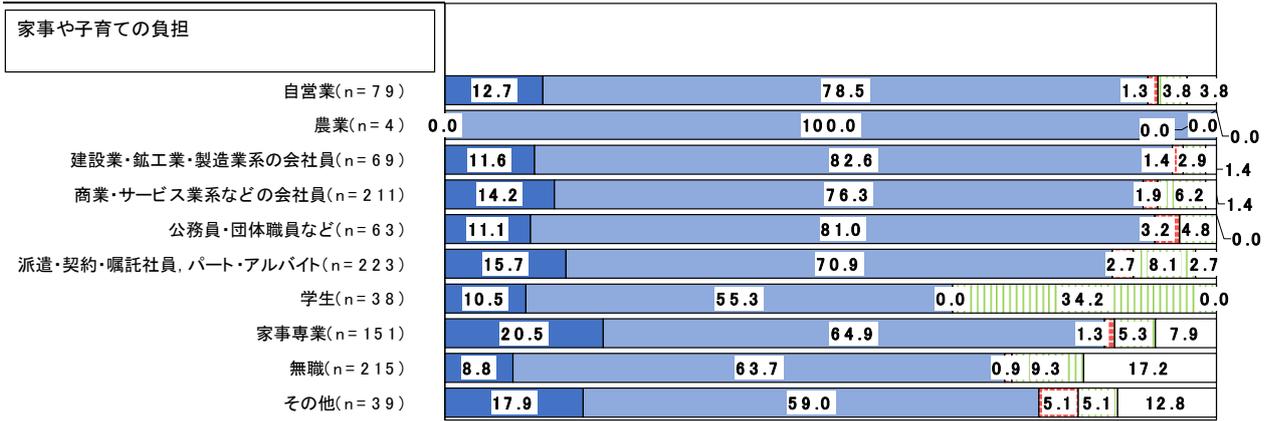


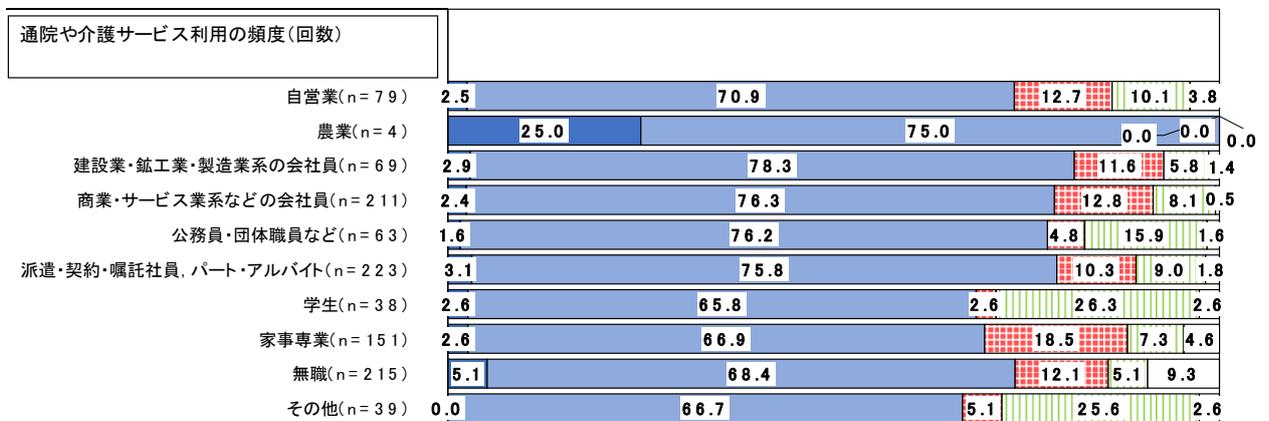
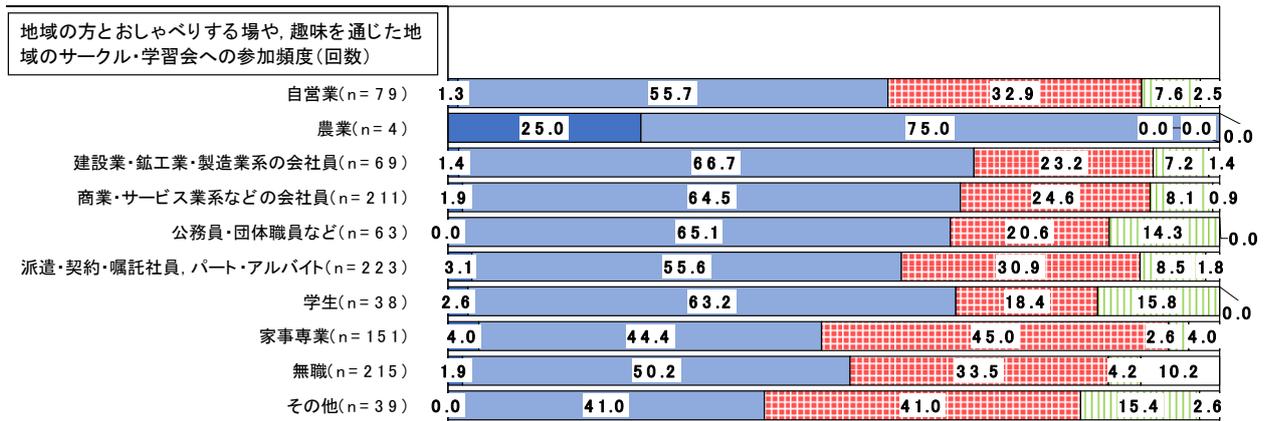
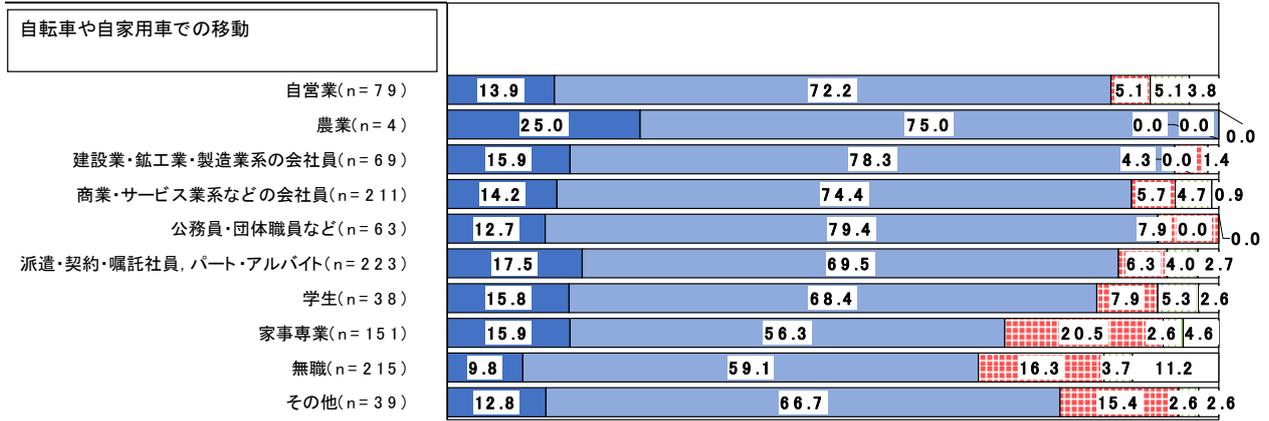
<職業別>

○「学生」では、「自分や家族の在宅勤務（テレワーク）、在宅学習（オンライン学習）の頻度（回数）」
 「電車やバスなどの公共交通機関での移動（通勤・通学含む）」で「増えた」が高くなっています。
 また、「自分や家族の収入」では、「農業」で「減った」が特に高くなっています。



第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

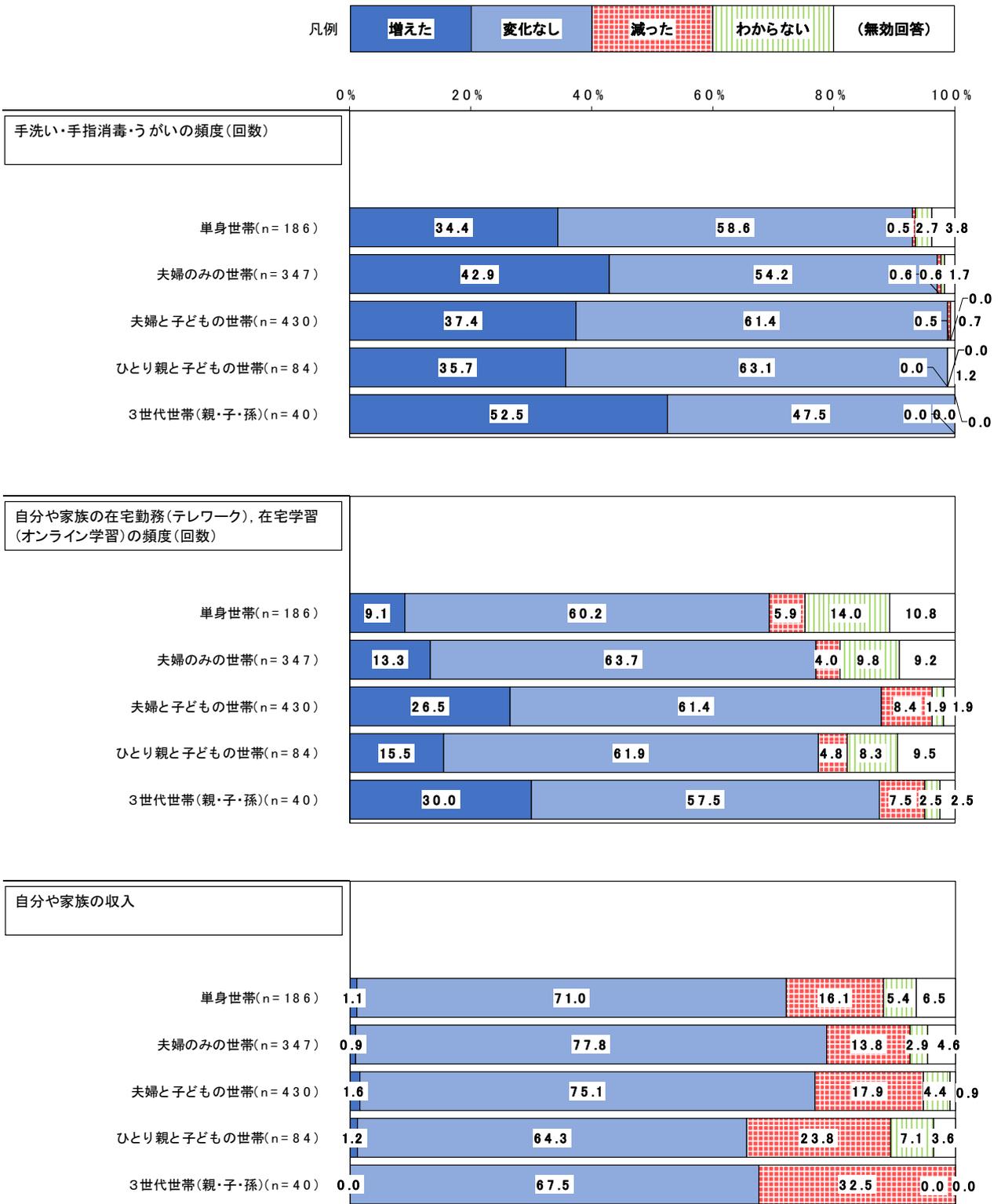


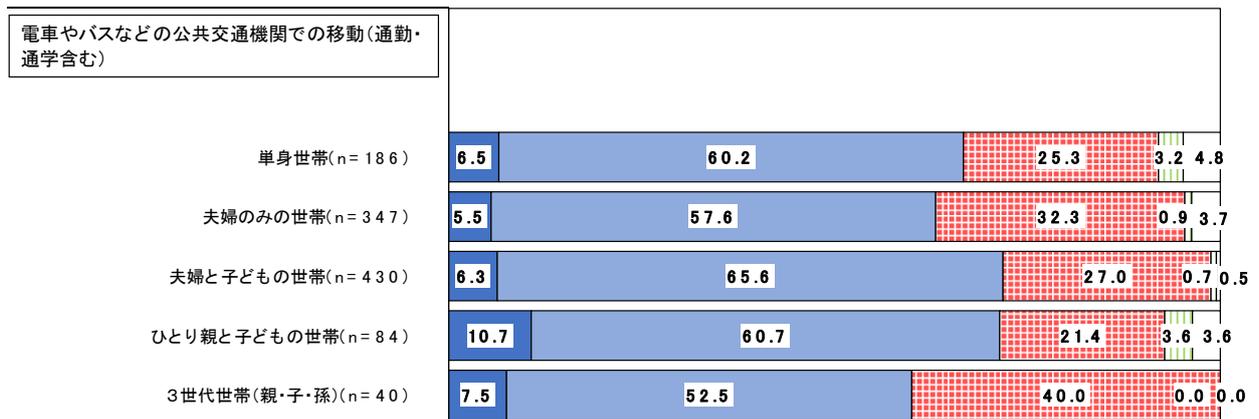
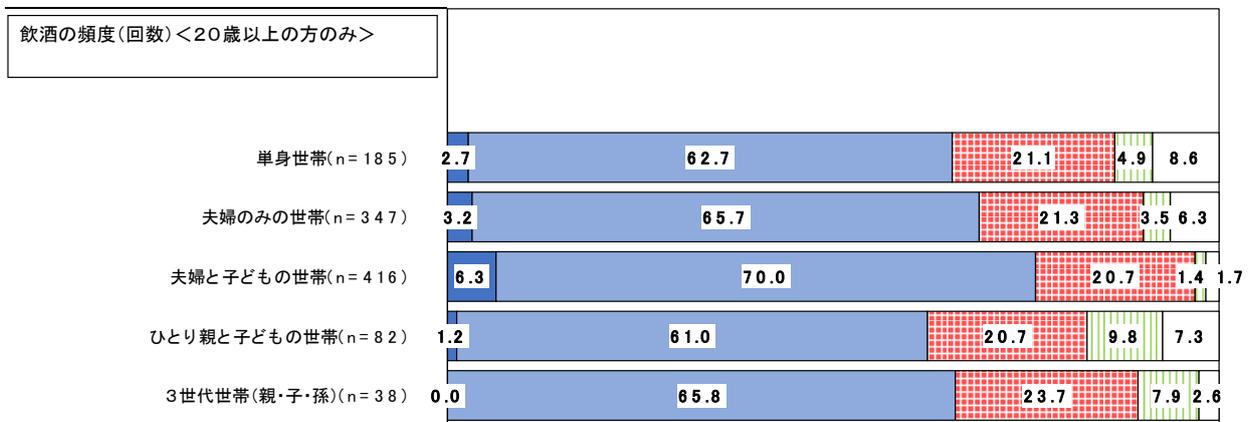
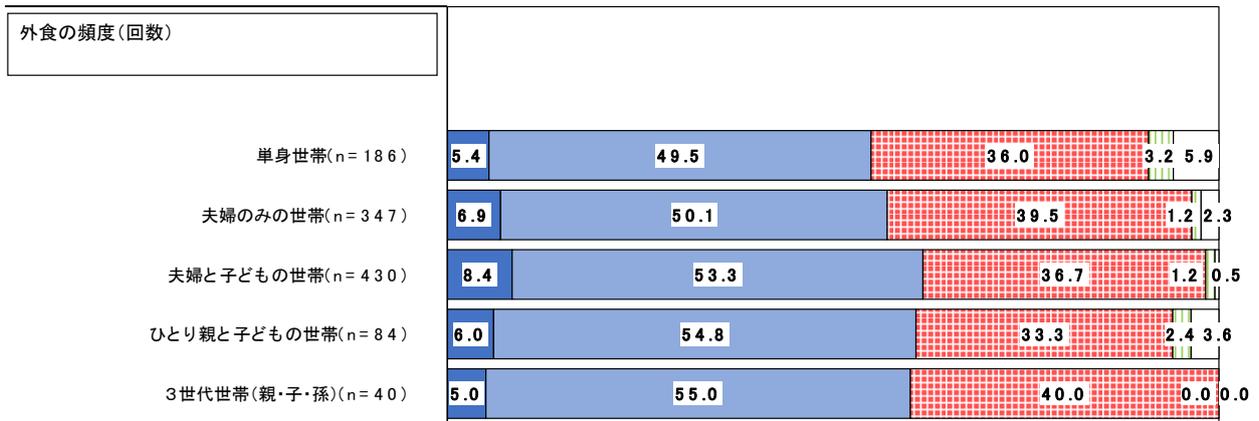
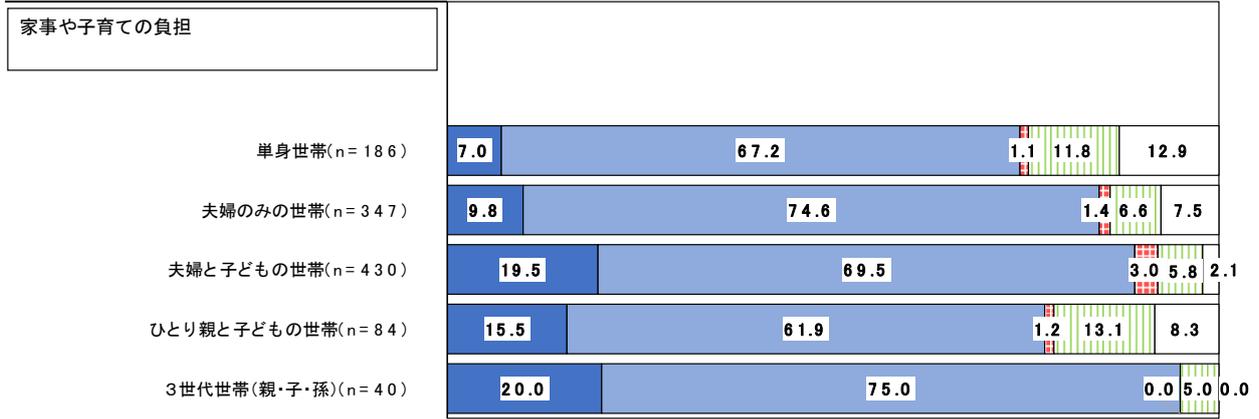


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

<家族構成別>

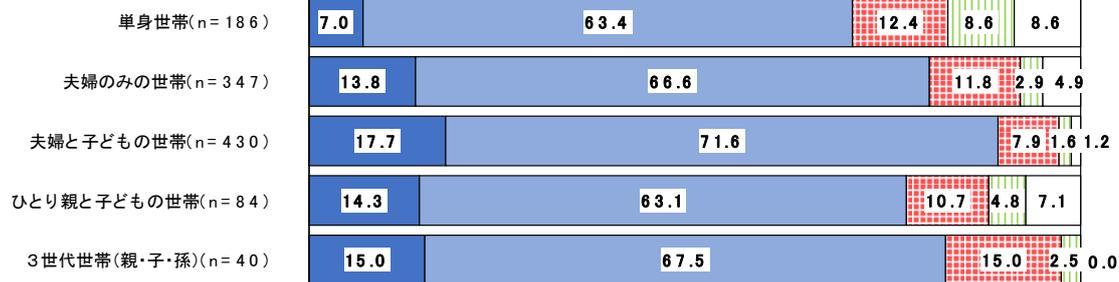
○「自分や家族の在宅勤務（テレワーク）、在宅学習（オンライン学習）の頻度（回数）」では、「夫婦と子どもの世帯」、「3世代世帯（親・子・孫）」で「増えた」が高くなっています。また、「自分や家族の収入」では、「ひとり親と子どもの世帯」、「3世代世帯（親・子・孫）」で「減った」が高くなっています。そのほか、「地域の方とおしゃべりする場や、趣味を通じた地域のサークル・学習会への参加頻度（回数）」では、「3世代世帯（親・子・孫）」で「減った」が特に高くなっています。



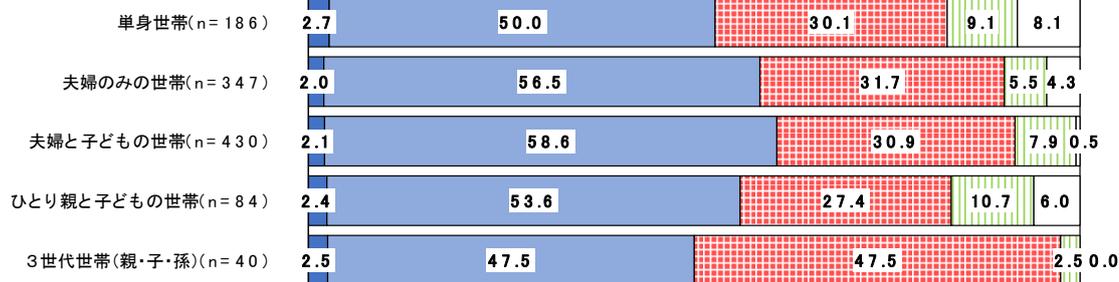


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

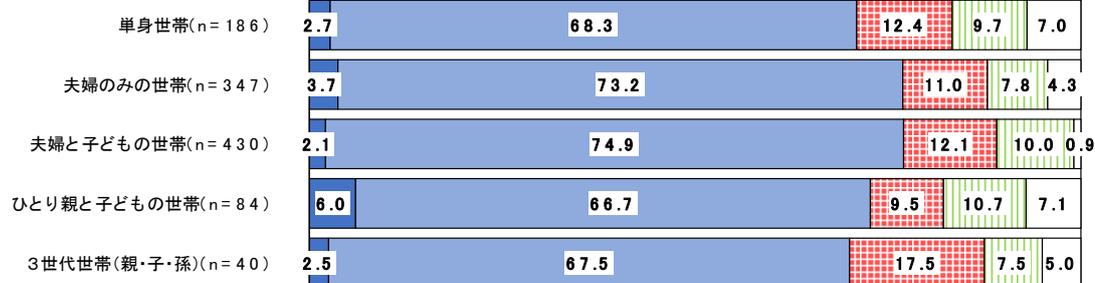
自転車や自家用車での移動



地域の方とおしゃべりする場や、趣味を通じた地域のサークル・学習会への参加頻度 (回数)

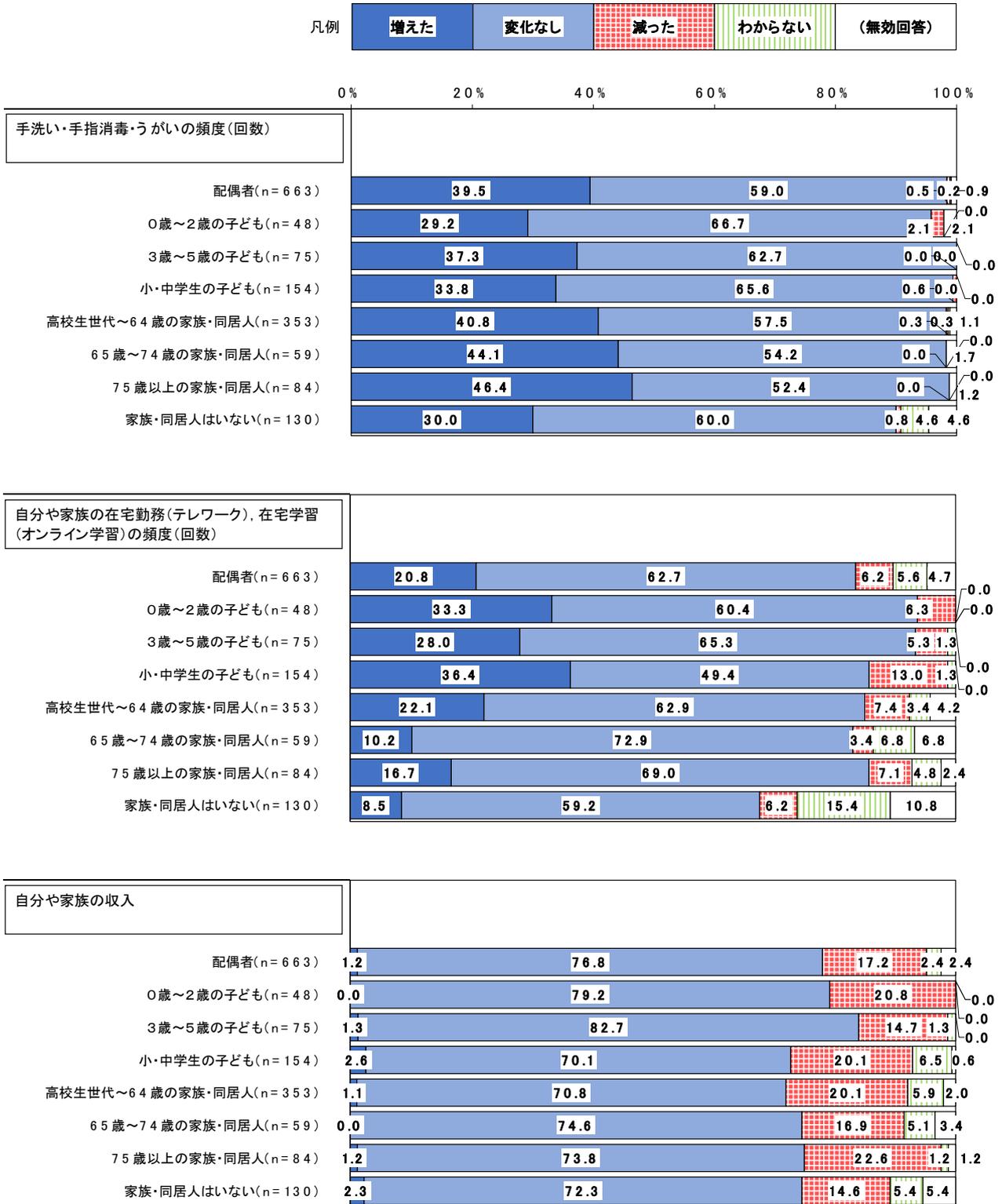


通院や介護サービス利用の頻度 (回数)

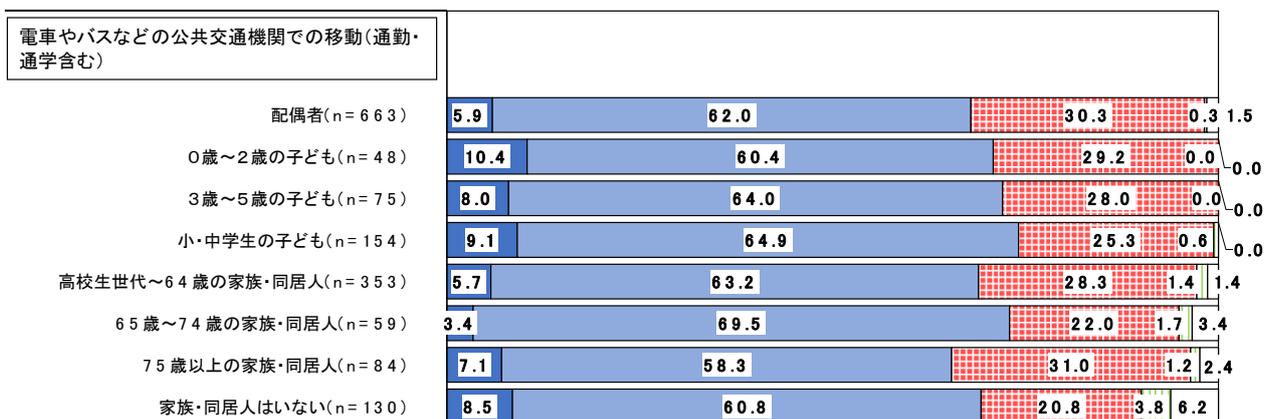
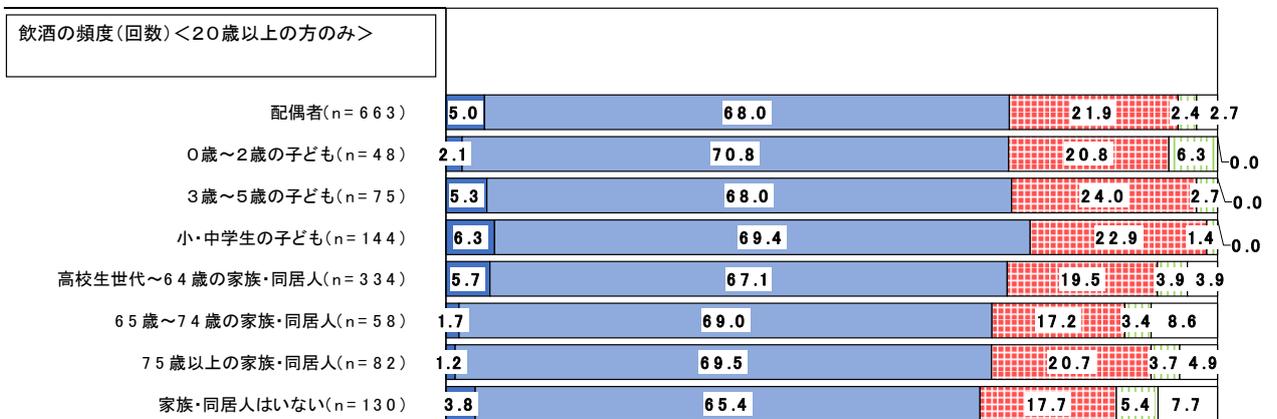
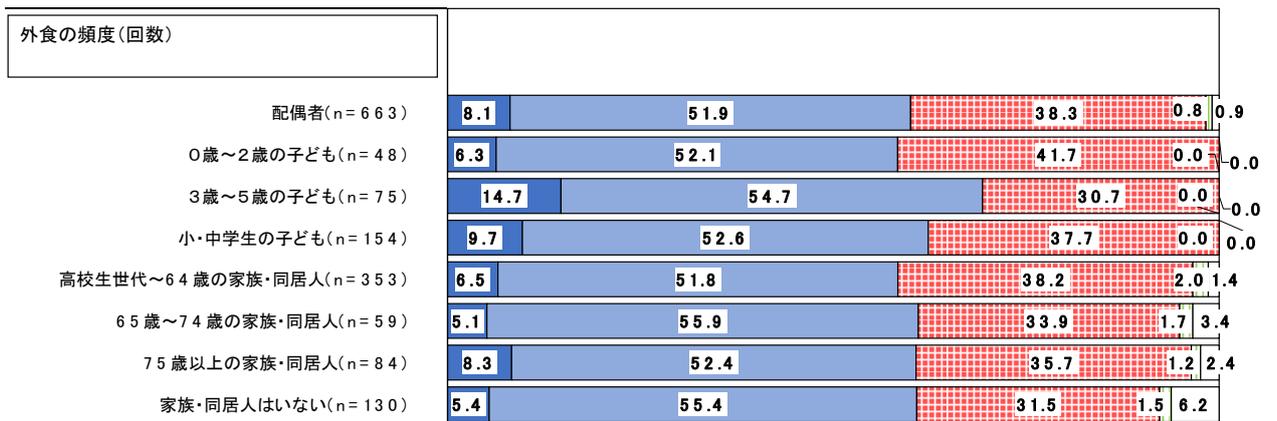
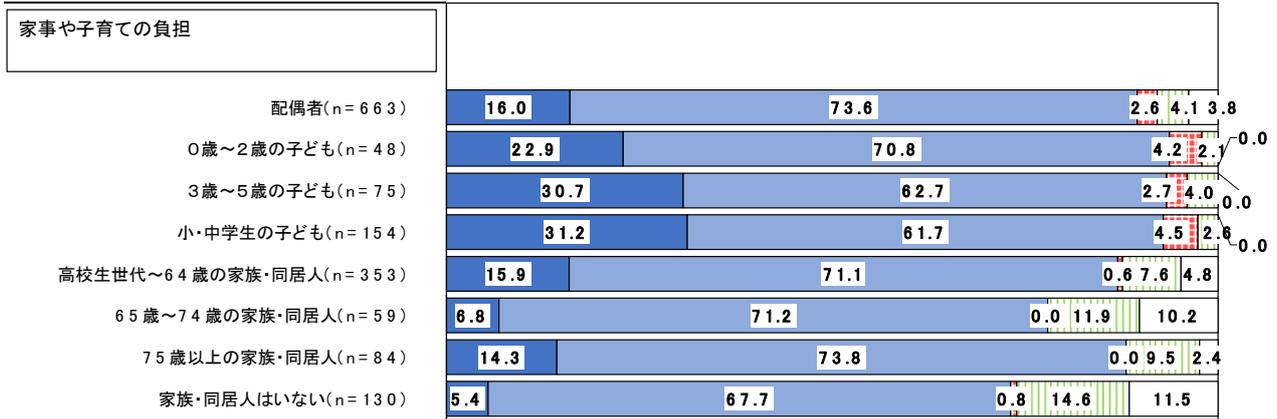


<同居人別>

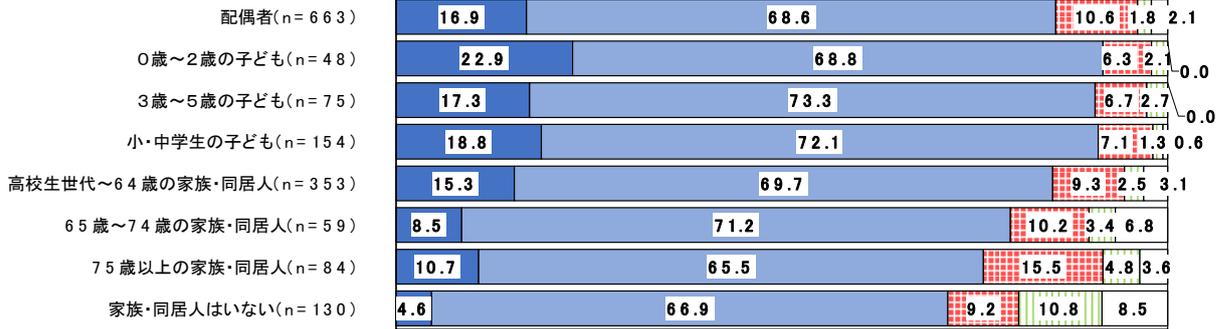
○「家事や子育ての負担」では、「0歳～小・中学生の子ども」で「増えた」が高くなっています。また、「0歳～2歳の子ども」では、「自転車や自家用車での移動」「通院や介護サービス利用の頻度（回数）」で「増えた」が高くなっています。



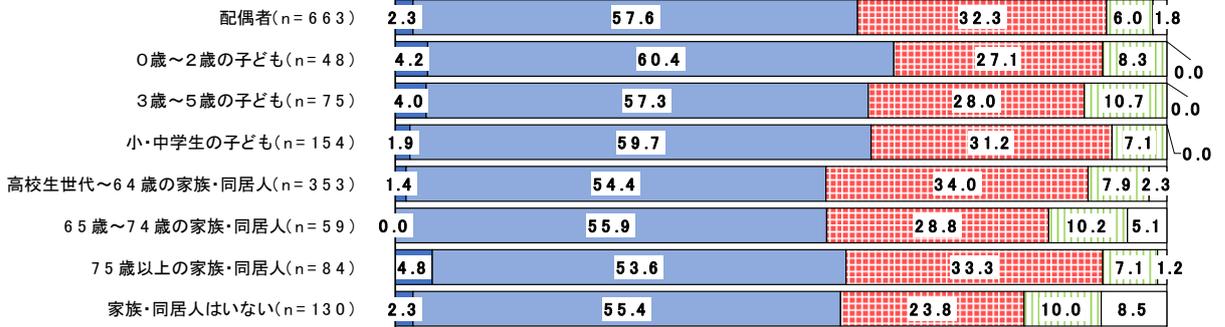
第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>



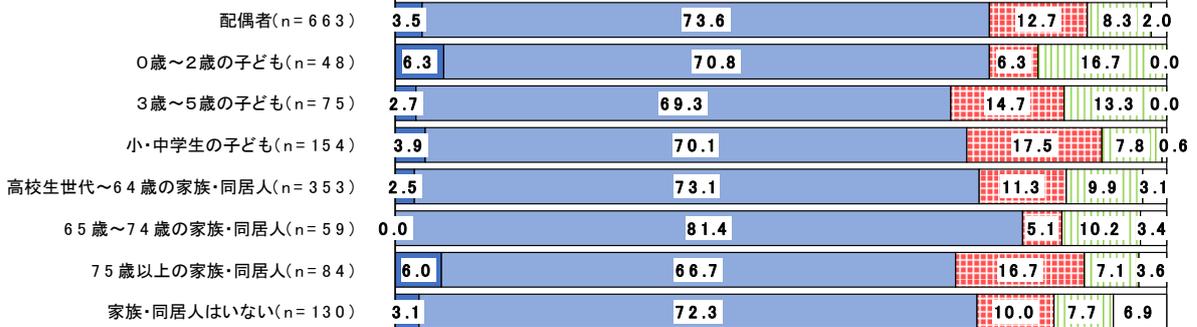
自転車や自家用車での移動



地域の方とおしゃべりする場や、趣味を通じた地域のサークル・学習会への参加頻度(回数)



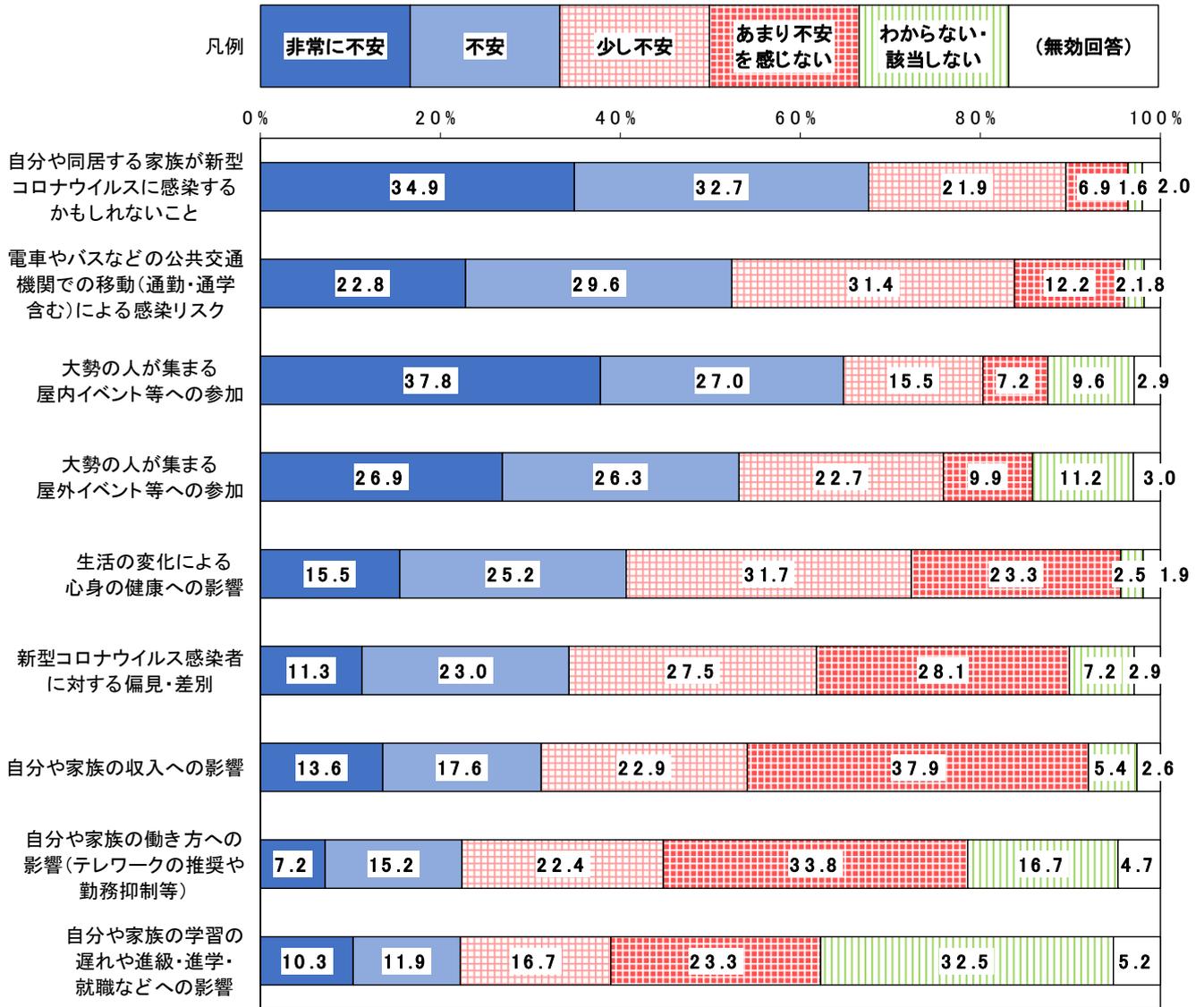
通院や介護サービス利用の頻度(回数)



問 15) あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大による影響で不安を感じていることがありますか。

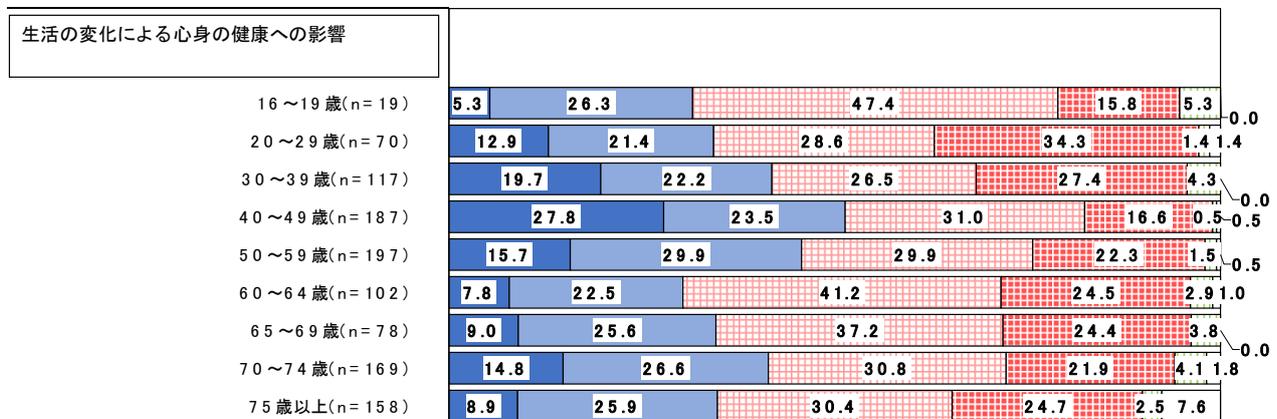
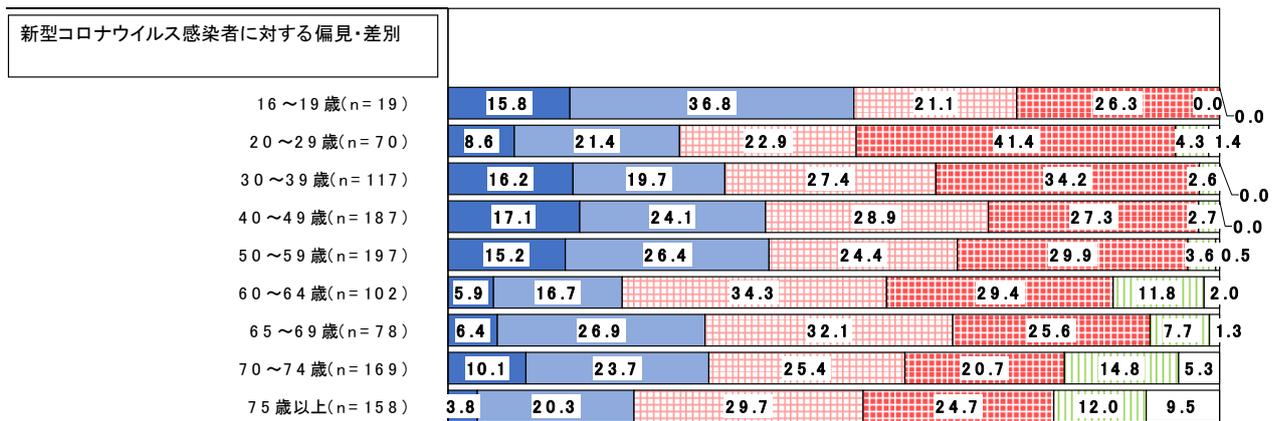
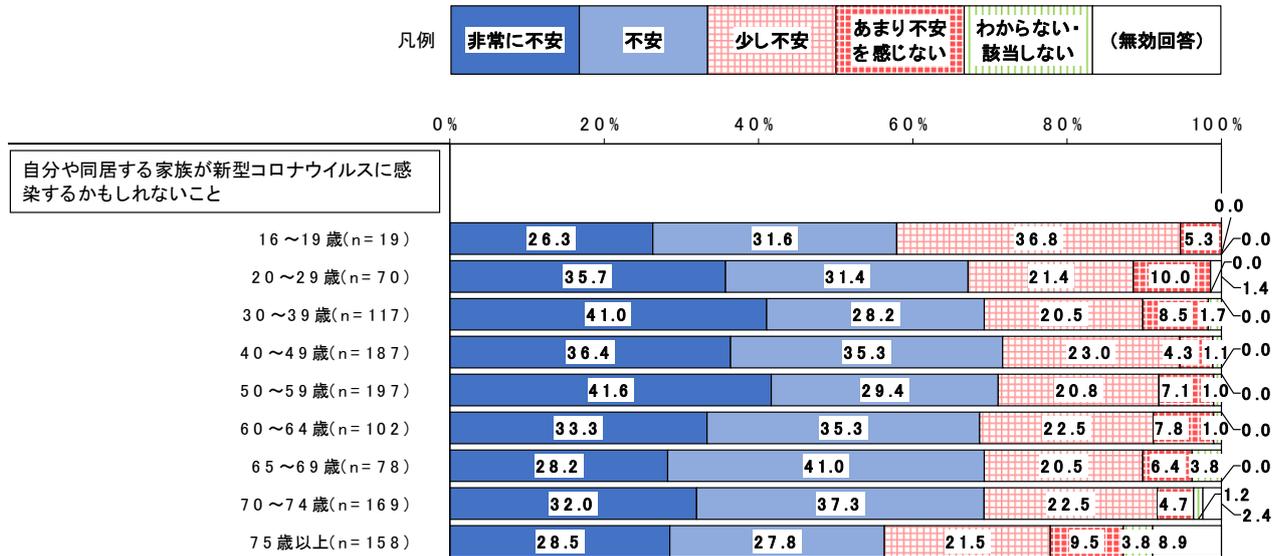
<全体 (n=1105) >

○「非常に不安」、「不安」、「少し不安」の合計は、「自分や同居する家族が新型コロナウイルスに感染するかもしれないこと」が最も高く 89.5%，次いで「電車やバスなどの公共交通機関での移動（通勤・通学含む）による感染リスク」の 83.8%，「大勢の人が集まる屋内イベント等への参加」の 80.3%の順となっています。

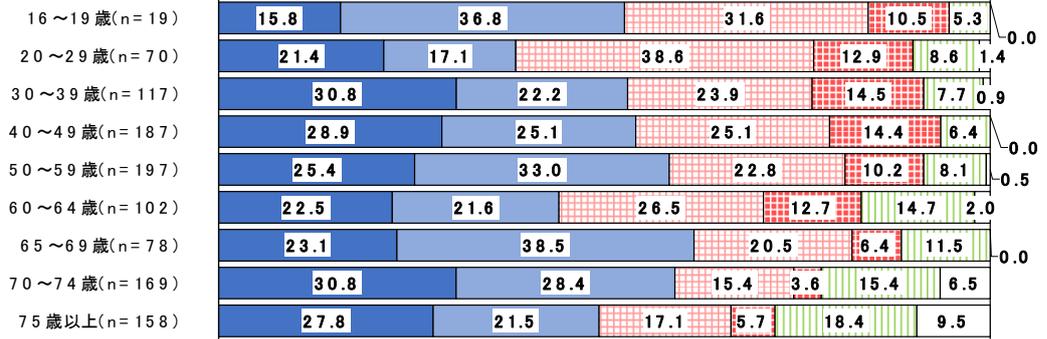


<年齢層別>

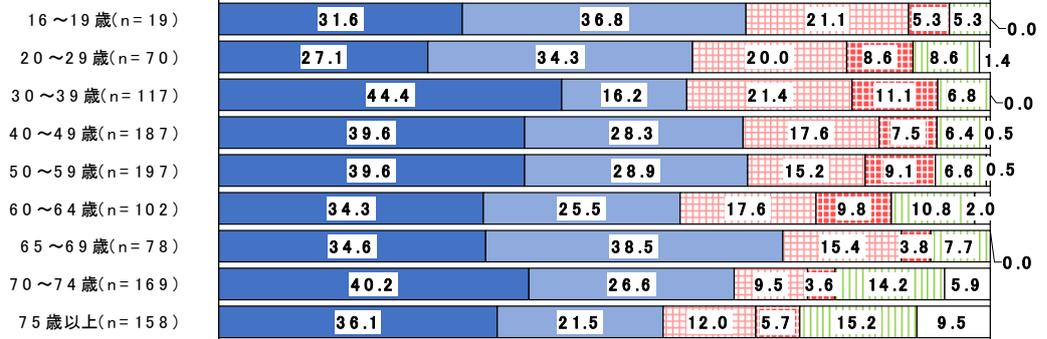
○「自分や家族の収入への影響」では、16～59歳で年代が高くなるほど「不安」を感じる（「非常に不安」、「不安」、「少し不安」とする比率が高くなる傾向にあります。また、16～19歳、30～49歳では、「自分や家族の学習の遅れや進級・進学・就職などへの影響」に「不安」を感じるとする比率が高くなる傾向にあります。



大勢の人が集まる屋外イベント等への参加



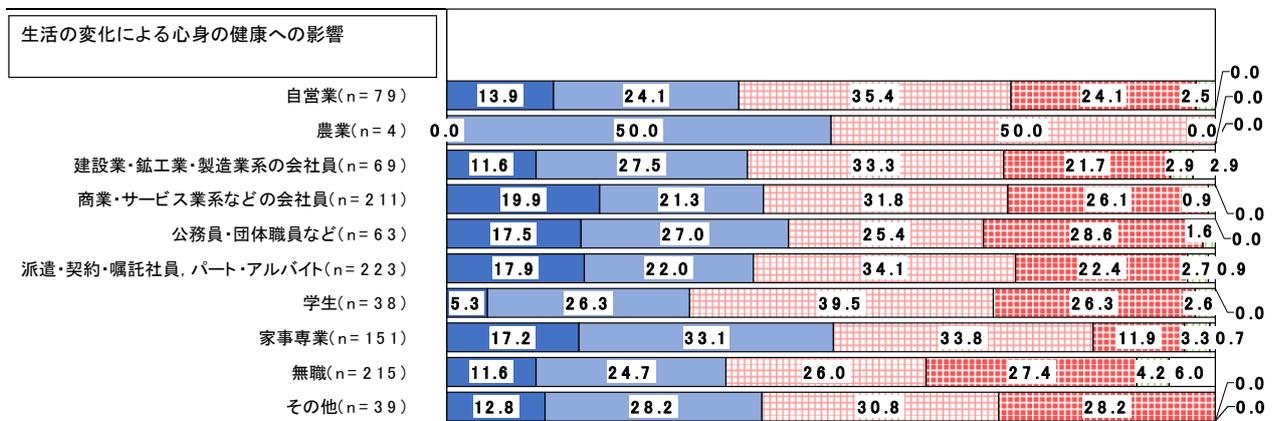
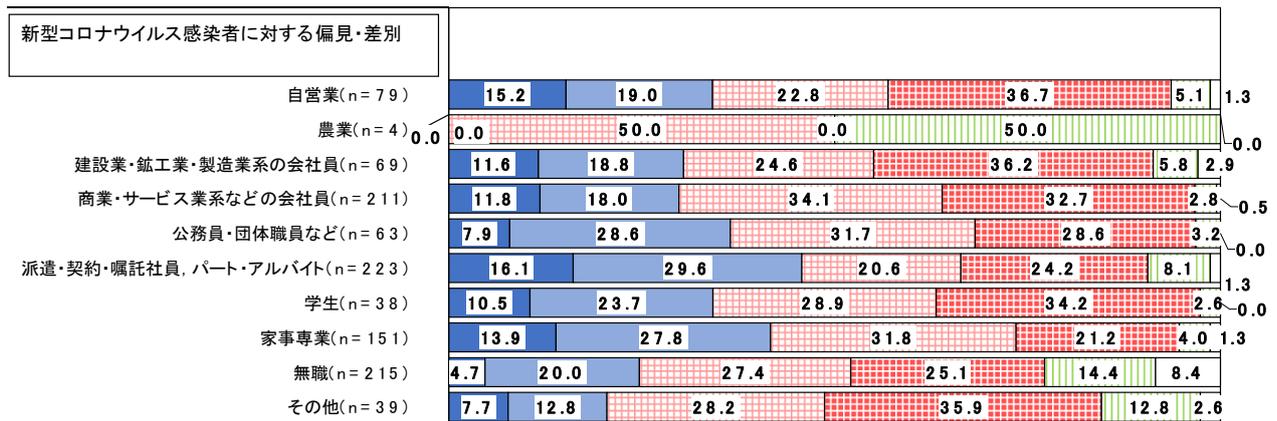
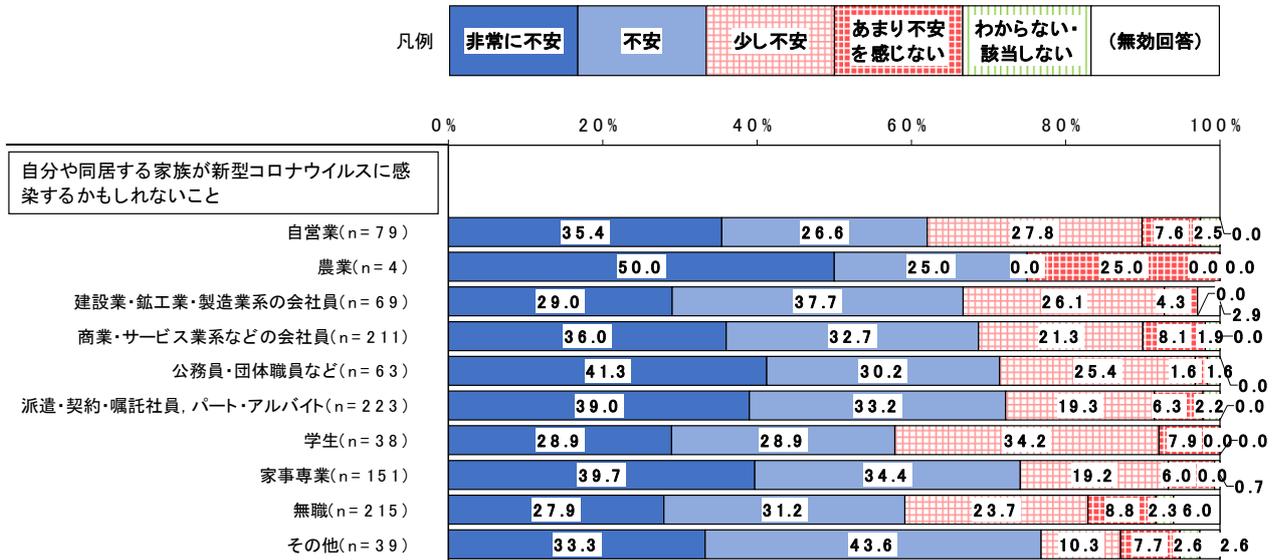
大勢の人が集まる屋内イベント等への参加

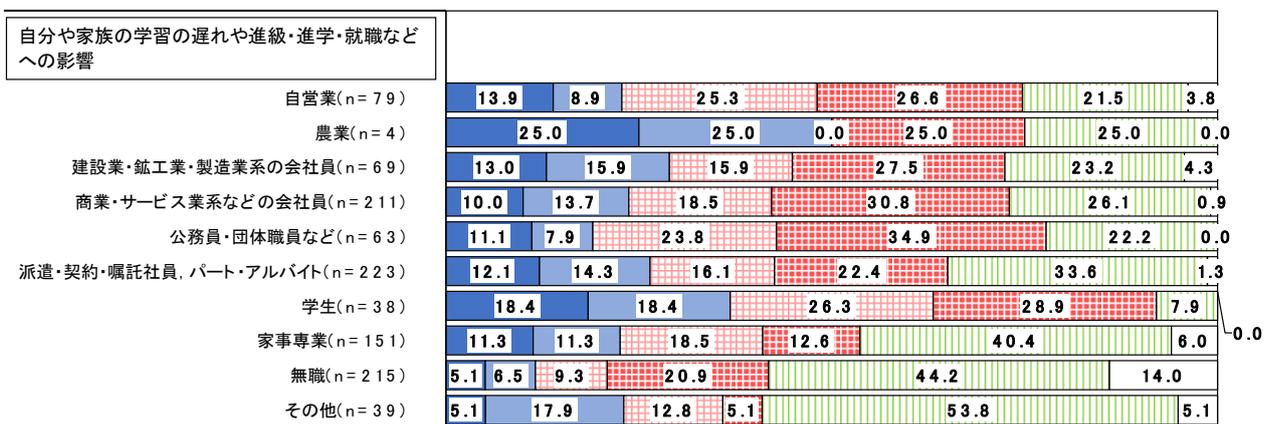
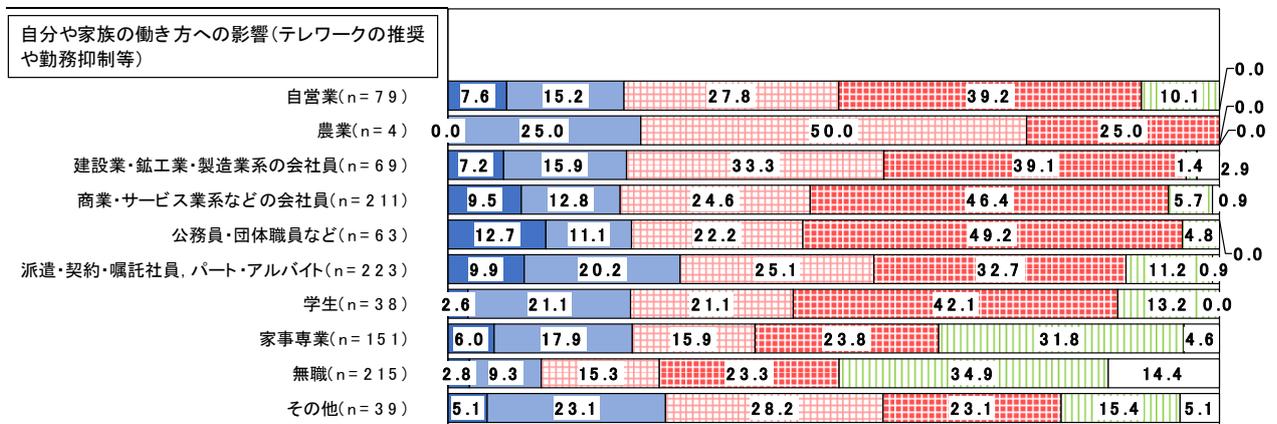
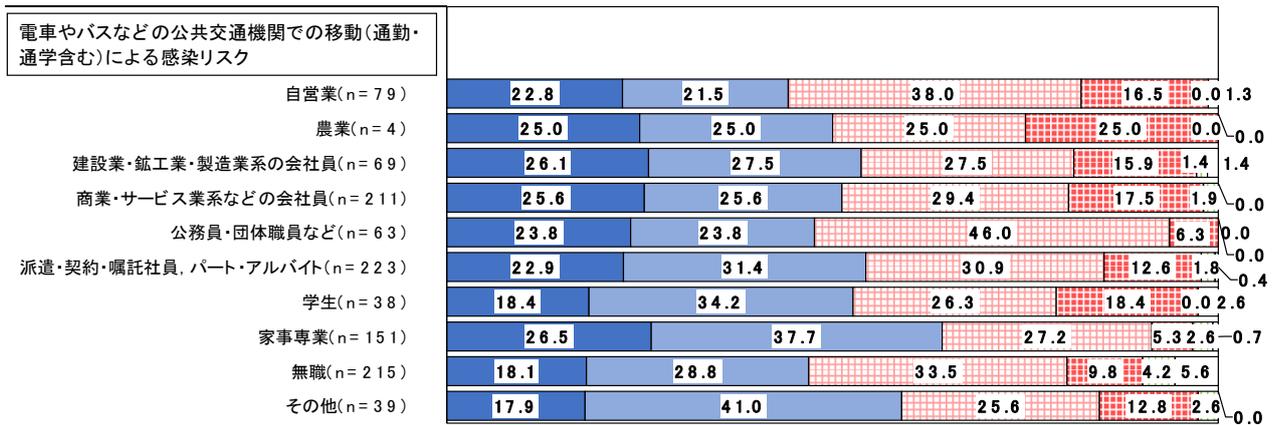
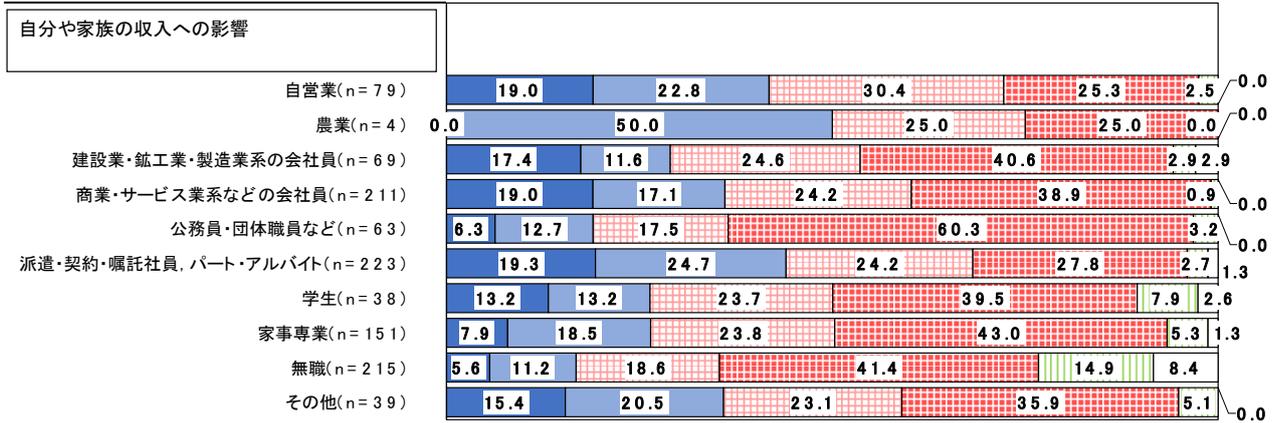


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

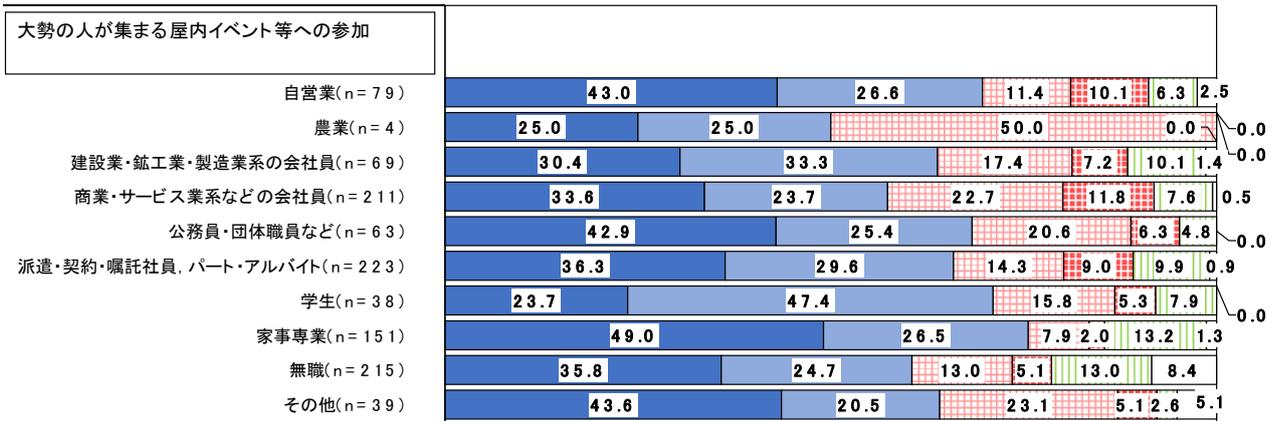
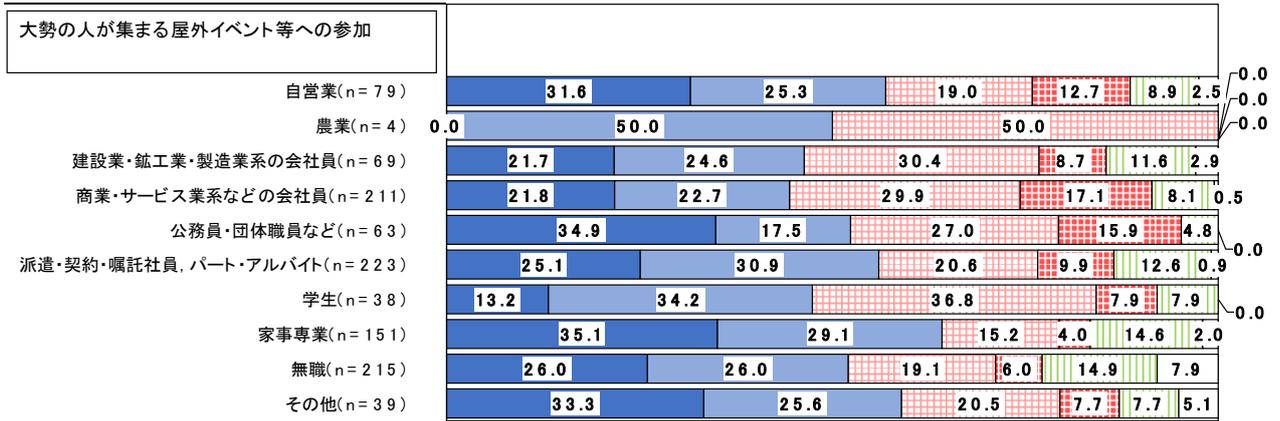
<職業別>

○「不安」を感じる（「非常に不安」「不安」「少し不安」とする比率について、「生活の変化による心身の健康への影響」では「農業」,「自分や家族の収入への影響」では「自営業」,「農業」,「派遣・契約・嘱託社員,パート・アルバイト」,「自分や家族の学習の遅れや進級・進学・就職などへの影響」では「学生」が高くなっています。



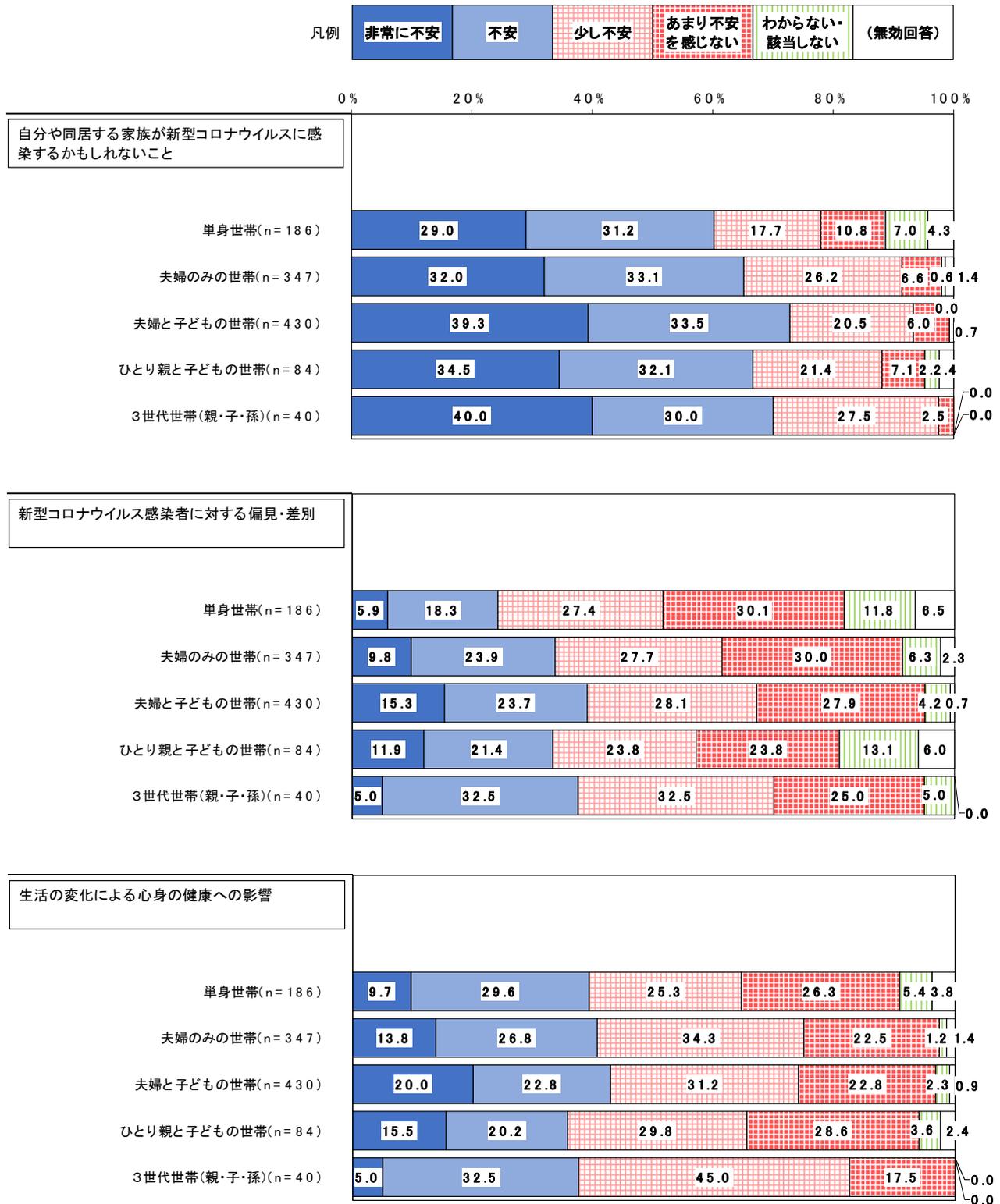


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>



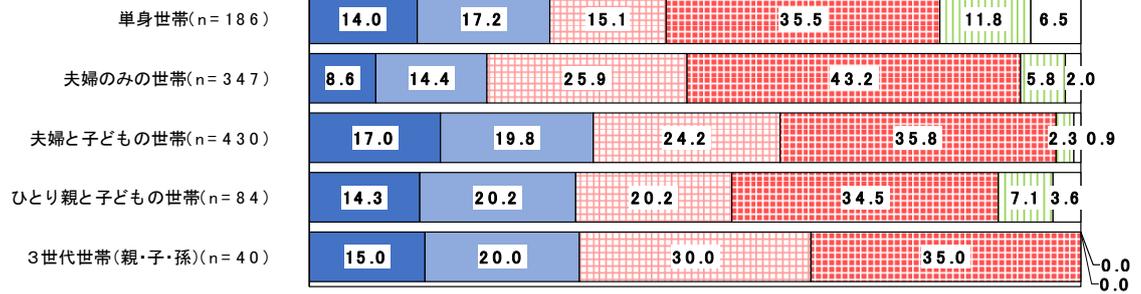
<家族構成別>

○「不安」を感じる（「非常に不安」「不安」「少し不安」とする比率について、「自分や同居する家族が新型コロナウイルスに感染するかもしれないこと」「生活の変化による心身の健康への影響」では「3世代世帯（親・子・孫）」、「自分や家族の収入への影響」や「自分や家族の学習の遅れや進級・進学・就職などへの影響」では「夫婦と子どもの世帯」、「3世代世帯（親・子・孫）」が高くなっています。

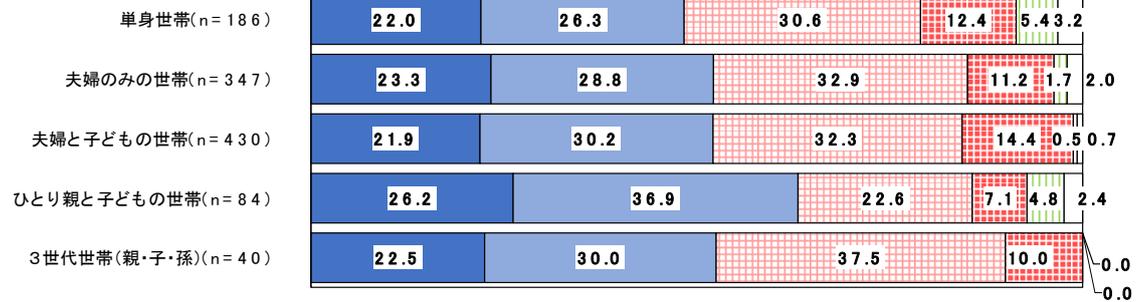


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

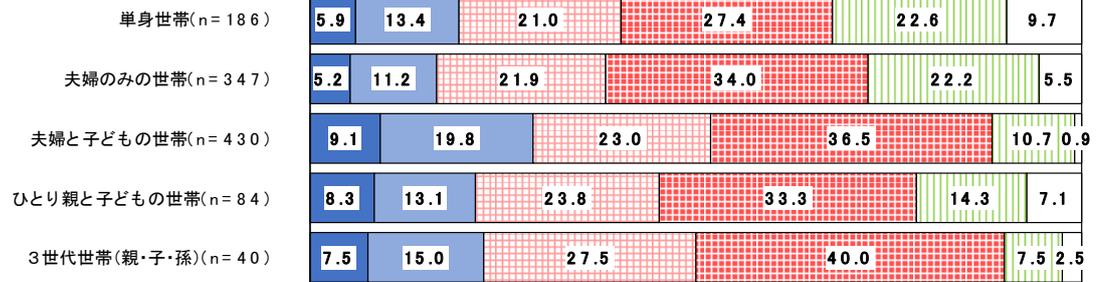
自分や家族の収入への影響



電車やバスなどの公共交通機関での移動(通勤・通学含む)による感染リスク

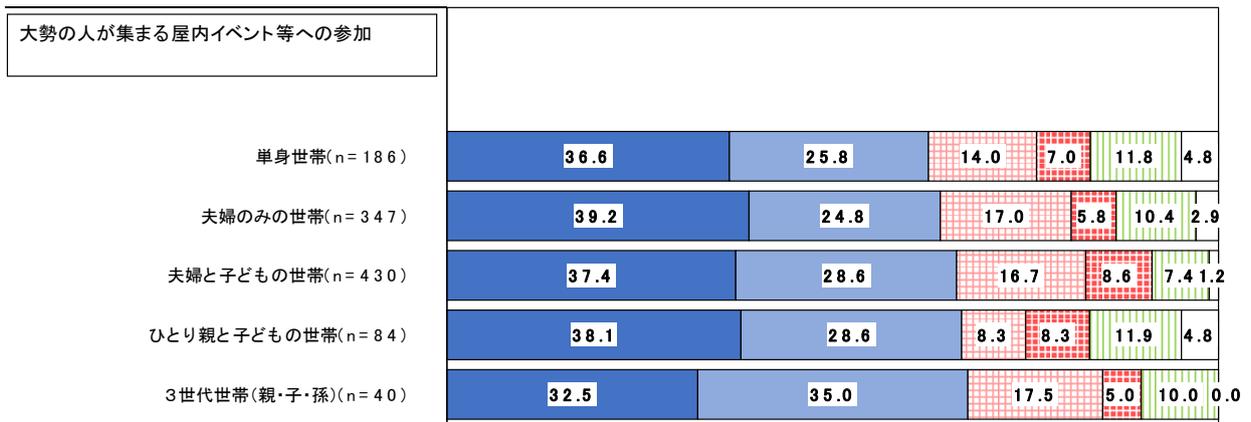
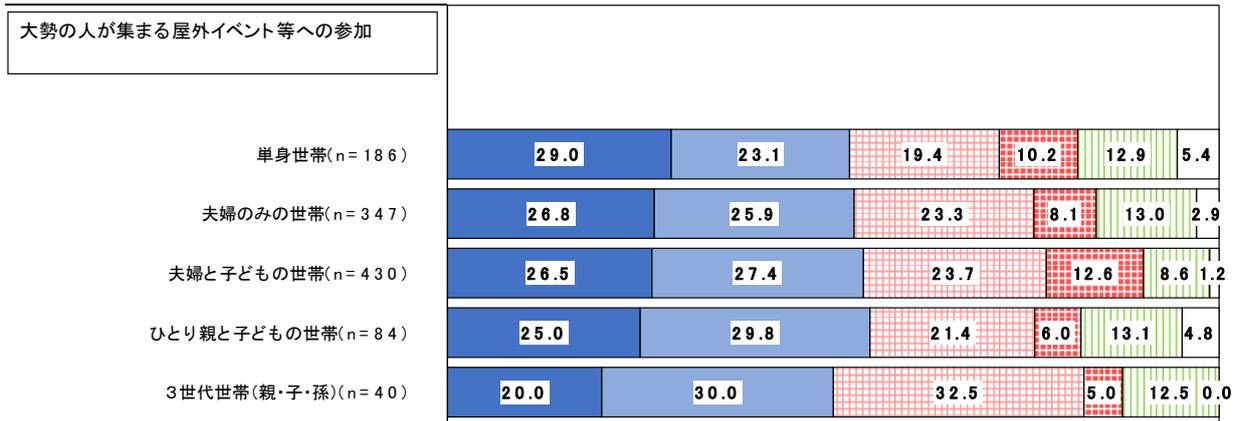


自分や家族の働き方への影響(テレワークの推奨や勤務抑制等)



自分や家族の学習の遅れや進級・進学・就職などへの影響



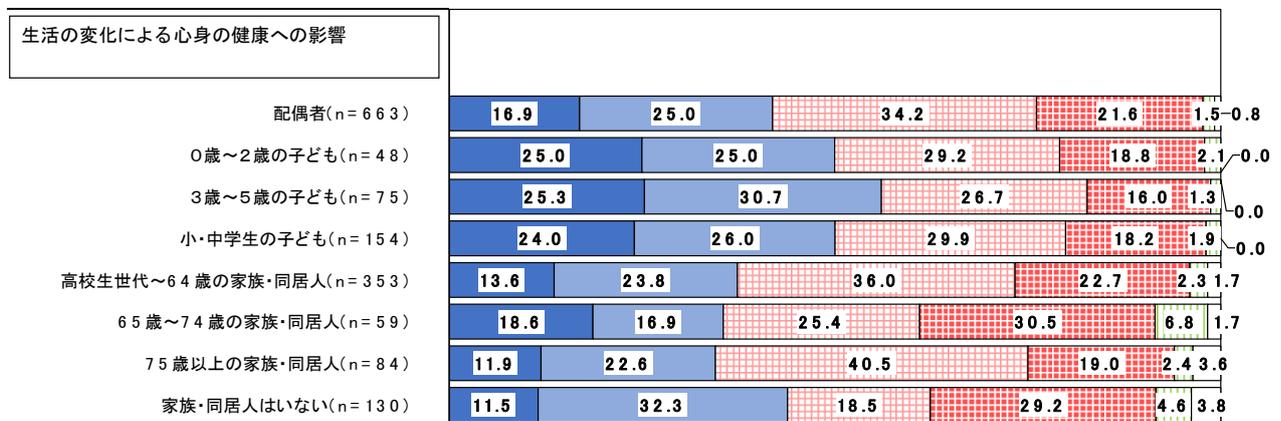
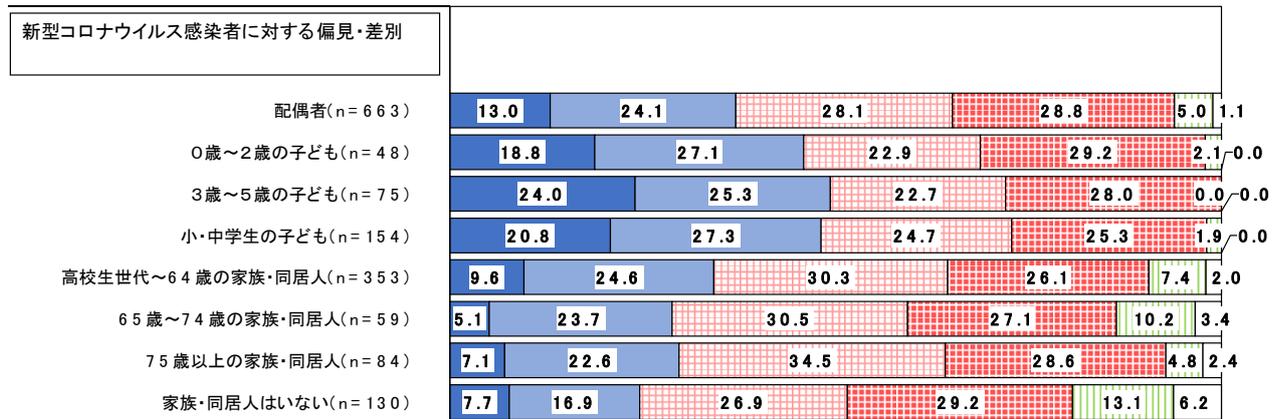
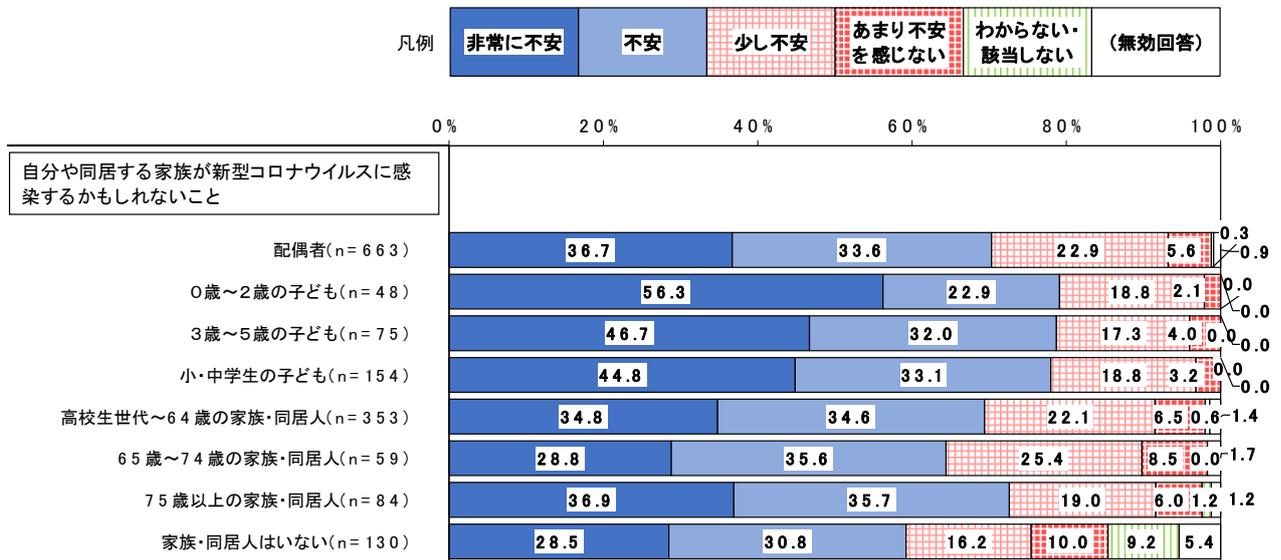


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

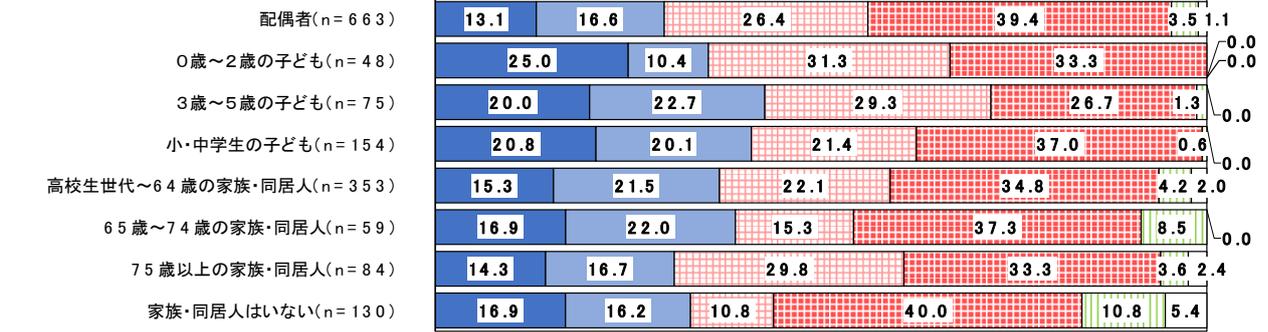
<同居人別>

○「自分や同居する家族が新型コロナウイルスに感染するかもしれないこと」では、「0歳～小・中学生の子ども」と「75歳以上の家族・同居人」で「不安」を感じる（「非常に不安」「不安」「少し不安」とする比率が、95%を超えて高くなっています。

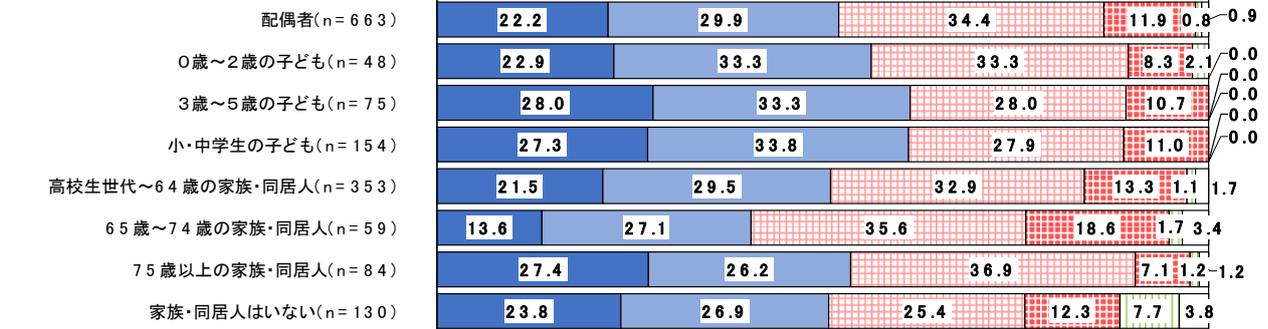
また、「3歳～5歳の子ども」、「小・中学生の子ども」では、「自分や家族の学習の遅れや進級・進学・就職などへの影響」に対して「不安」を感じるとする比率が高くなっています。



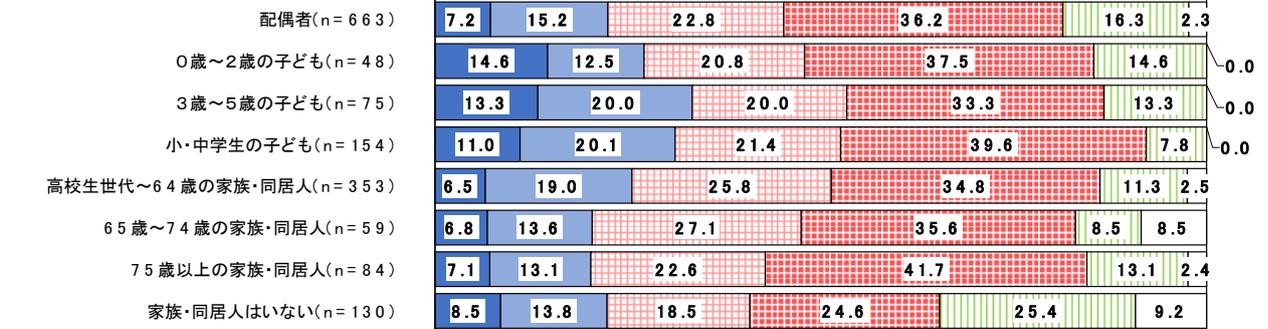
自分や家族の収入への影響



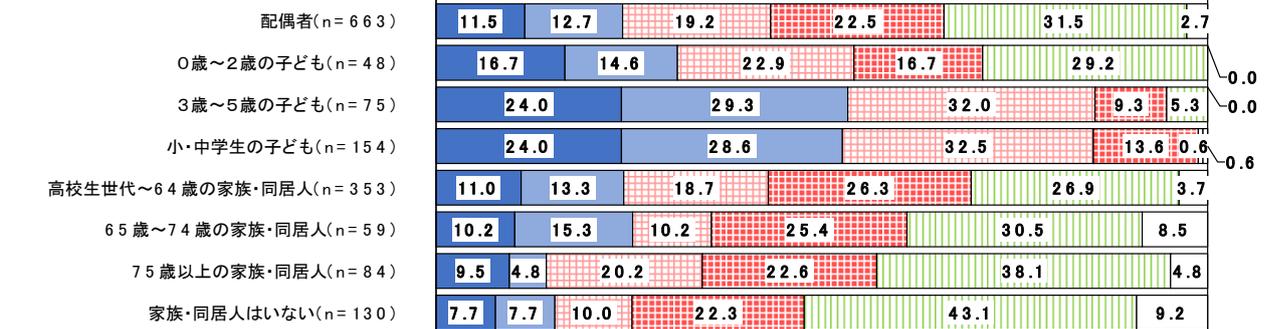
電車やバスなどの公共交通機関での移動(通勤・通学含む)による感染リスク



自分や家族の働き方への影響(テレワークの推奨や勤務抑制等)

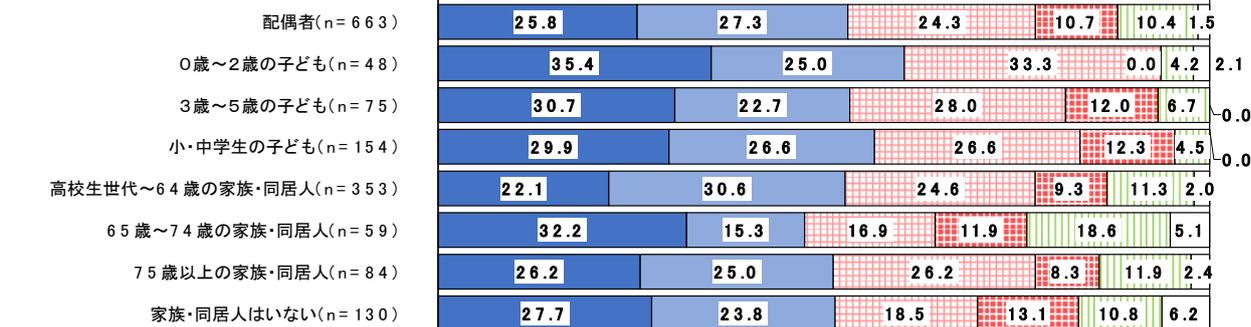


自分や家族の学習の遅れや進級・進学・就職などへの影響

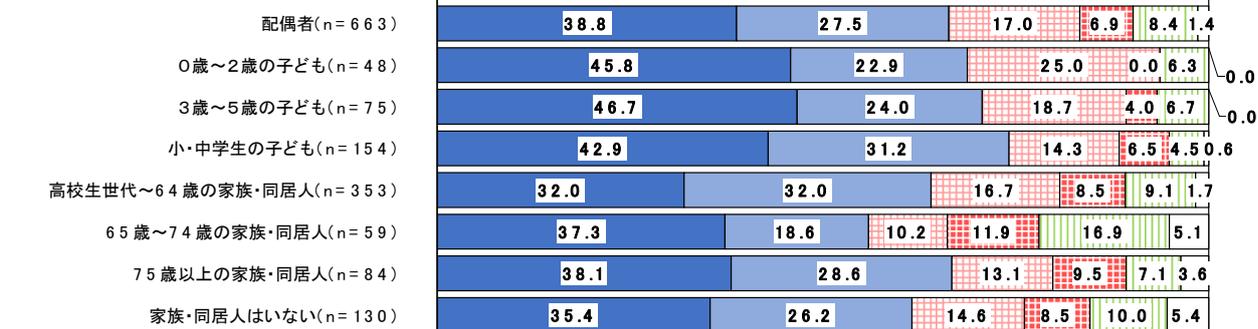


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

大勢の人が集まる屋外イベント等への参加



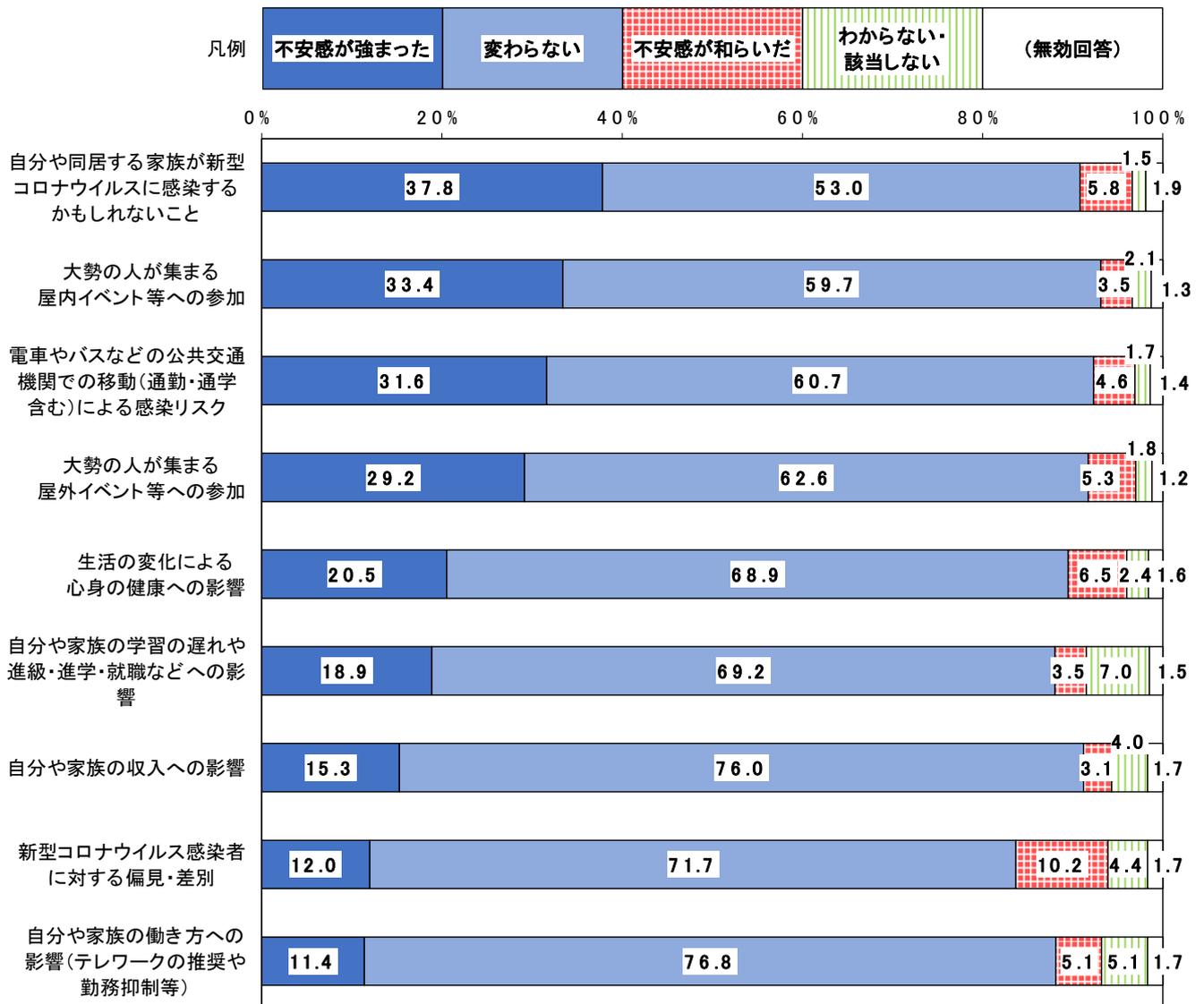
大勢の人が集まる屋内イベント等への参加



問 15-1) 緊急事態宣言期間中（令和3年7月12日～9月30日）と現在を比べて、不安の感じ方に変化はありましたか。

<全体（n=1105）>

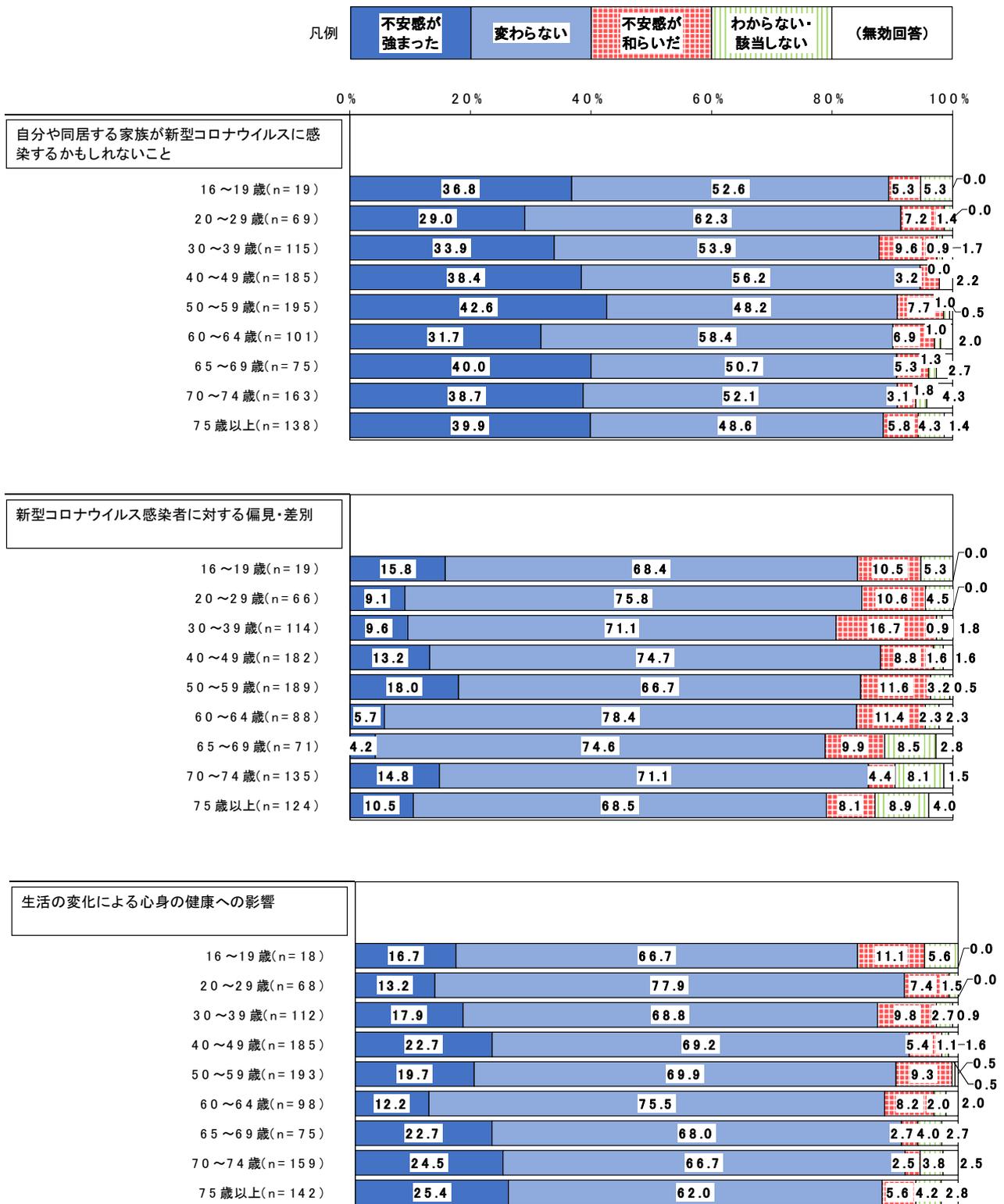
- 「不安感が強まった」は、「自分や同居する家族が新型コロナウイルスに感染するかもしれないこと」が最も高く 37.8%，次いで「大勢の人が集まる屋内イベント等への参加」の 33.4%，「電車やバスなどの公共交通機関での移動（通勤・通学含む）による感染リスク」の 31.6%の順となっています。
- 「不安感が和らいだ」は、「新型コロナウイルス感染者に対する偏見・差別」が最も高く 10.2%，次いで「生活の変化による心身の健康への影響」の 6.5%，「自分や同居する家族が新型コロナウイルスに感染するかもしれないこと」の 5.8%の順となっています。

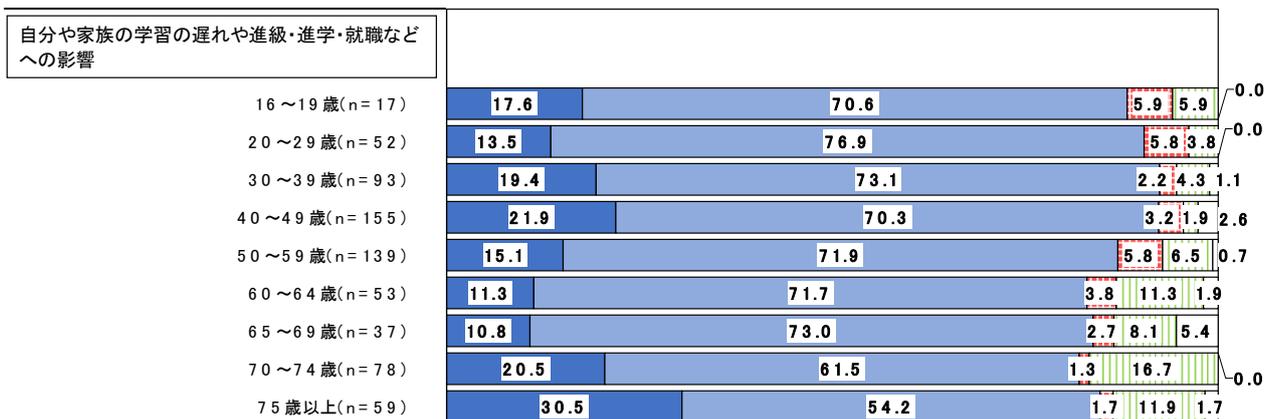
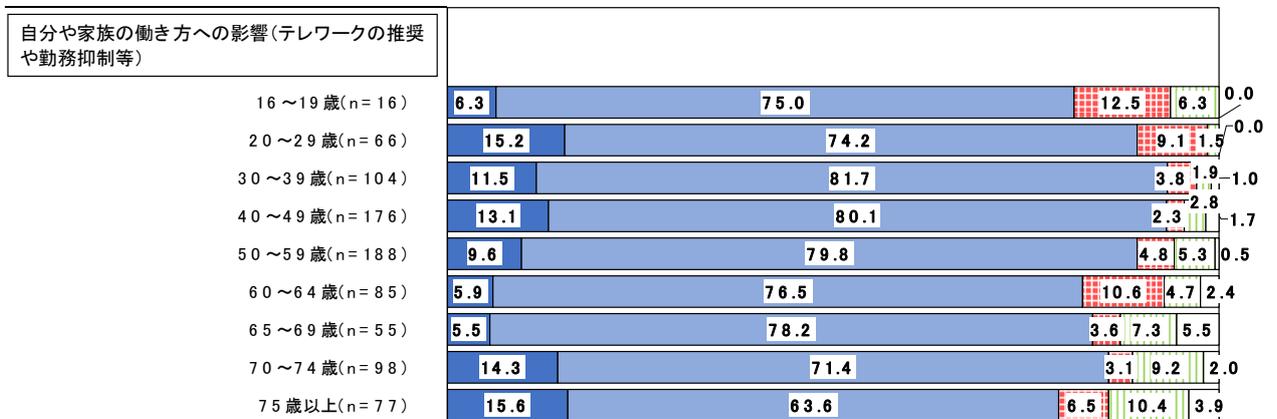
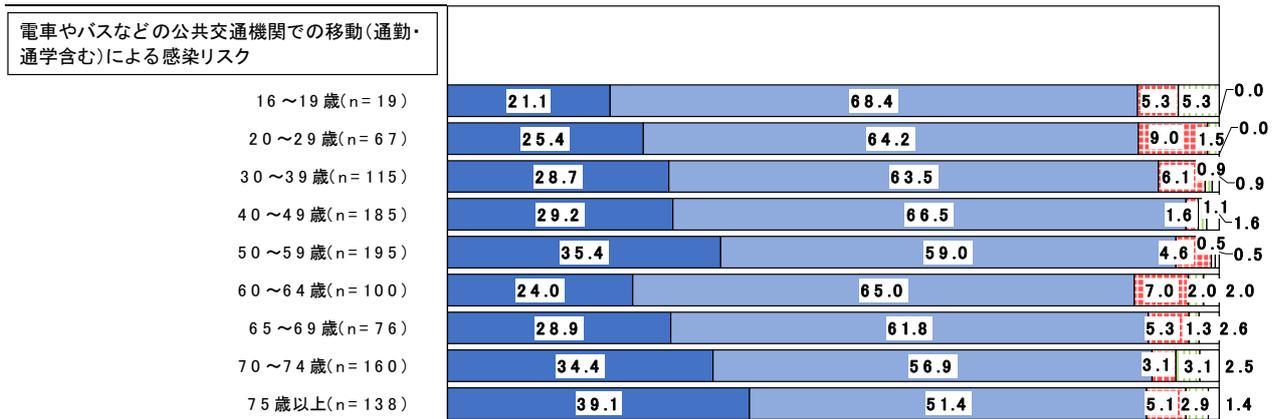
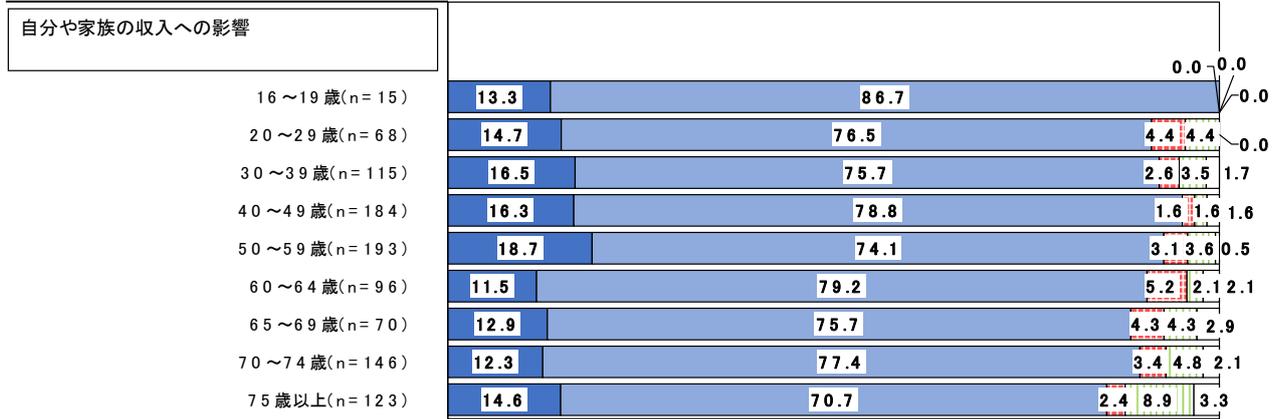


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

<年齢層別>

○「不安感が強まった」の割合は、一部の項目を除き、おおむね年齢層が上がるにつれ、高くなる傾向がみられます。

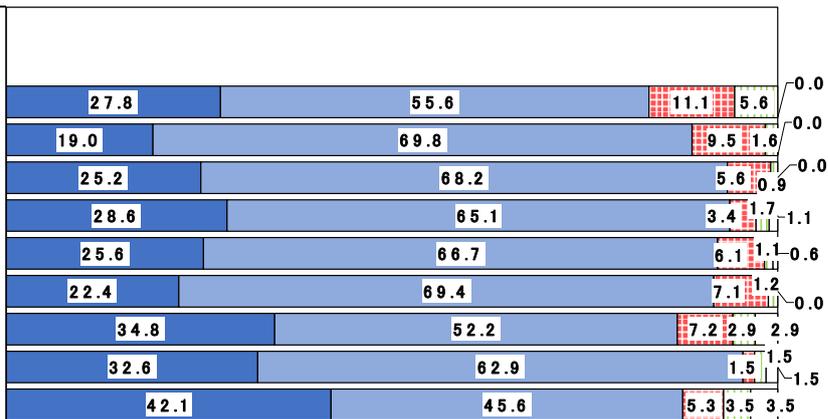




第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

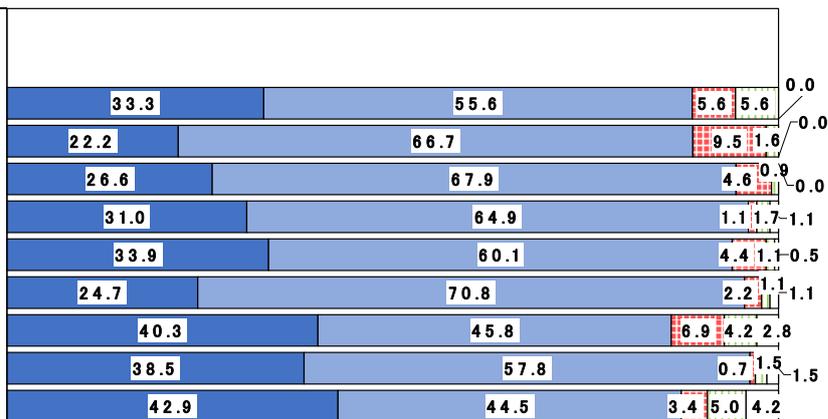
大勢の人が集まる屋外イベント等への参加

16～19歳(n=18)
 20～29歳(n=63)
 30～39歳(n=107)
 40～49歳(n=175)
 50～59歳(n=180)
 60～64歳(n=85)
 65～69歳(n=69)
 70～74歳(n=132)
 75歳以上(n=114)



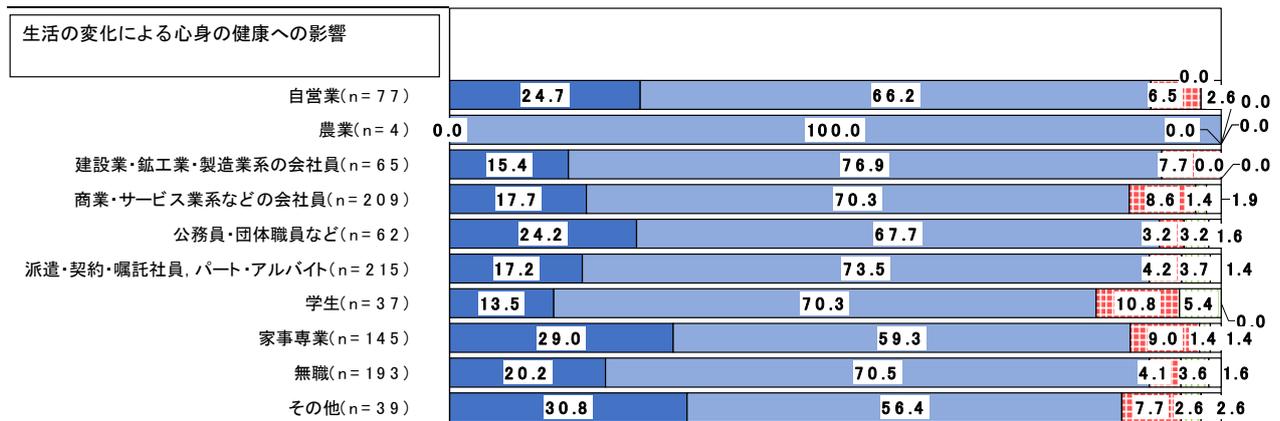
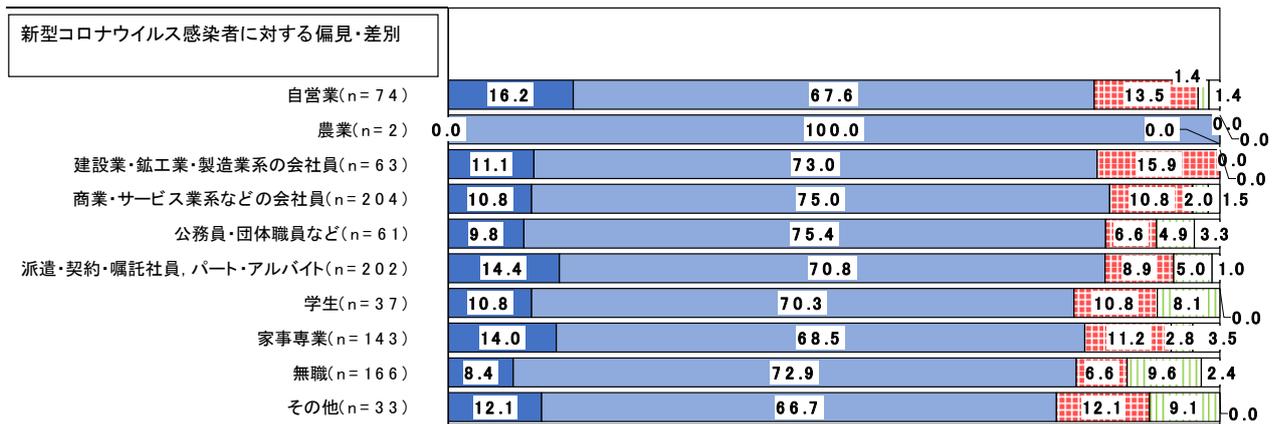
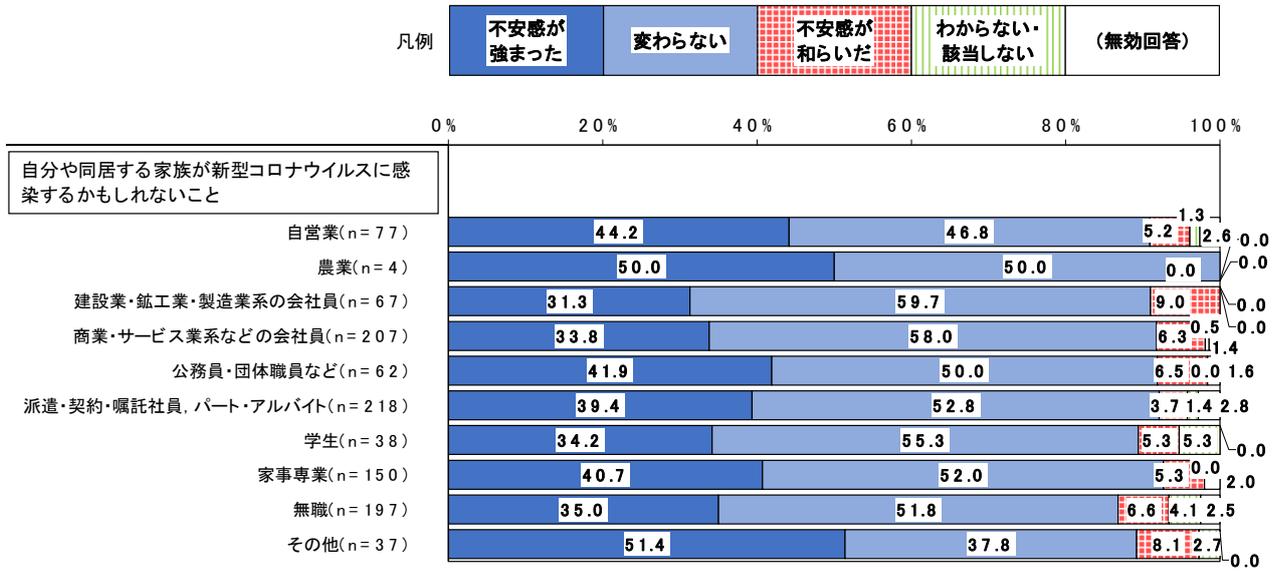
大勢の人が集まる屋内イベント等への参加

16～19歳(n=18)
 20～29歳(n=63)
 30～39歳(n=109)
 40～49歳(n=174)
 50～59歳(n=183)
 60～64歳(n=89)
 65～69歳(n=72)
 70～74歳(n=135)
 75歳以上(n=119)

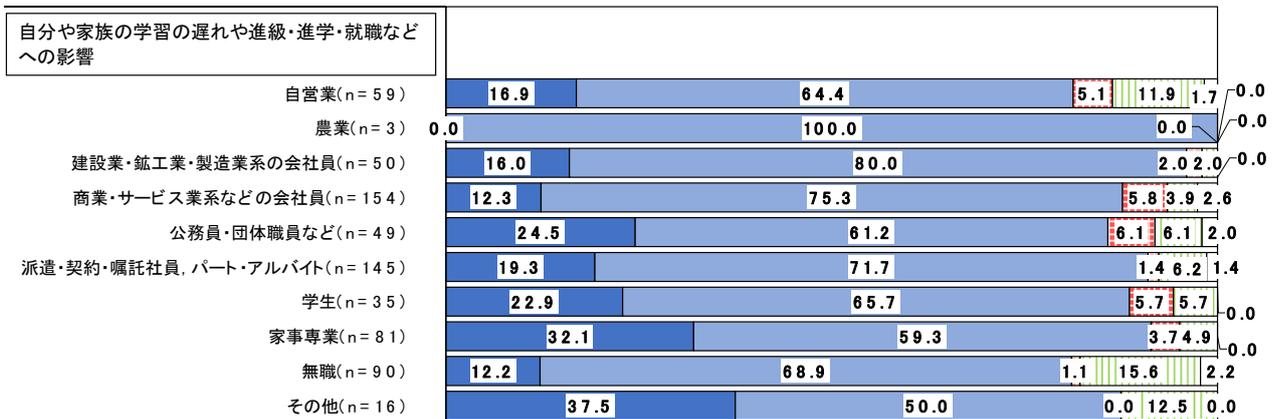
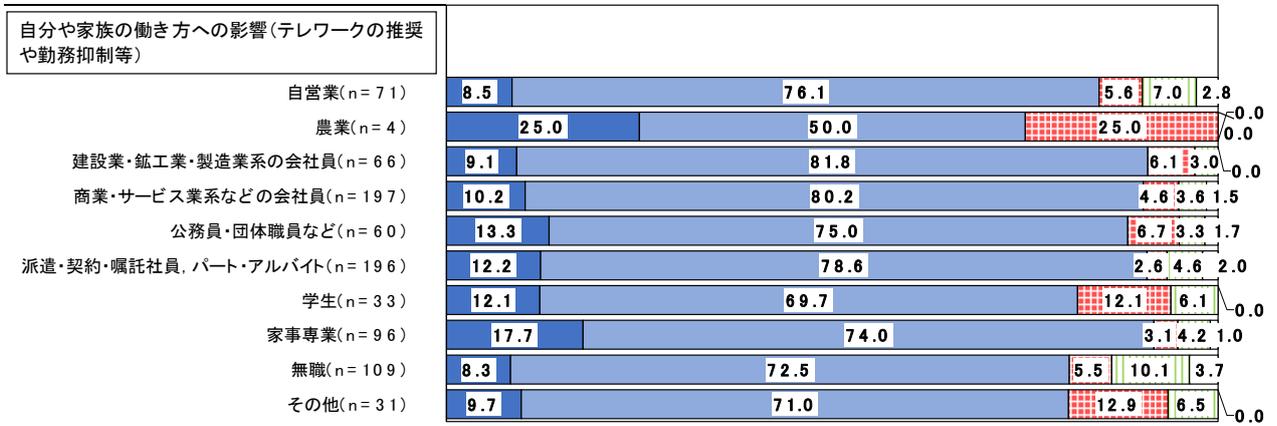
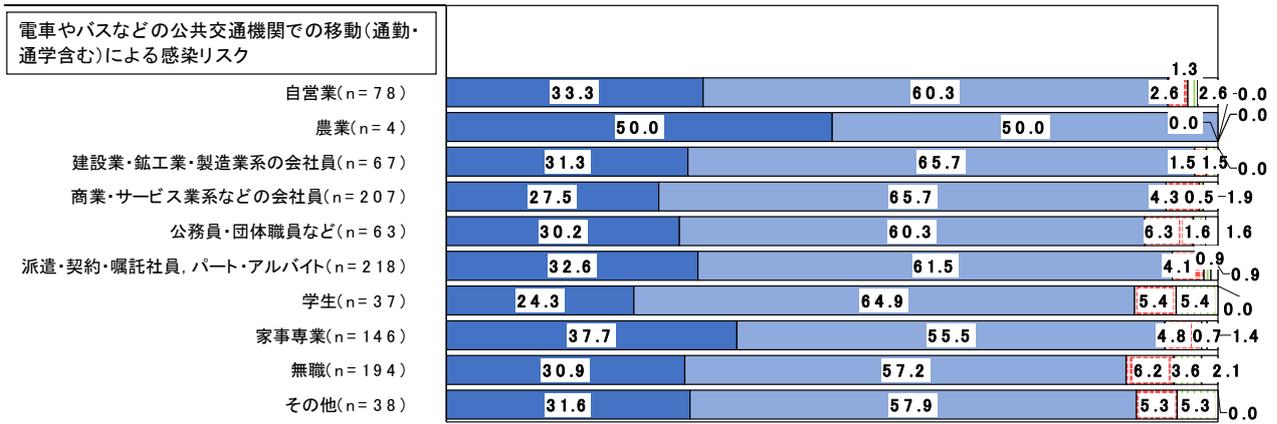
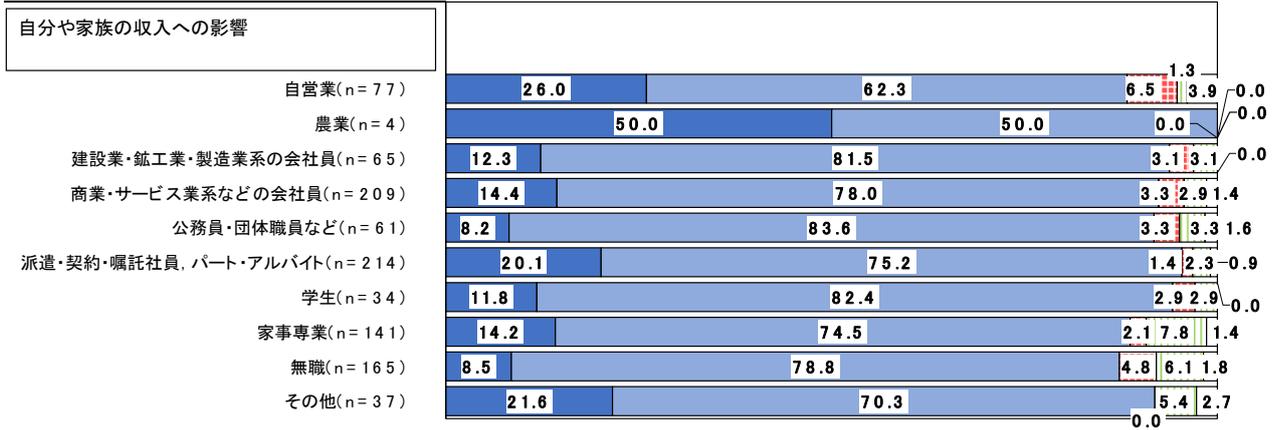


<職業別>

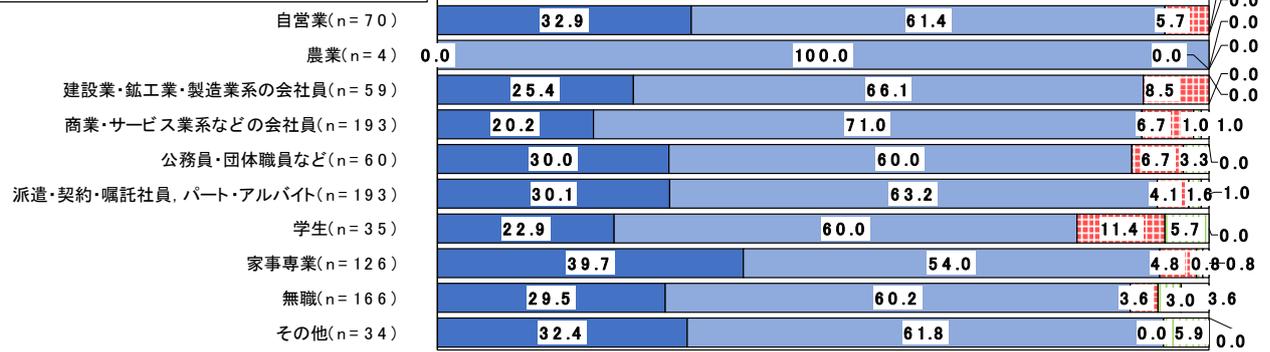
○「自分や家族の収入への影響」について、「農業」「派遣・契約・嘱託職員、パート・アルバイト」で、「不安感が強まった」と「変わらない」が95%を超えるなど、収入に関する不安が高くなっています。



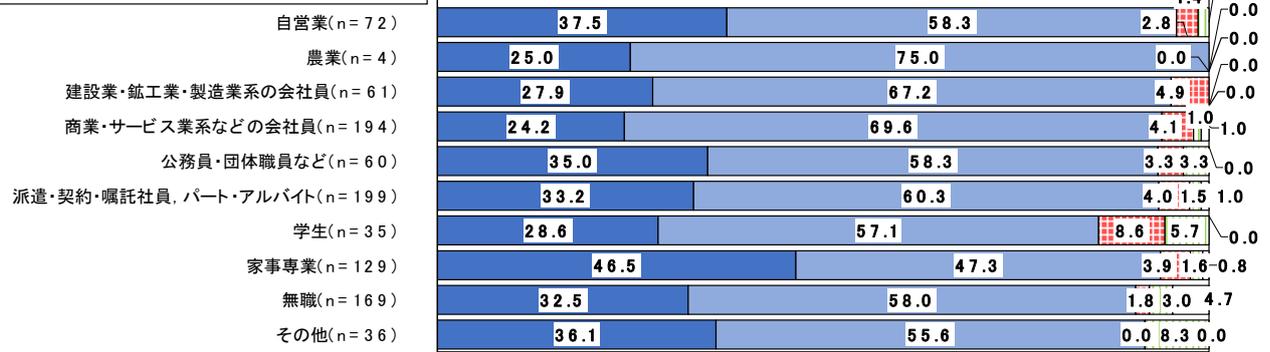
第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>



大勢の人が集まる屋外イベント等への参加



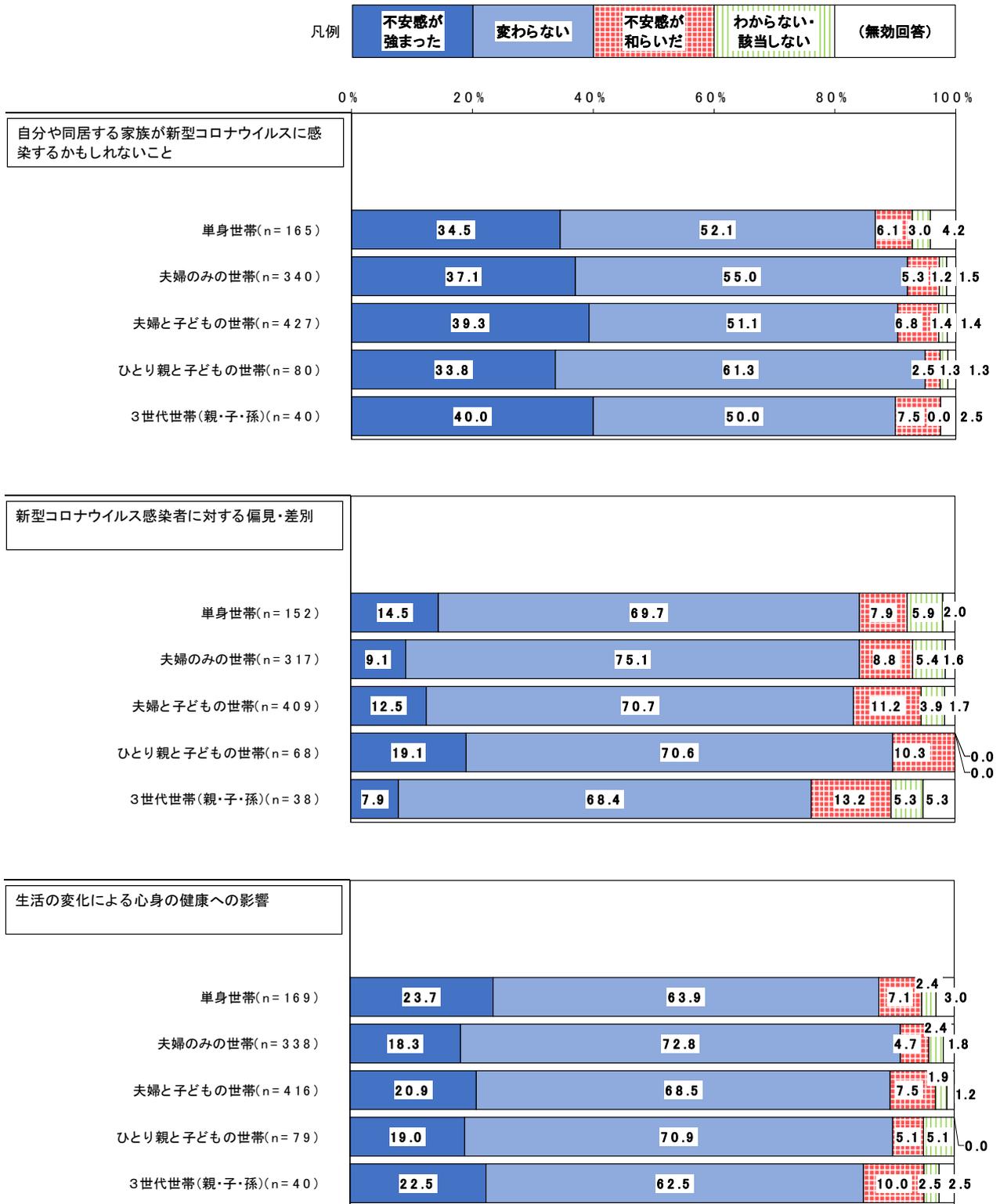
大勢の人が集まる屋内イベント等への参加

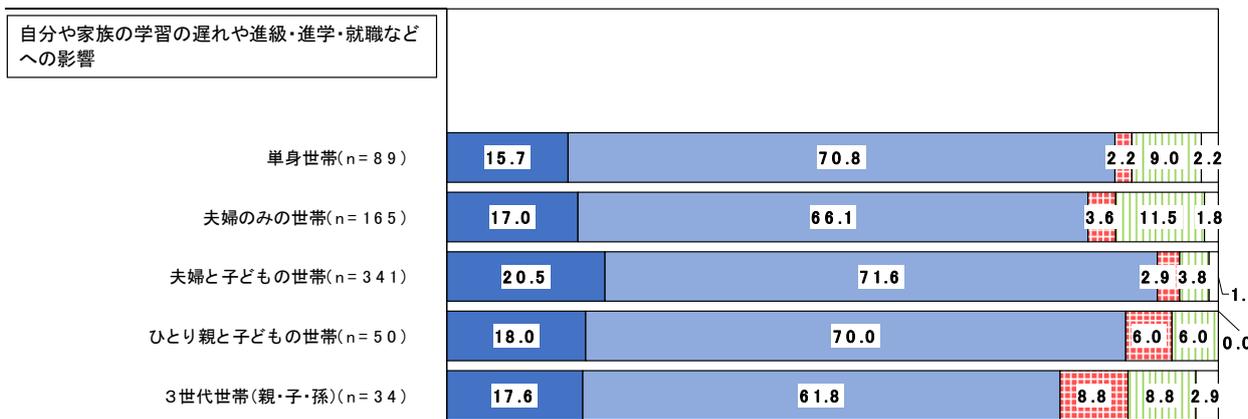
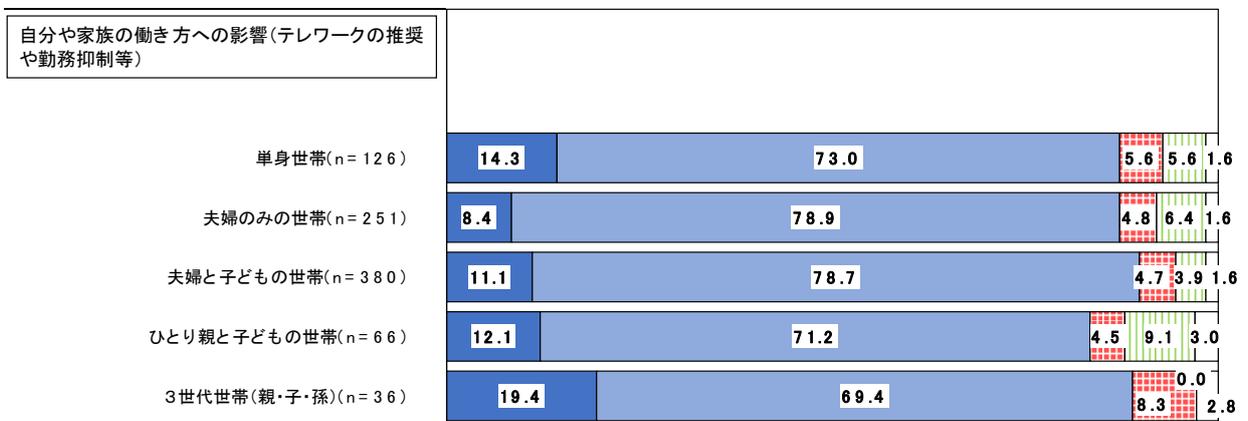
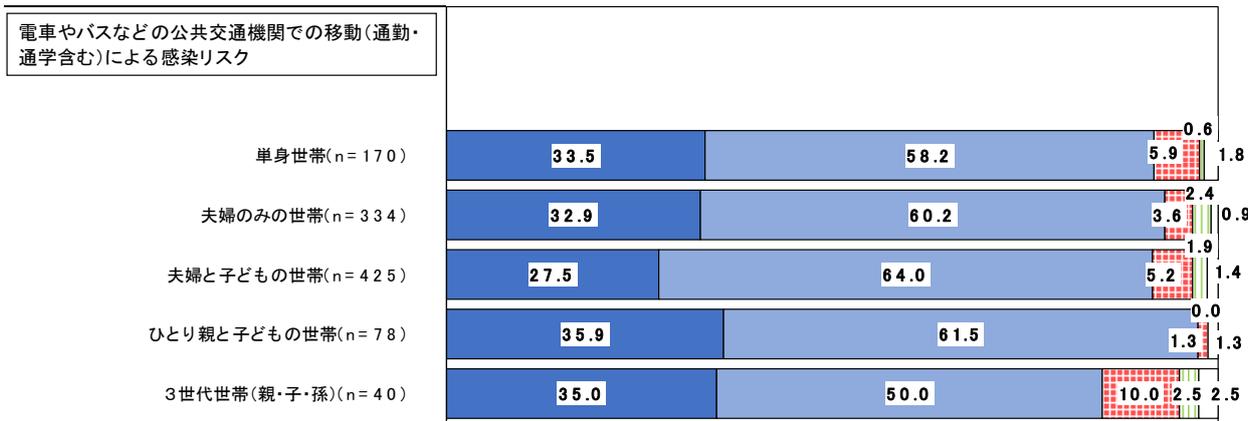
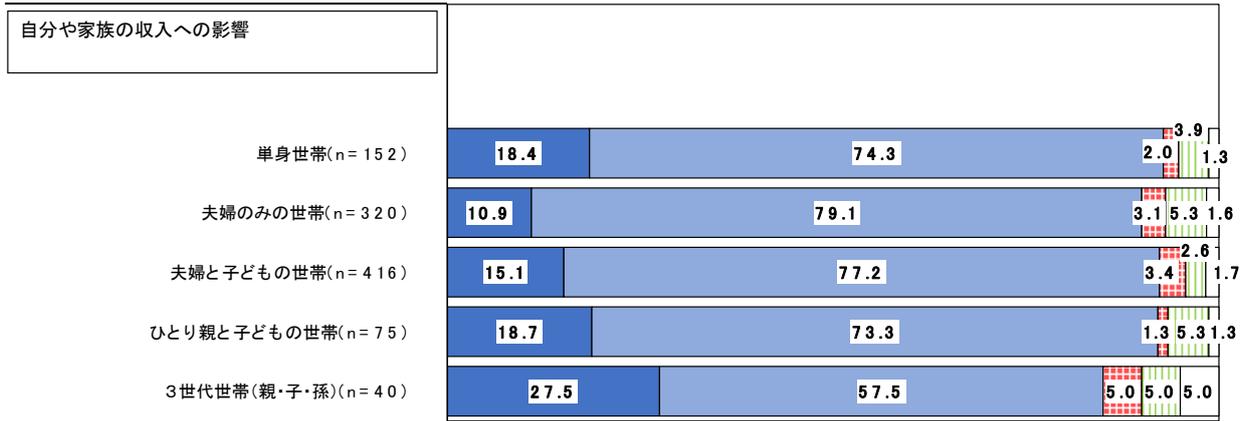


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

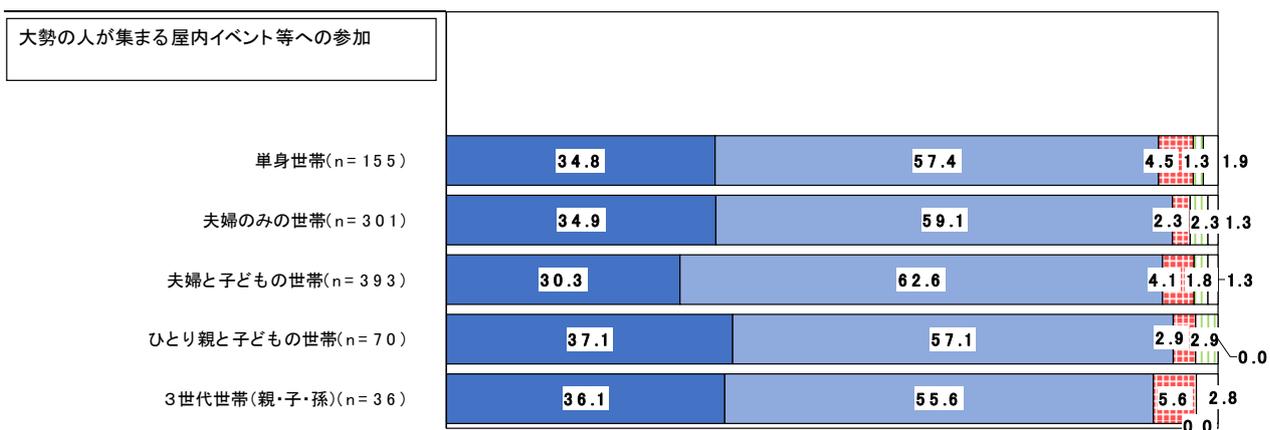
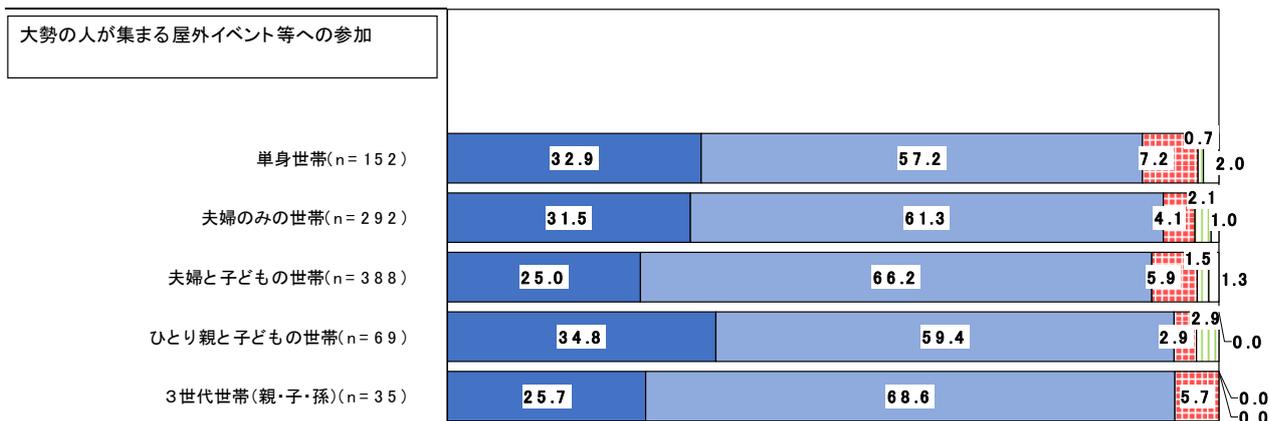
<家族構成別>

○「新型コロナウイルス感染者に対する偏見・差別」では「ひとり親と子どもの世帯」,「生活の変化による心身の健康への影響」では「単身世帯」,「自分や家族の収入への影響」では「3世代世帯(親・子・孫)」で「不安感が強まった」が高くなっています。



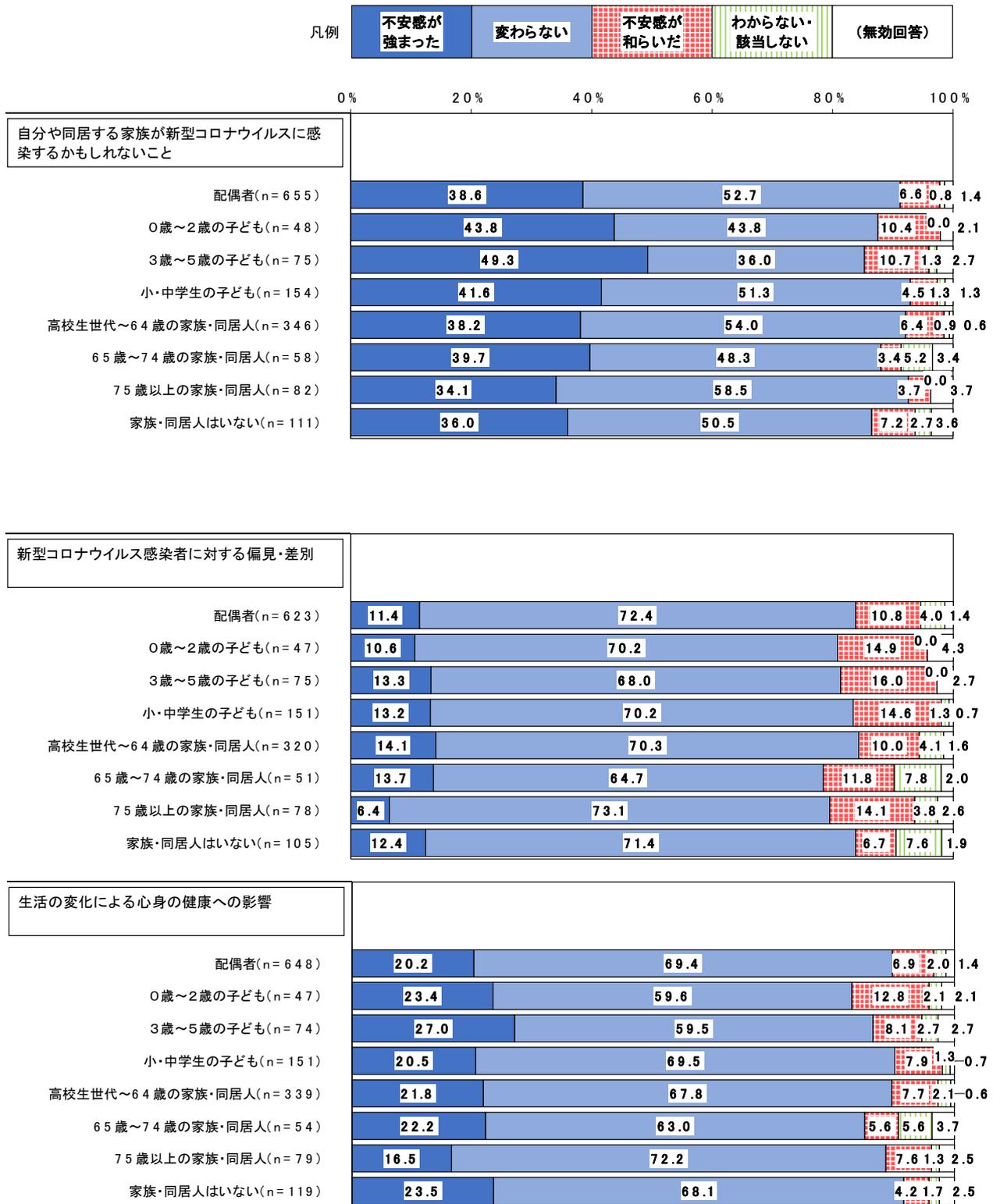


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>



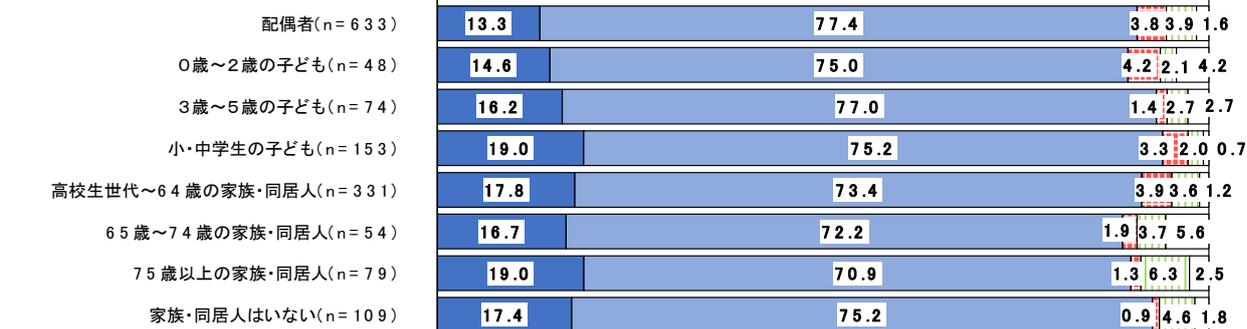
<同居人別>

○「自分や同居する家族が新型コロナウイルスに感染するかもしれないこと」や「自分や家族の学習の遅れや進級・進学・就職などへの影響」などで「0歳～小・中学生の子ども」の「不安感が強まった」が高くなっています。

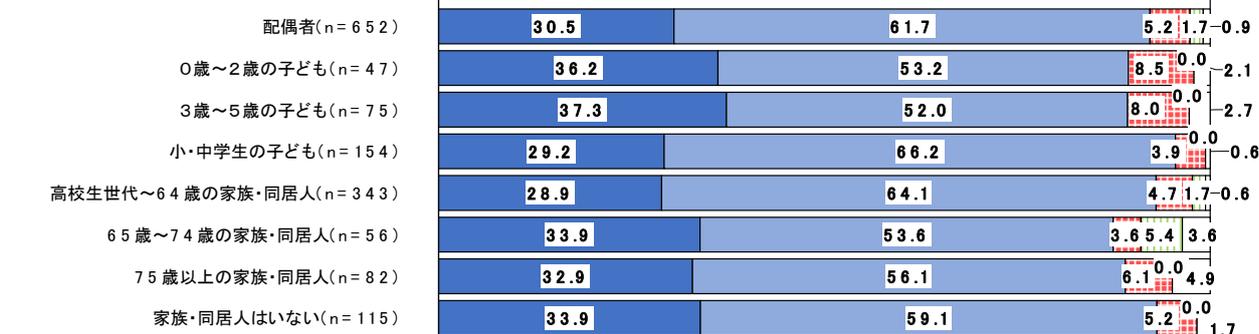


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

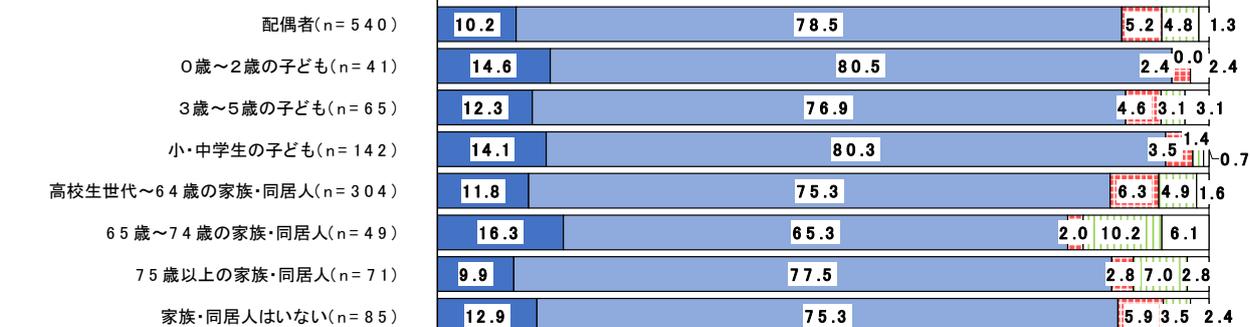
自分や家族の収入への影響



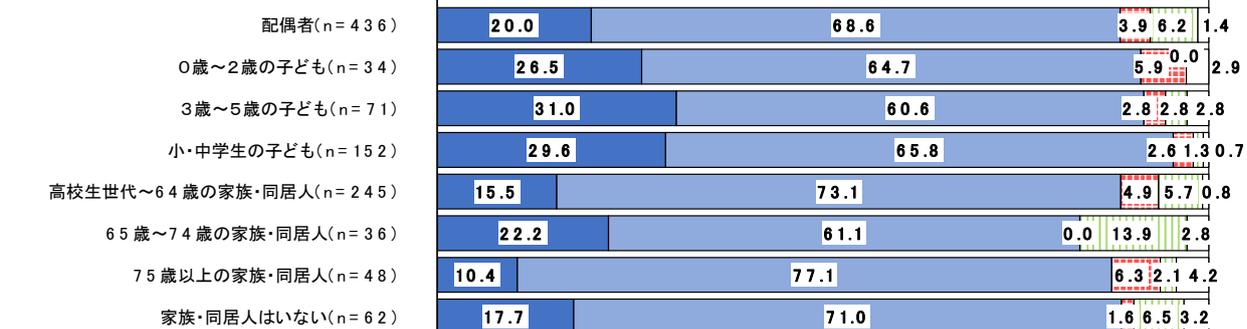
電車やバスなどの公共交通機関での移動(通勤・通学含む)による感染リスク

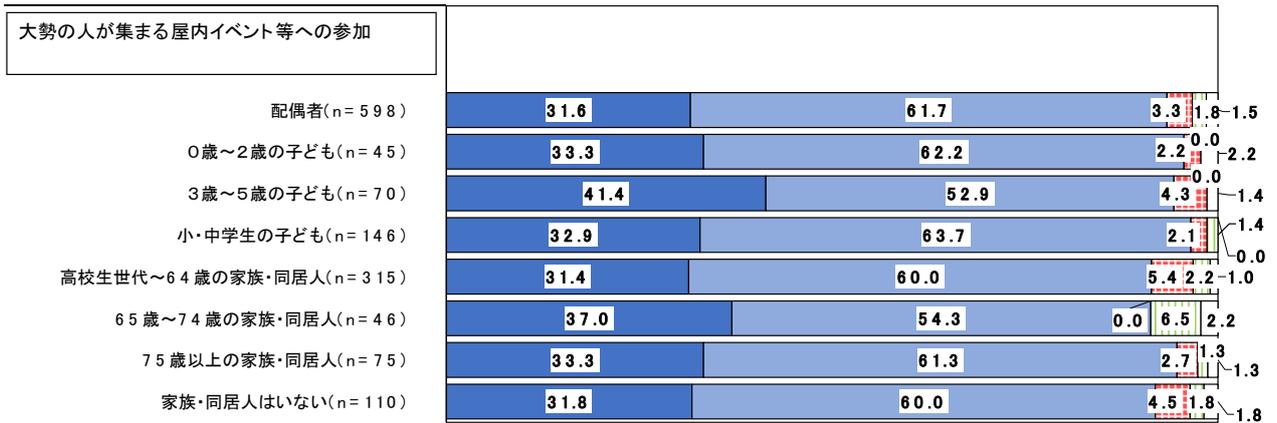
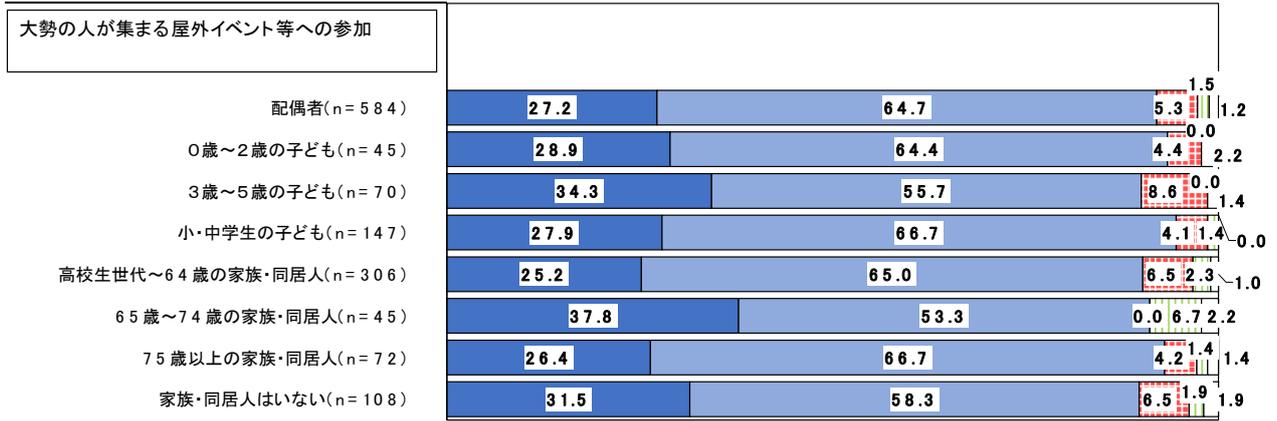


自分や家族の働き方への影響(テレワークの推奨や勤務抑制等)



自分や家族の学習の遅れや進級・進学・就職などへの影響

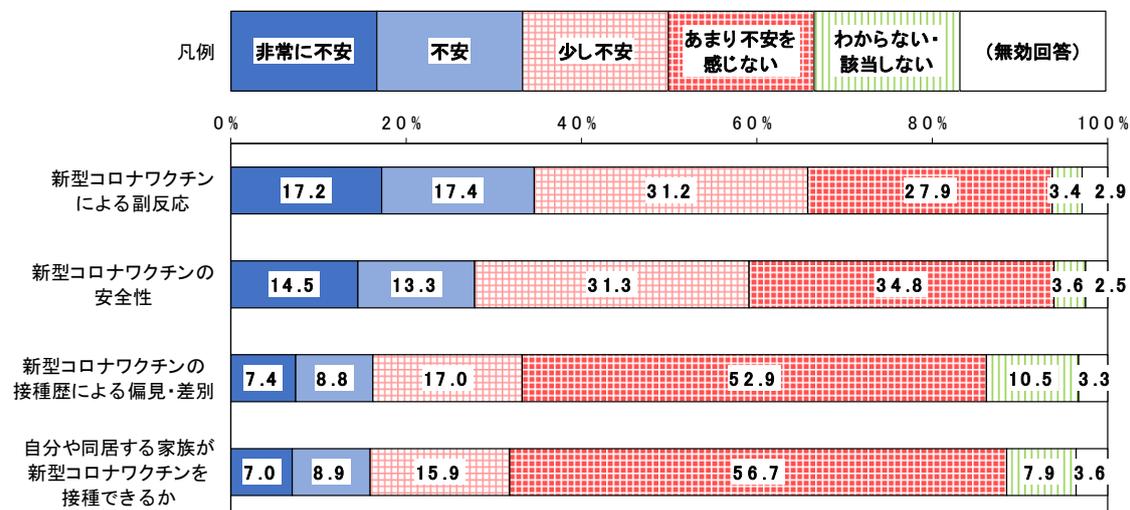




問16) あなたは、新型コロナワクチンについて、現在不安を感じていることがありますか。

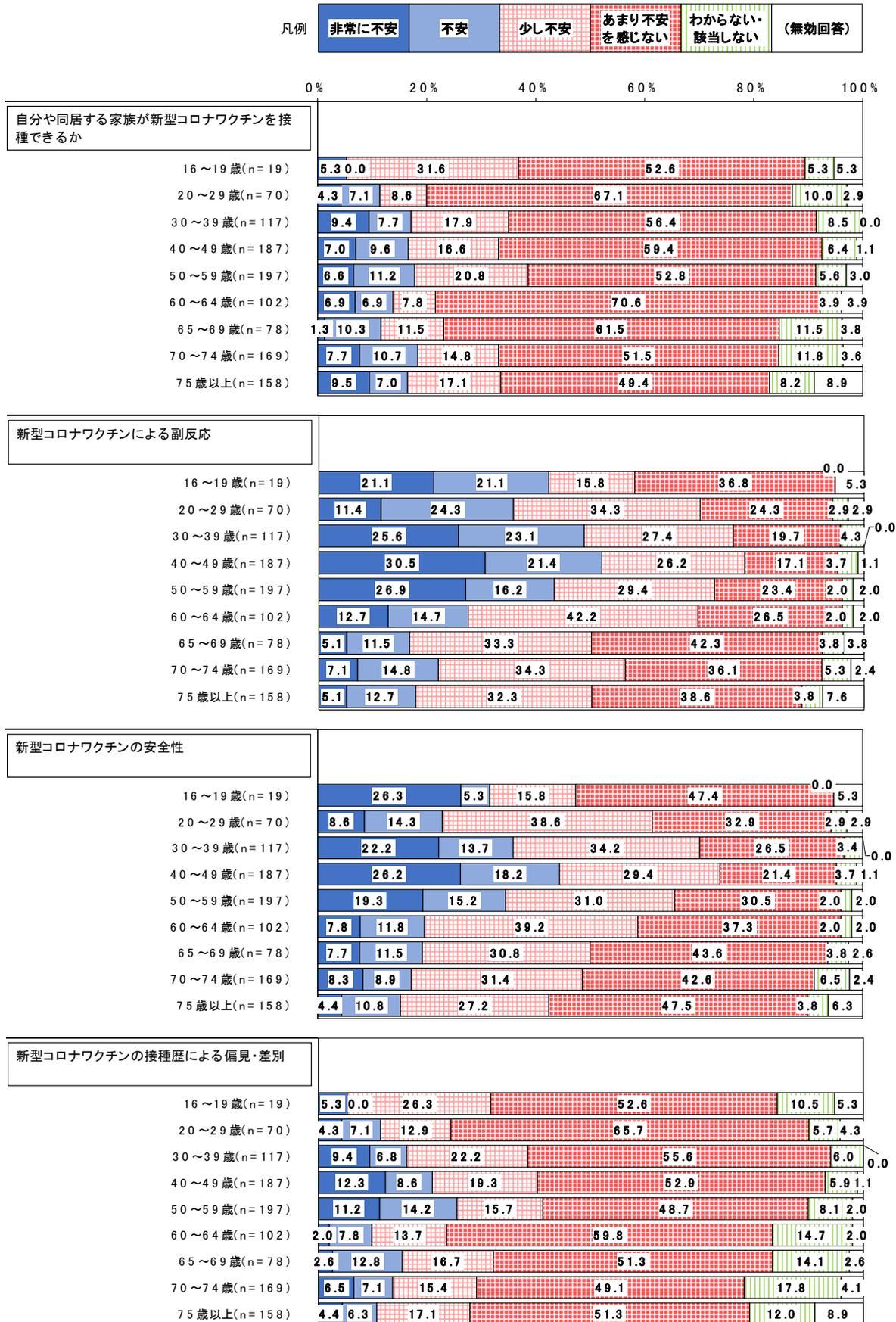
<全体 (n=1105) >

○「非常に不安」、「不安」、「少し不安」の合計は、「新型コロナワクチンによる副反応」が最も高く 65.8%、次いで「新型コロナワクチンの安全性」の 59.1%となっています。



<年齢層別>

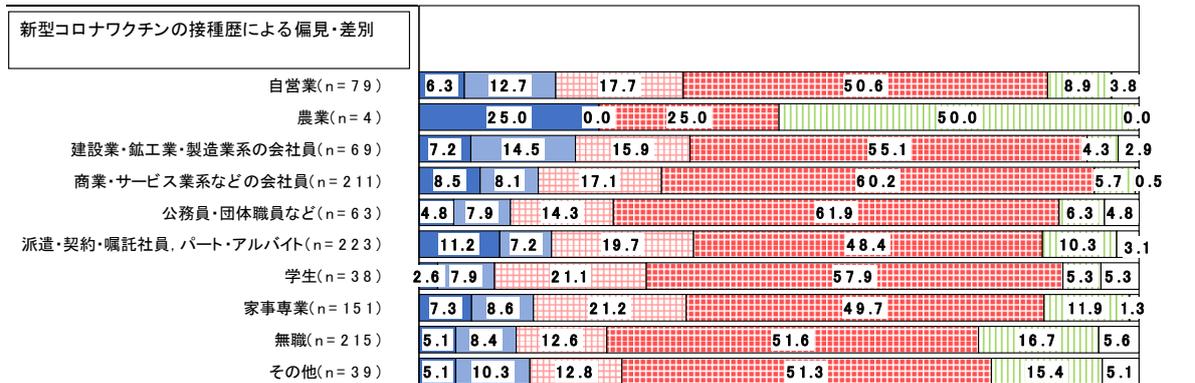
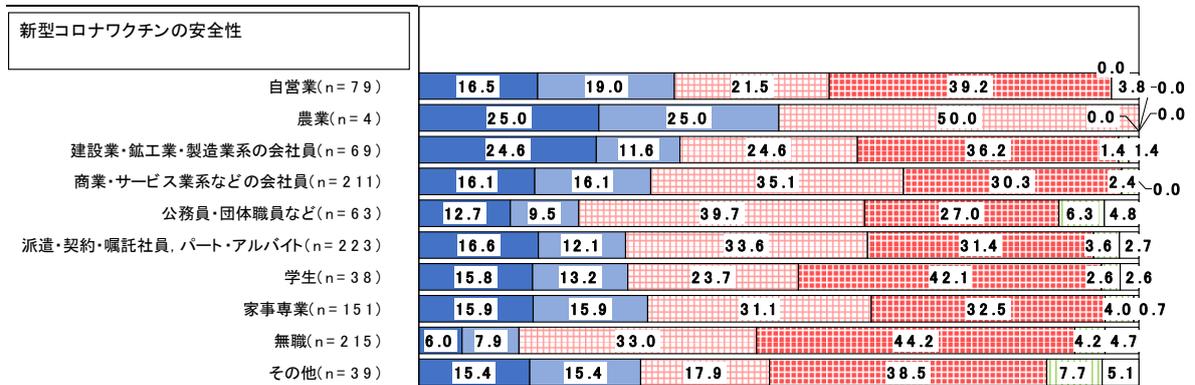
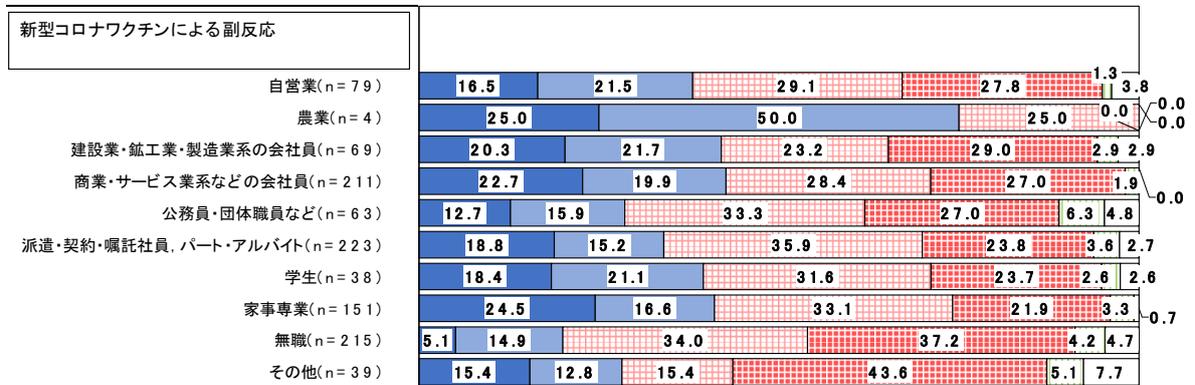
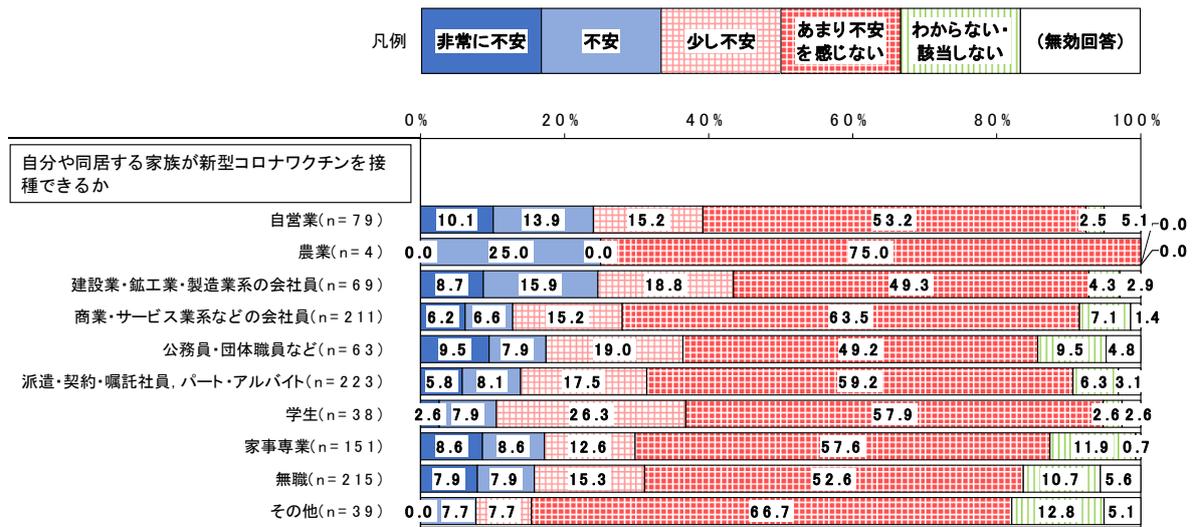
○「新型コロナワクチンによる副反応」、「新型コロナワクチンの安全性」をはじめ、「不安」を感じる（「非常に不安」「不安」「少し不安」）比率が全体的に「30～59歳」の年代で高くなっています。



第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

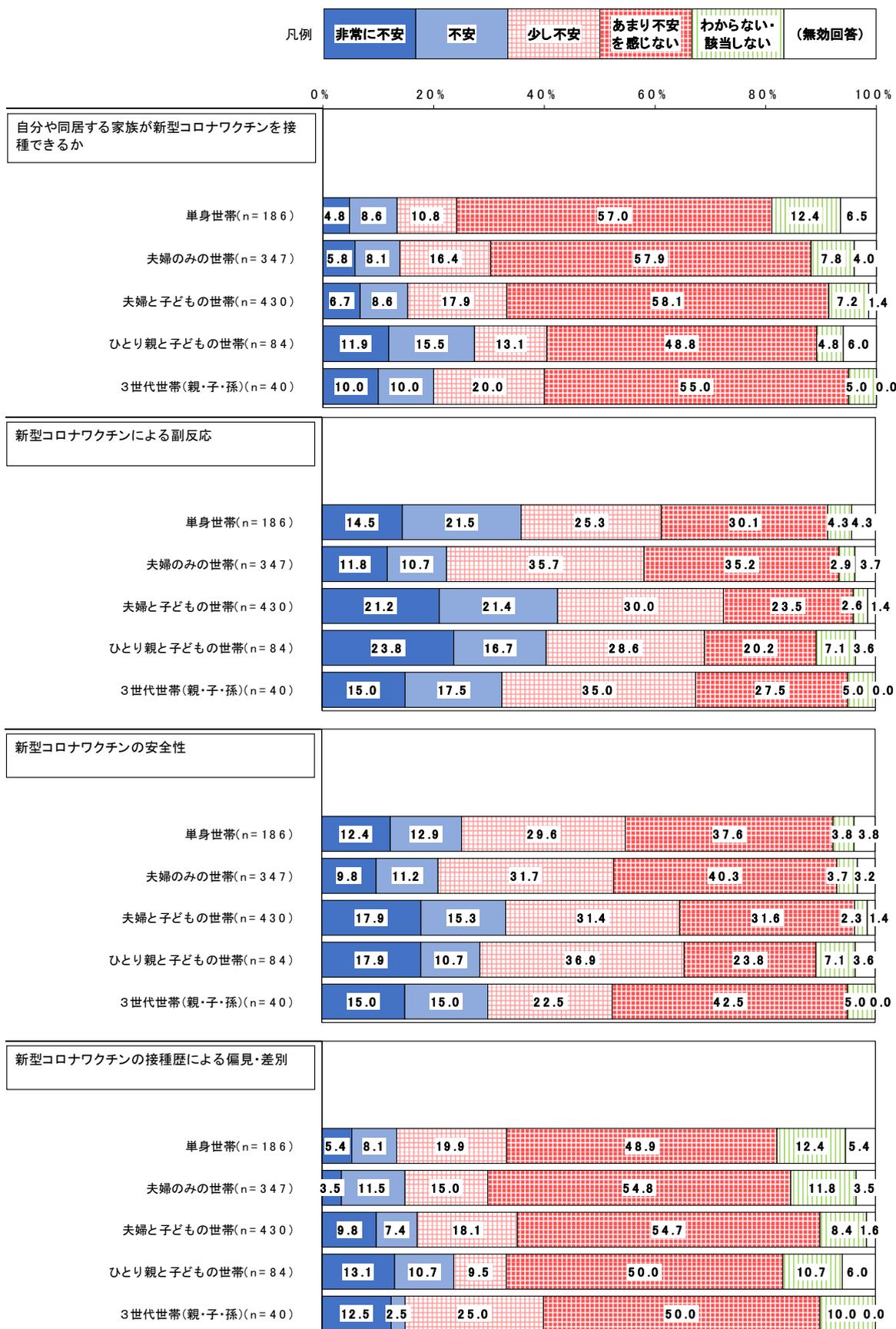
<職業別>

○「新型コロナワクチンによる副反応」をはじめ、「新型コロナワクチンの安全性」など、「不安」を感じる（「非常に不安」「不安」「少し不安」）比率が全体的に高くなっています。



<家族構成別>

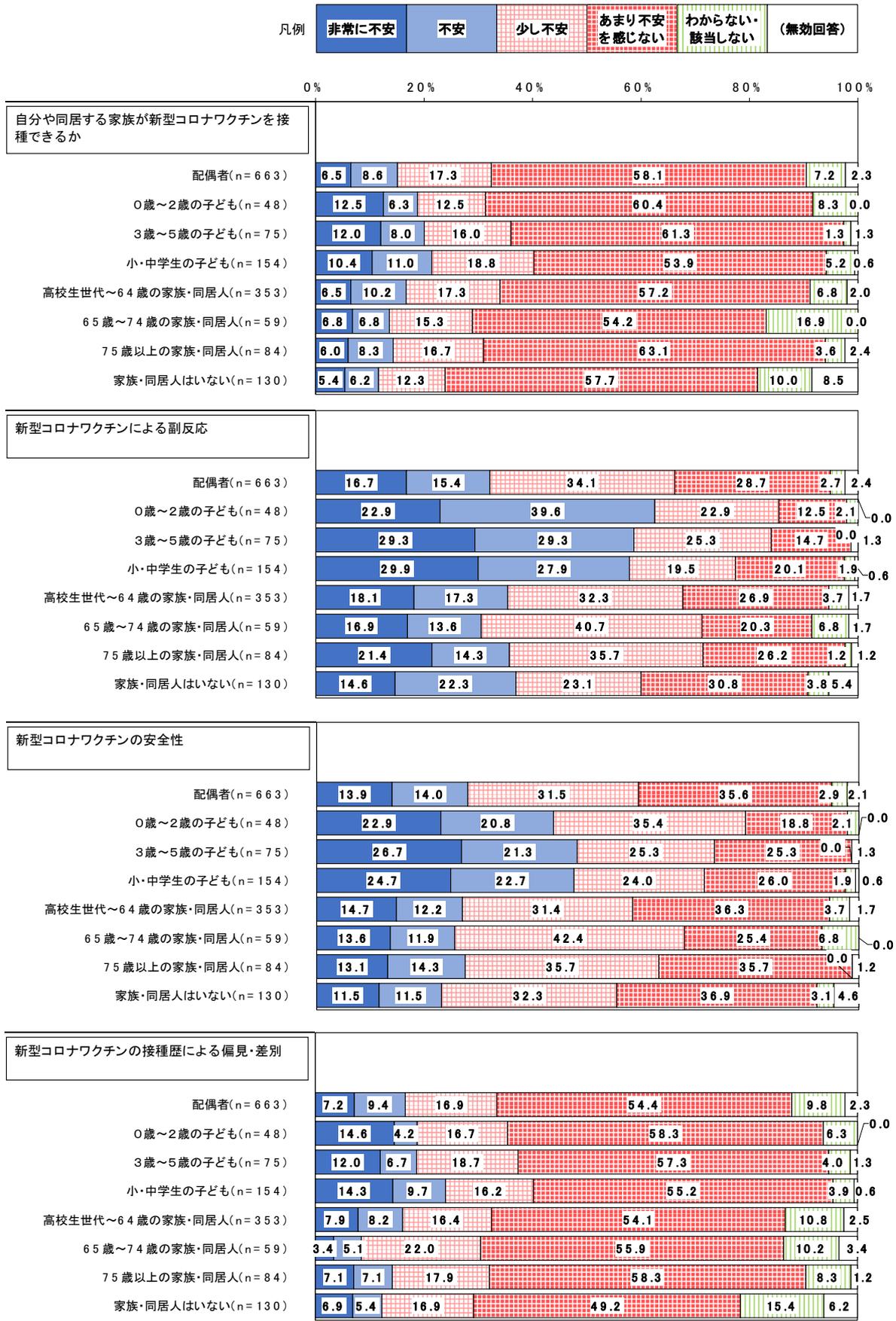
○「新型コロナワクチンによる副反応」、「新型コロナワクチンの安全性」に対し、「夫婦と子どもの世帯」と「ひとり親と子どもの世帯」が、「不安」を感じる（「非常に不安」「不安」「少し不安」）比率が高くなっています。



第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

<同居人別>

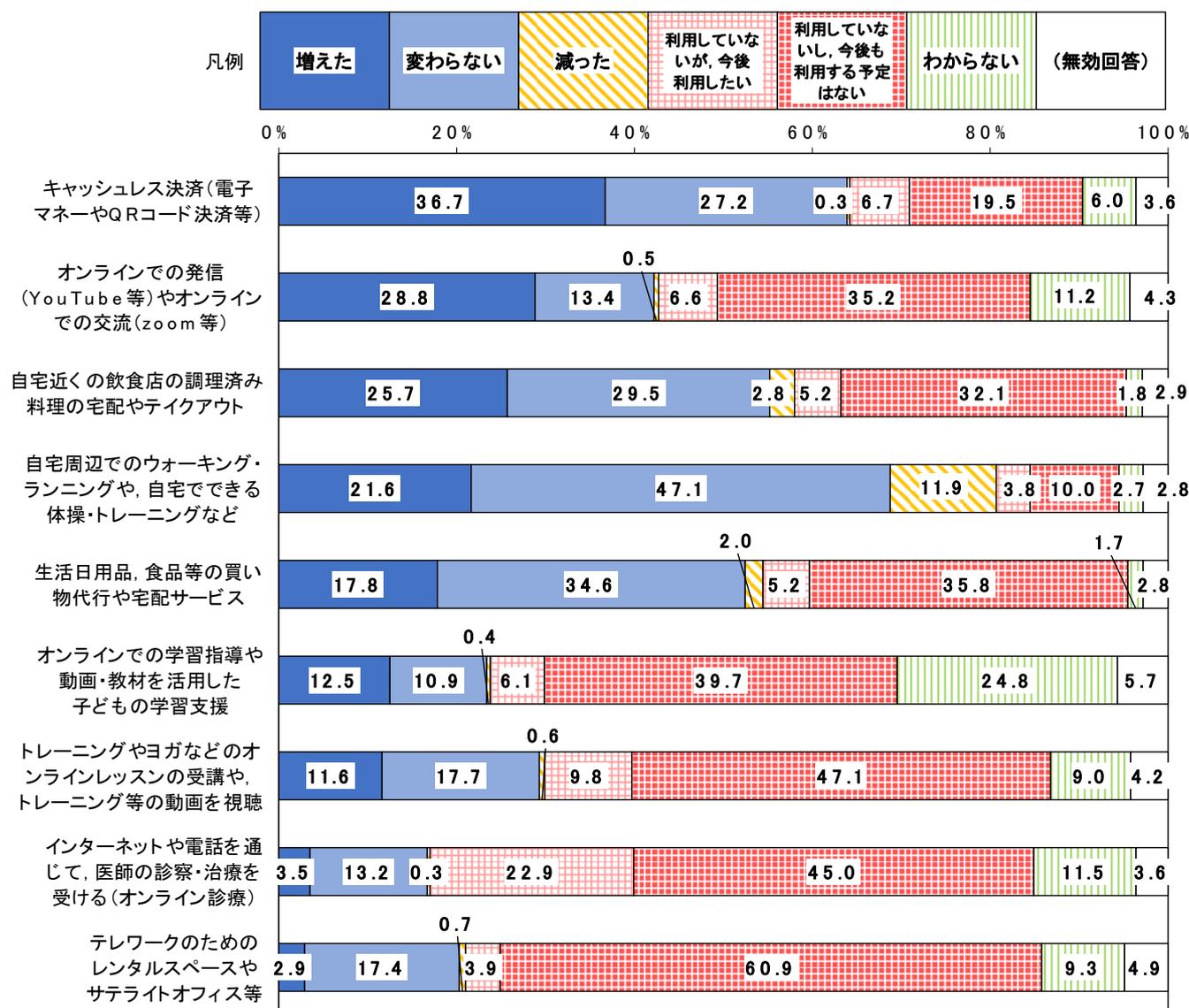
○「新型コロナワクチンによる副反応」、「新型コロナワクチンの安全性」に対し、「0歳～小・中学生の子ども」で「不安」を感じる（「非常に不安」「不安」「少し不安」）比率が高くなっています。



問17) 新型コロナウイルス感染症の流行前（令和2年1月頃）と現在を比べて、利用頻度に変化はありましたか。

<全体 (n=1105)>

○「増えた」は、「キャッシュレス決済（電子マネーやQRコード決済等）」が36.7%で最も高く、次いで「オンラインでの発信（YouTube等）やオンラインでの交流（zoom等）」の28.8%、「自宅近くの飲食店の調理済み料理の宅配やテイクアウト」の25.7%の順となっています。

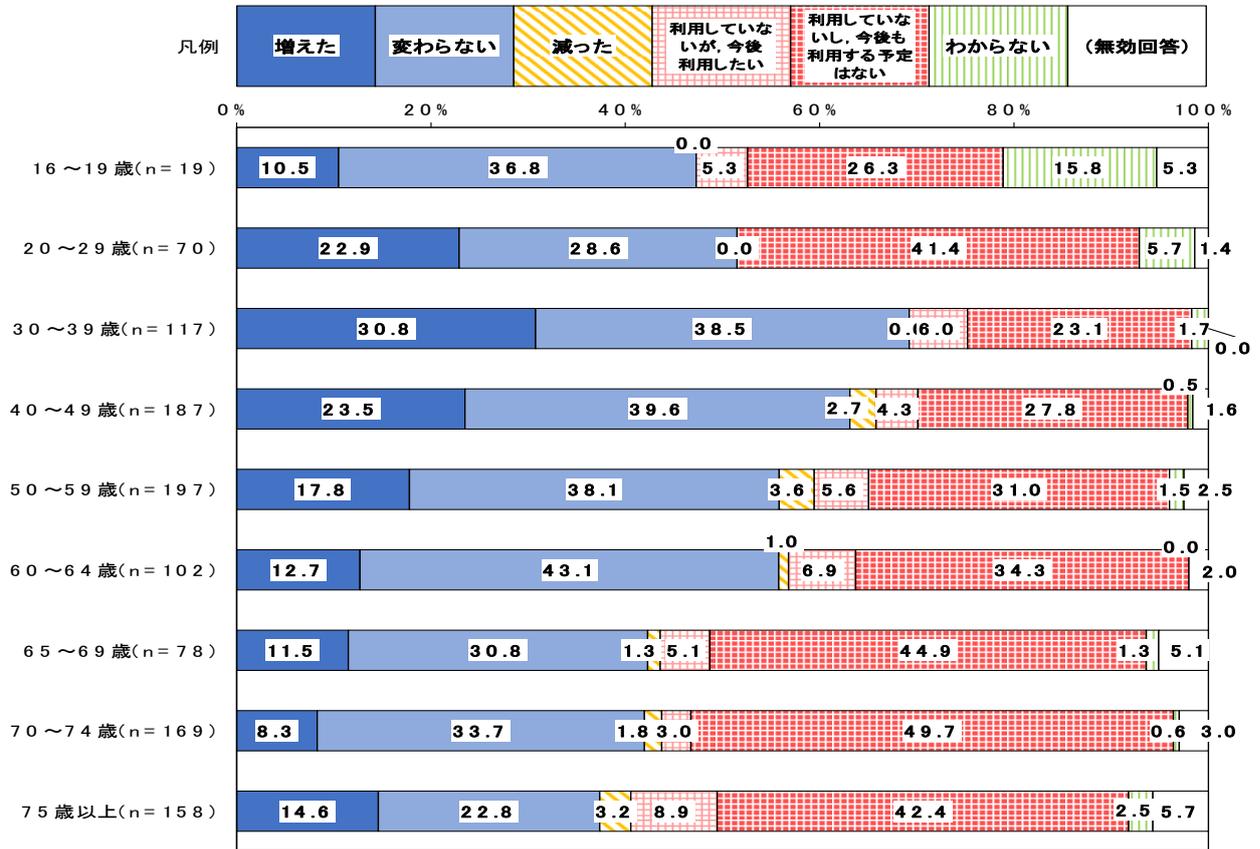


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

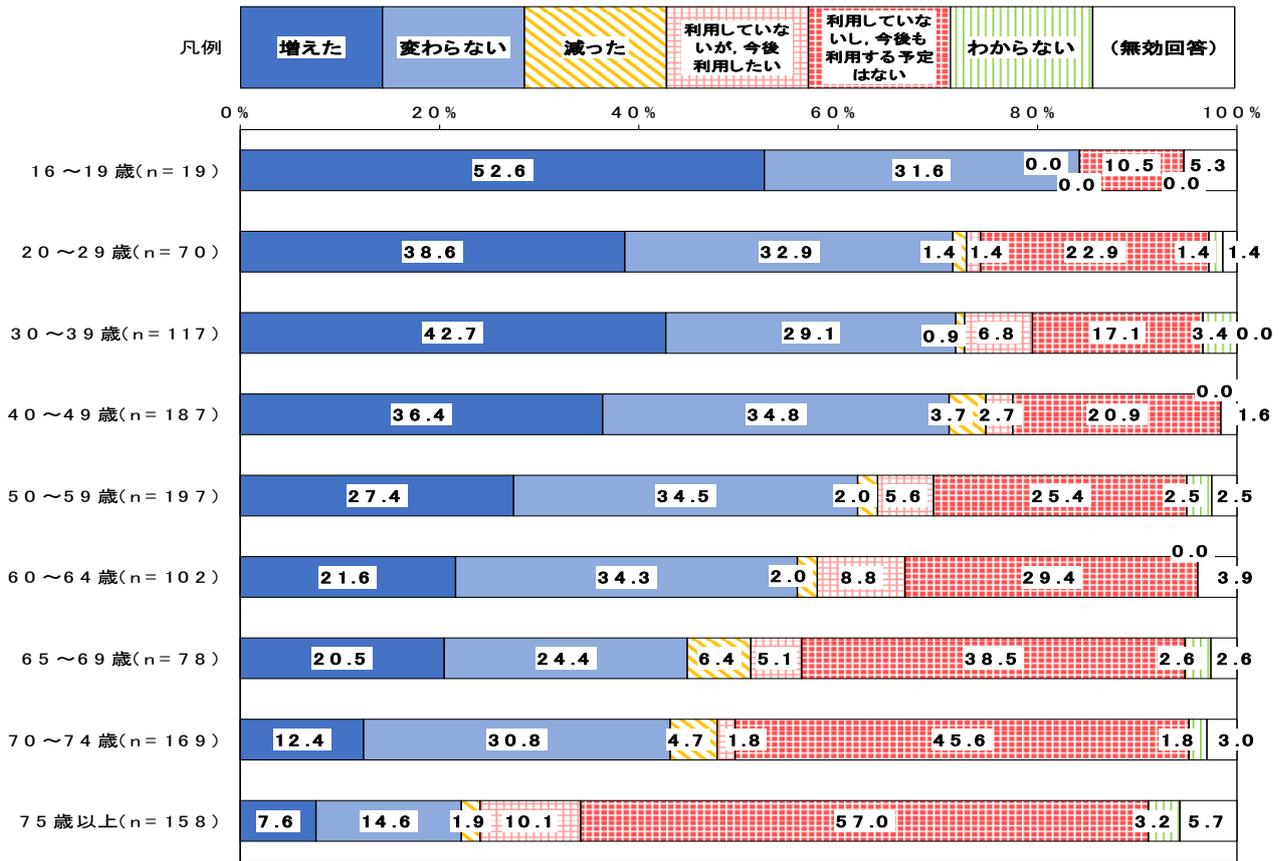
<年齢層別>

- 「自宅近くの飲食店の調理済み料理の宅配やテイクアウト」,「オンラインでの発信 (YouTube 等) やオンラインでの交流 (zoom 等)」は, 年齢が下がるほど「増えた」が高くなる傾向にあります。
- 「キャッシュレス決済 (電子マネーや QR コード決済等)」でも若年層ほど「増えた」が高くなる傾向にあります, 特に, 20~49 歳で「増えた」が50%を超えています。

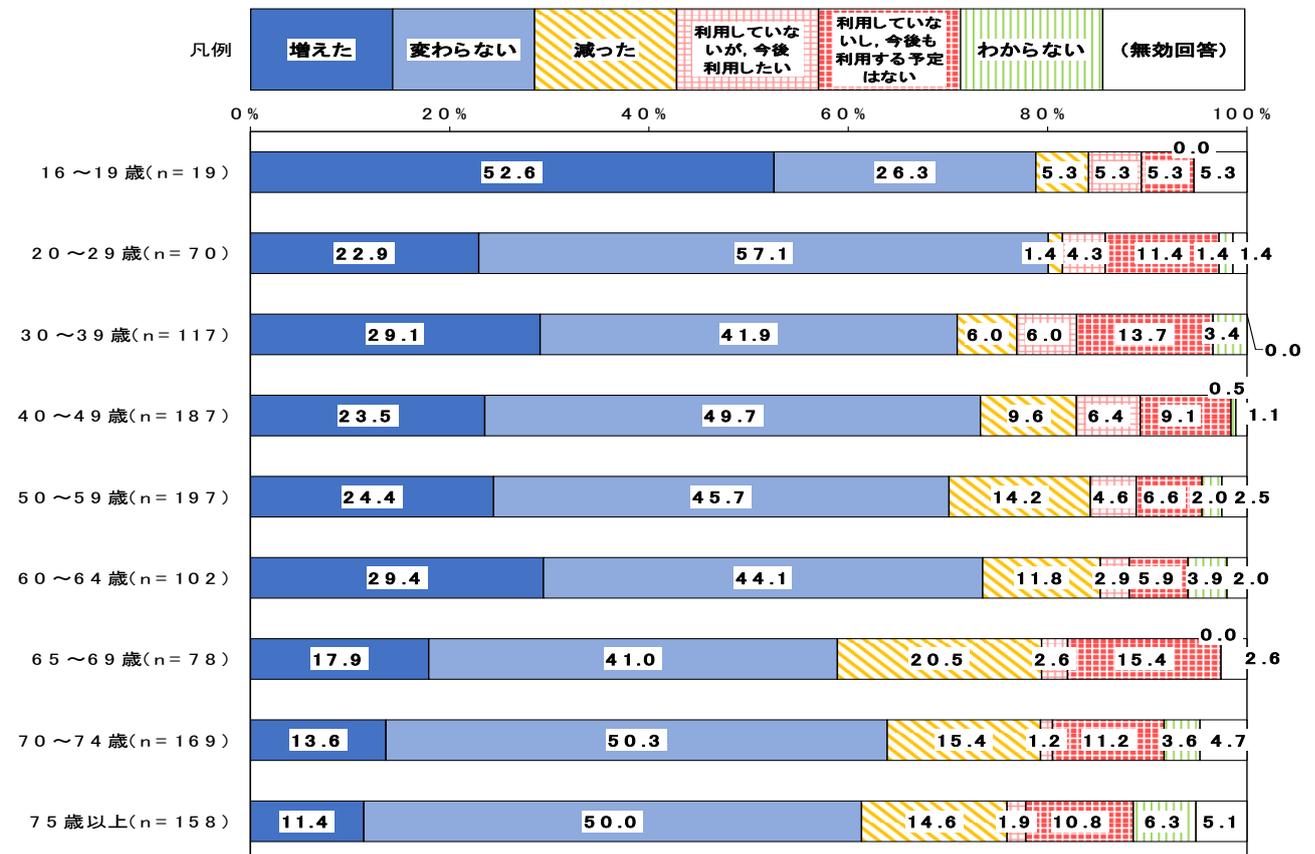
ア 生活日用品, 食品等の買い物代行や宅配サービス



イ 自宅近くの飲食店の調理済み料理の宅配やテイクアウト

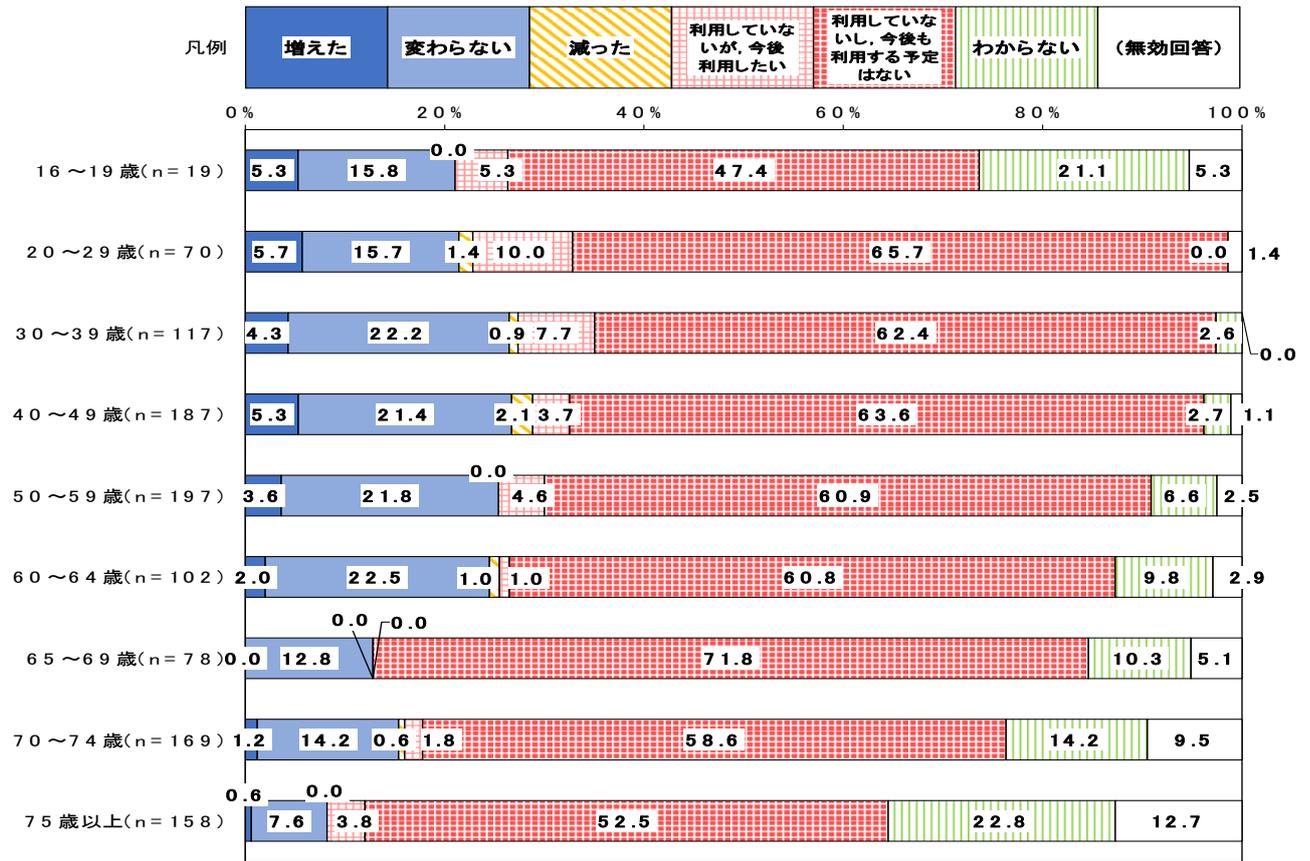


ウ 自宅周辺でのウォーキング・ランニングや、自宅でできる体操・トレーニングなど

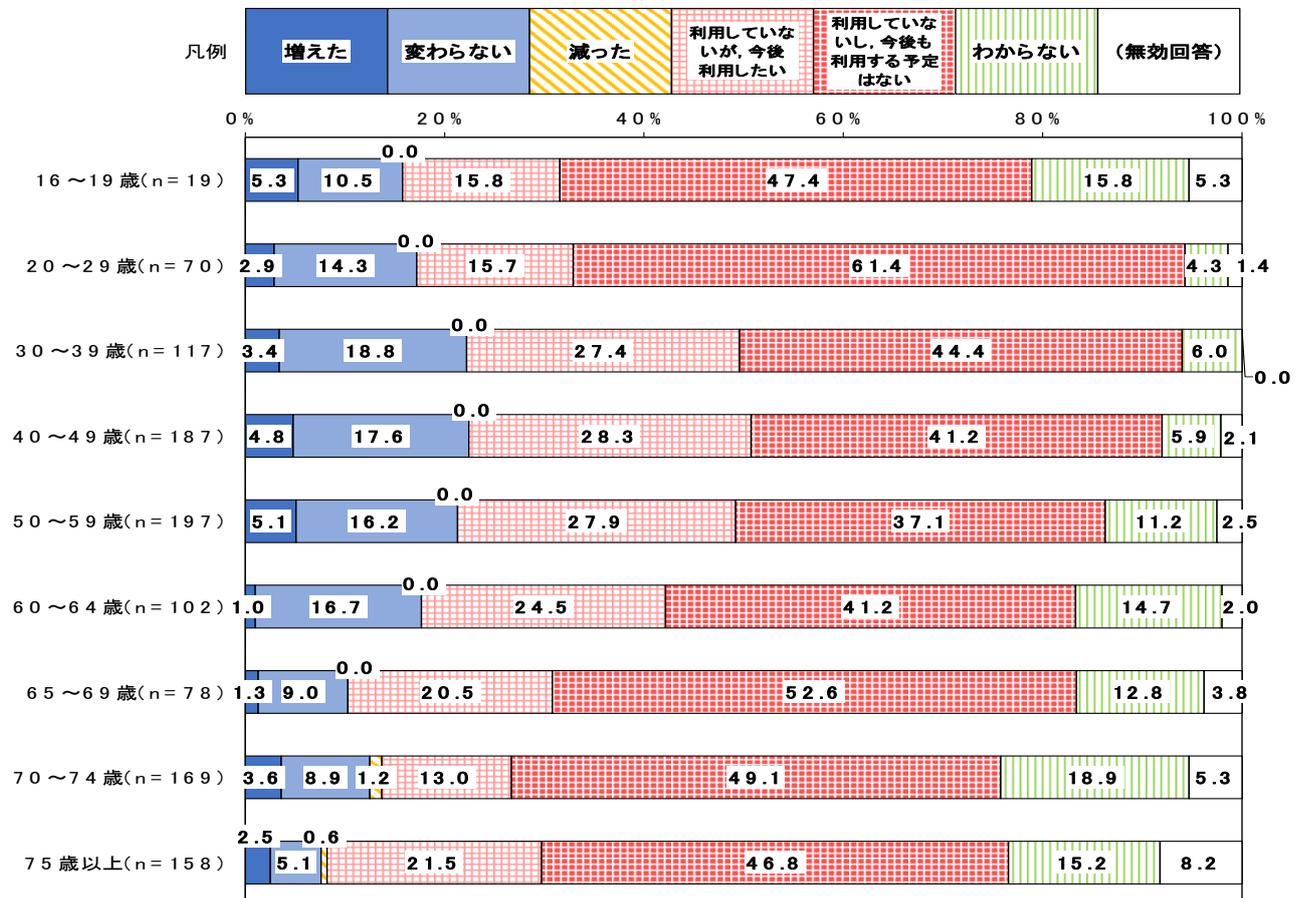


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

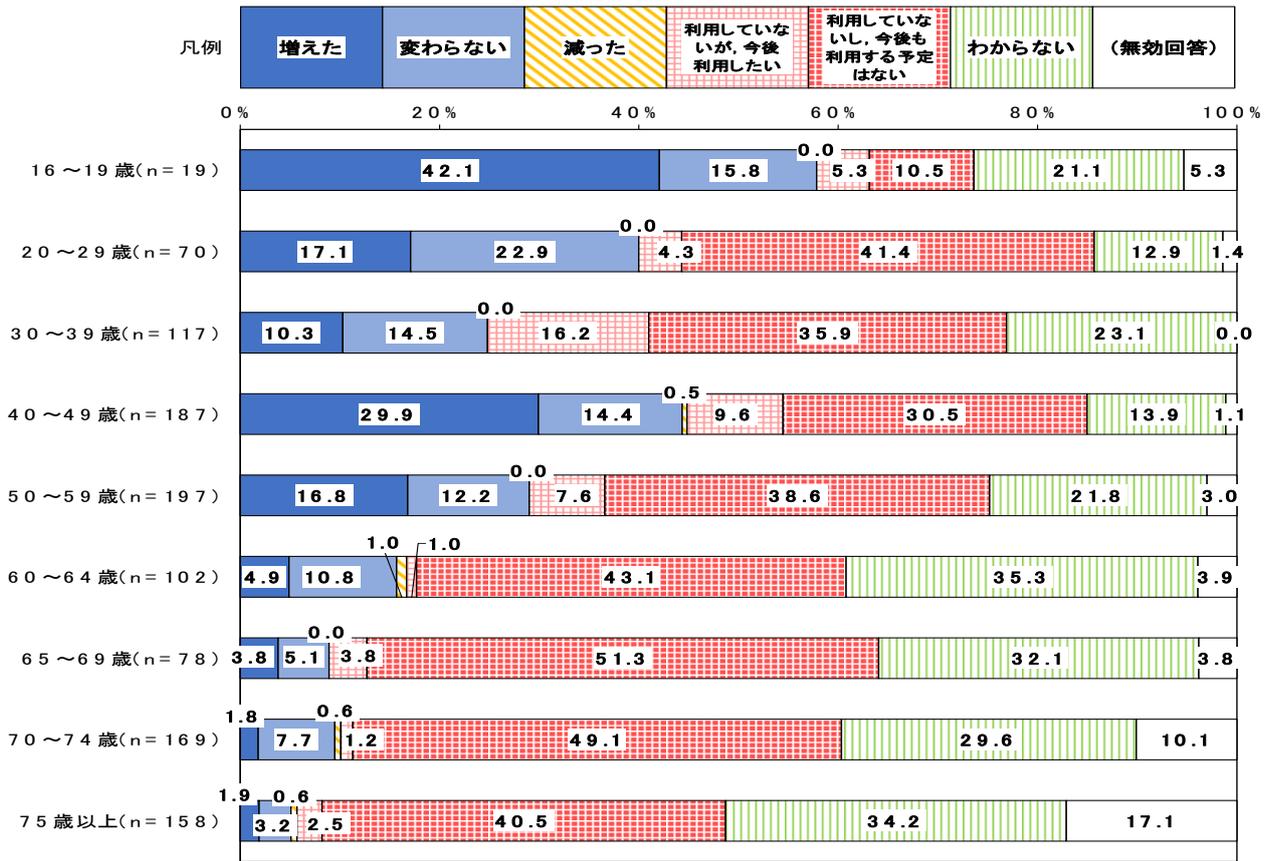
エ テレワークのためのレンタルスペースやサテライトオフィス等



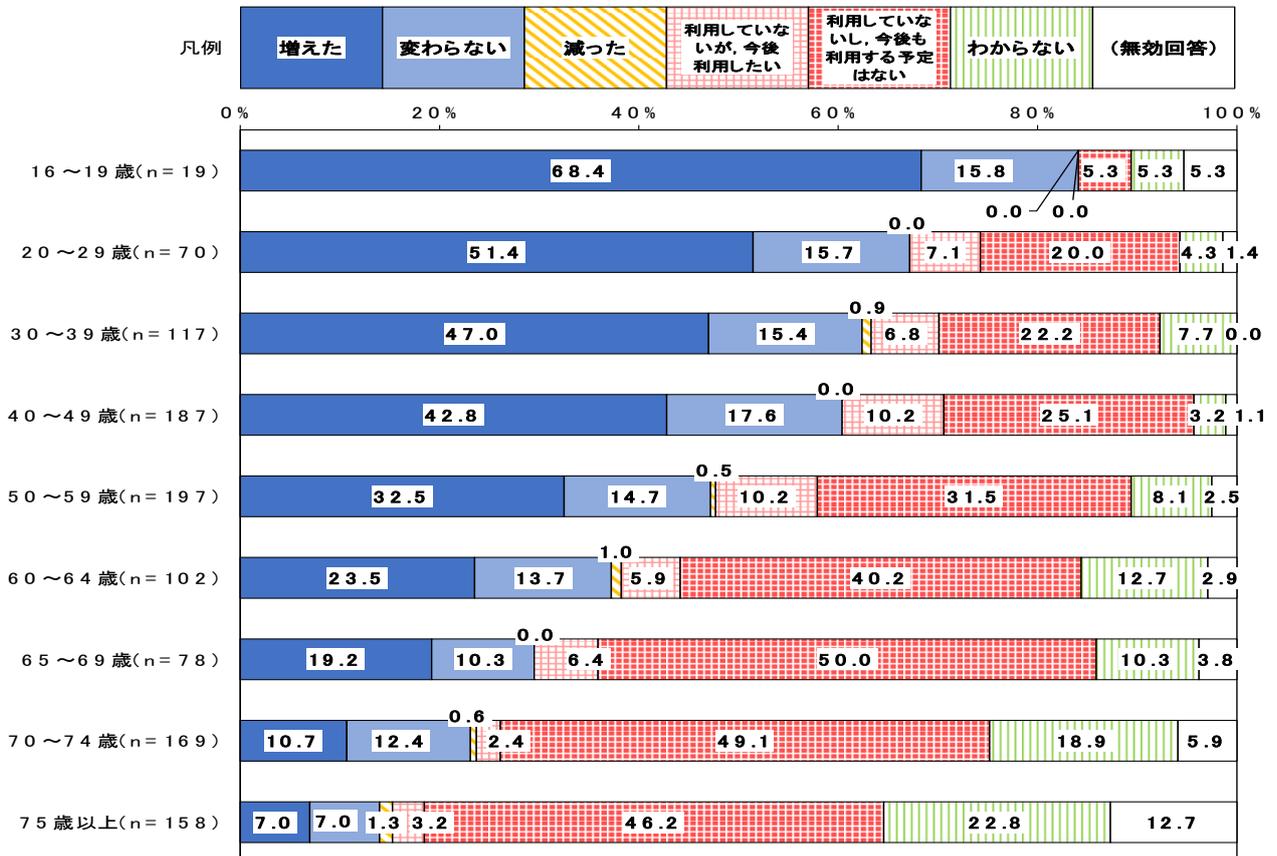
オ インターネットや電話を通じて、医師の診察・治療を受ける（オンライン診療）



カ オンラインでの学習指導や動画・教材を活用した子どもの学習支援

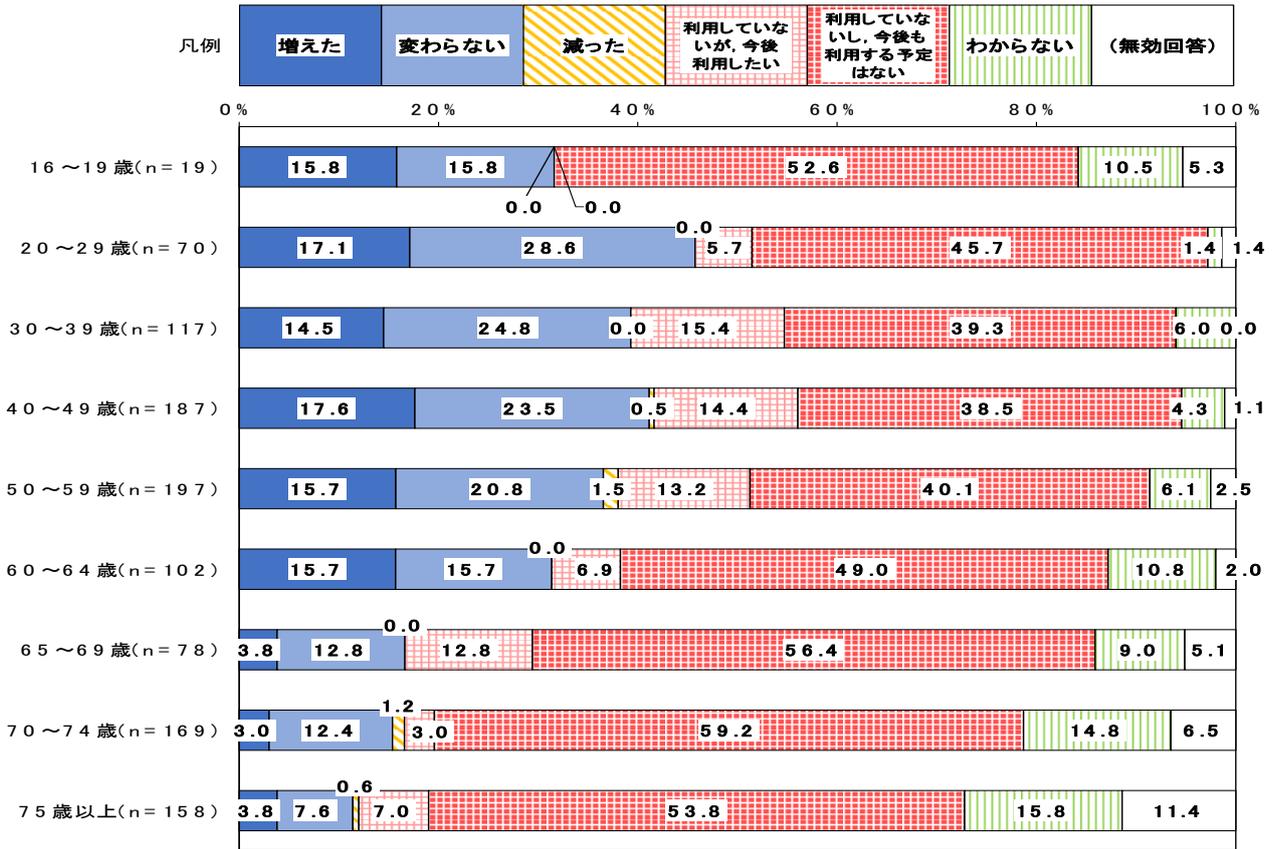


キ オンラインでの発信 (YouTube等) やオンラインでの交流 (zoom等)

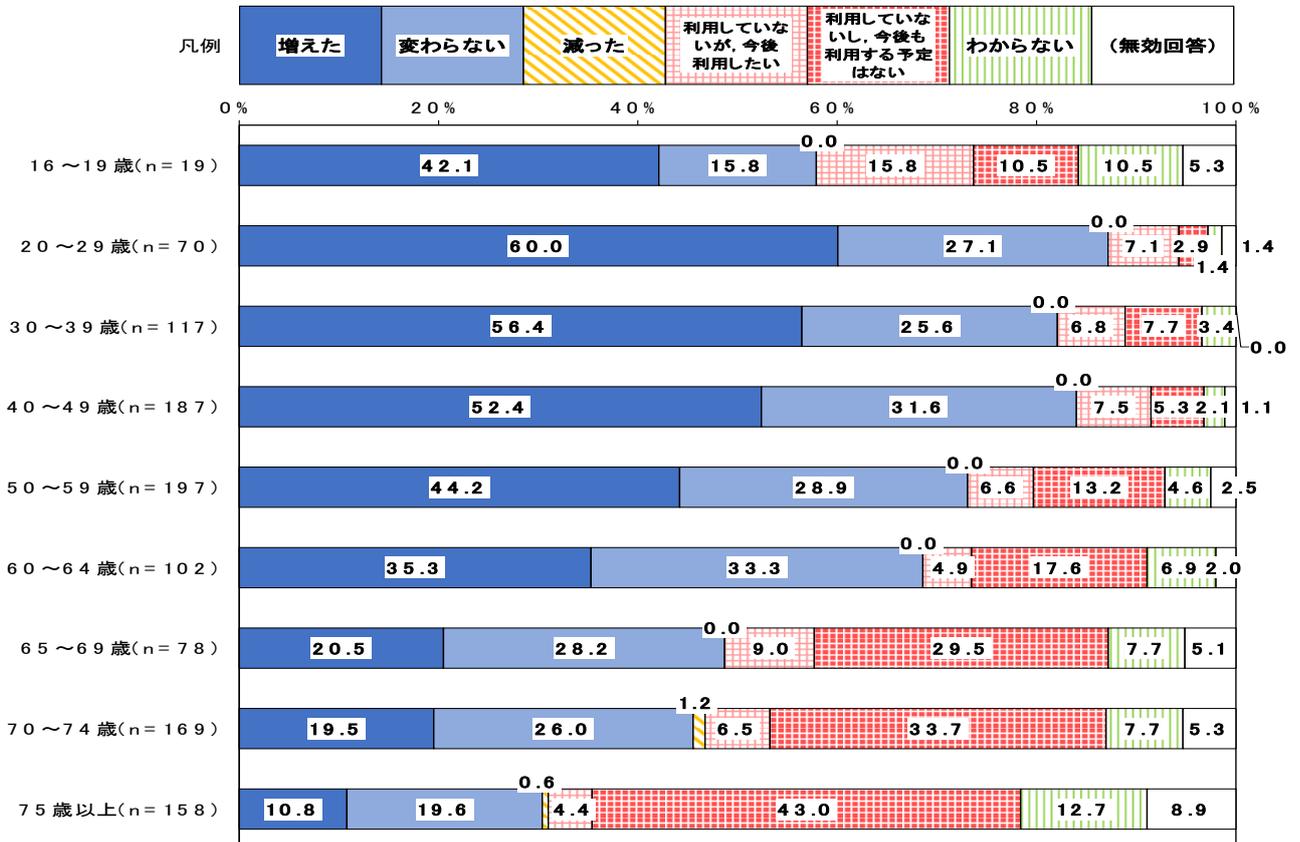


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

ク トレーニングやヨガなどのオンラインレッスンの受講や、トレーニング等の動画を視聴



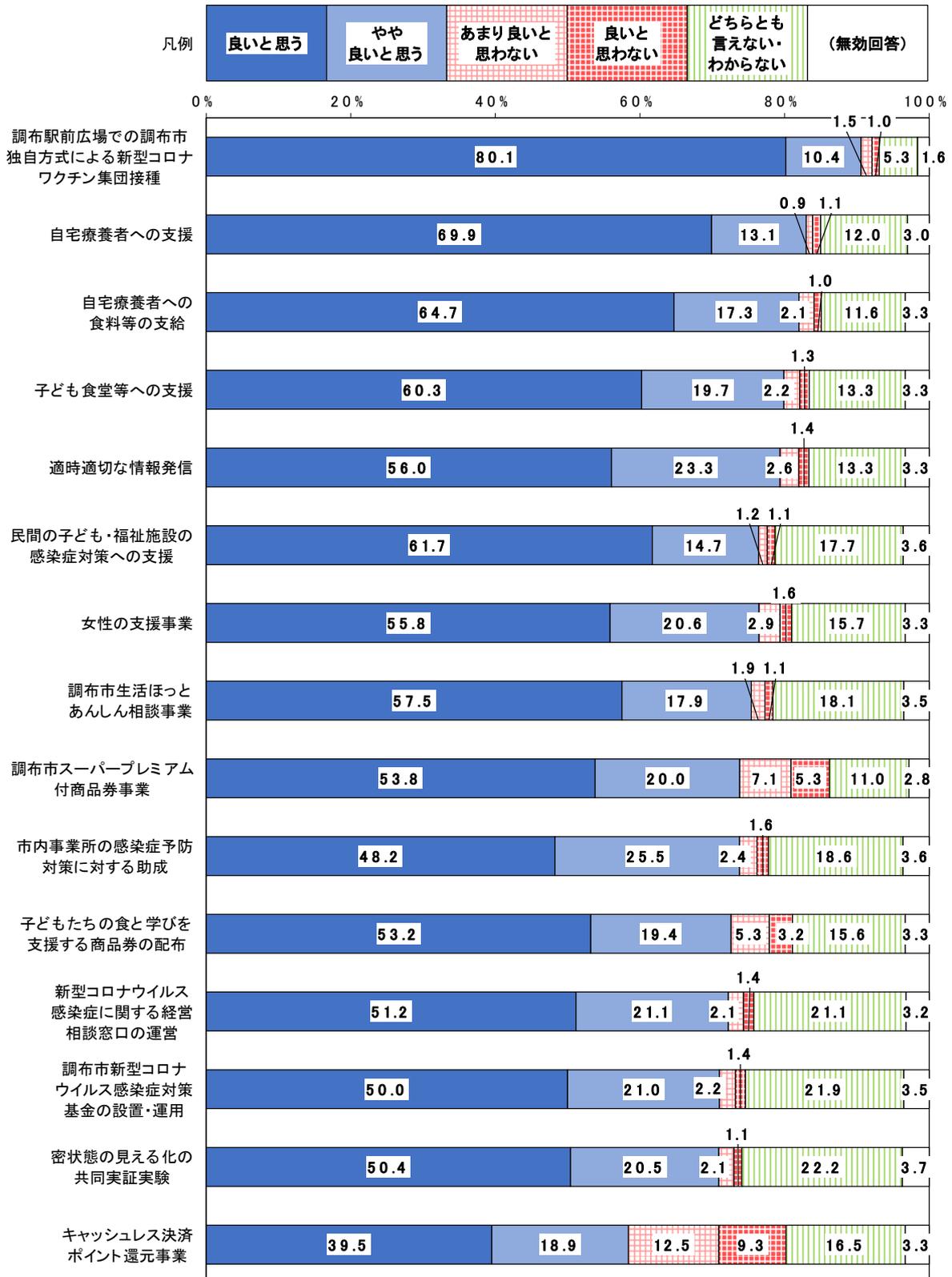
ケ キャッシュレス決済（電子マネーやQRコード決済等）



問 18) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う次の市独自の対策についてどう思いますか。

<全体 (n=1105) >

○「良いと思う」と「やや良いと思う」の合計は、「調布駅前広場での調布市独自方式による新型コロナウイルスワクチン集団接種」が90.5%で最も高く、次いで「自宅療養者への支援」の83.0%、「自宅療養者への食料等の支給」の82.0%の順となっています。



＜自由記述＞主な意見を抜粋

【図表 新型コロナウイルス感染症への対応について、市が独自に実施または改善・強化すべき事項のご意見・ご提案】(130件)

- ・ 感染症対応 3 つの柱はとても良い事だと思いますが、市民の皆さんにこの情報が一方通行でどれくらいの人達に伝わっているのかが疑問です。
- ・ コロナに感染していないので実際のところどのようなケアが受けられるか知らない。知っていればより一層安心だと感じる。
- ・ 電通大で夏にワクチン接種できたのは良かった。流れもスムーズでノンストレスでした。
- ・ 自己申告できていない生活に窮している母子家庭や学生などに援助が行き渡るよう、該当する人の掘りおこしをして援助してほしい。
- ・ 飲食店以外にも困っている業者を助けて欲しい。